

ウガンダ共和国
農業牧畜水産省

ウガンダ共和国
アタリ流域地域灌漑施設整備計画
協力準備調査報告書

資料編

平成 30 年 10 月
(2018 年)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)
株式会社 三祐コンサルタンツ

資料-1. 調査団員・氏名

氏名	担当分野	所属
荒木 亜礼普	総括	JICA 農村開発部
鶴田 亜津佐	計画監理	JICA 農村開発部
新井 雄喜	環境社会配慮	JICA 審査部
家泉 達也	業務主任者／灌漑施設計画	株式会社三祐コンサルタンツ
秋吉 一磨	副業務主任者／灌漑施設計画	株式会社三祐コンサルタンツ
荒川 英孝	水管理計画	株式会社三祐コンサルタンツ
松本 裕一	施工計画／積算	株式会社三祐コンサルタンツ
志賀 あゆみ	社会配慮	株式会社三祐コンサルタンツ
石川 秀樹	環境配慮	株式会社三祐コンサルタンツ
石田 新太	道路設計	株式会社三祐コンサルタンツ
新井 伸一	機材計画／積算	株式会社三祐コンサルタンツ
福田 康	施設計画／積算	株式会社三祐コンサルタンツ
三木 和子	自然条件調査	株式会社三祐コンサルタンツ
角屋 恵一郎	設計照査	株式会社三祐コンサルタンツ

資料-2. 調査行程（現地業務）

No.	氏名	業務主任者 ／権限施設 計画	副業務 主任者／ 権限施設 計画	水管理計画	施工計画／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画／ 積算	施設設計	自然条件 調査
1	26-Jun	家泉 達也	秋吉 一磨 関空発	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子 関空発
2	27-Jun	羽田発、 エンテペ着、 MAAIF 表敬	エンテペ着、 MAAIF 表敬	羽田発、 エンテペ 着、 MAAIF 表敬	羽田発	-	-	-	-	羽田発、 エンテペ着、 MAAIF 表敬	-
3	28-Jun	-	Kick-off meeting	-	エンテペ着	-	-	-	-	Kick-off meeting	エンテペ着
4	29-Jun	-	MAAIF 協議	-	-	-	-	-	-	MAAIF 協議	MAAIF 協議
5	30-Jun	JICA 表敬・協議、大使館表敬	MAAIF 協議	MWE 協議	-	-	-	-	-	MWE 協議	MAAIF 協議
6	1-Jul	-	資料整理	-	-	-	-	羽田発 エンテペ着	-	-	資料整理
7	2-Jul	-	移動（カンパラ→ムバレ）	-	-	-	-	移動（カンパ ラ→ムバレ）	-	移動（カンパラ→ムバレ）	-
8	3-Jul	-	PDCG/PACC 面談、既設水門視察	-	-	-	-	PDCG/PACC 面談、既設水 文視察	-	PDCG/PACC 面談、既設水文視察	-
9	4-Jul	ドーホ地区視察、 移動（ムバレ→カンパラ）	ドーホ地区視察、 移動（ムバレ→カンパラ）	ドーホ地区視察	ドーホ地区視察	-	-	ドーホ地区 視察	-	ドーホ地区視察、 移動（ムバレ→カンパラ）	-
10	5-Jul	再委託対応、備人契約	再委託対応	現地調査	現地調査	-	-	現地調査	-	再委託対応	-
11	6-Jul	再委託対応	再委託対応	現地調査、 移動（ムバレ→カンパラ）	現地調査、 移動（ムバレ→カンパラ）	-	-	現地調査、移 動（ムバレ→ カンパラ）	-	↓	-
12	7-Jul	再委託対応	再委託対応	資料整理、情報収集	資料整理、情報収集	-	-	資料整理、 情報収集	-	資料整理、情報収集	-
13	8-Jul	資料整理、情報収集、団内会議	資料整理、情報収集、団内会議	資料整理、情報収集、団内会議	資料整理、情報収集、団内会議	-	-	資料整理、 情報収集、 団内会議	-	資料整理、情報収集、 団内会議	-
14	9-Jul	-	資料整理／団内会議	-	-	-	-	↓	-	資料整理、団内会議	-
15	10-Jul	再委託対応	再委託対応	移動（カン パラ→ムバ レ）	資機材調達 調査	-	-	再委託対応	-	再委託対応	-
16	11-Jul	MAAIF 協議	移動（カンパ ラ→ムバレ）	現地調査	↓	-	-	MAAIF 協議	-	MAAIF 協議	再委託対応
17	12-Jul	MWE 協議	測量現地説明	MWE 協議	MWE 協議	-	-	MWE 協議	-	MWE 協議	MWE 協議

No.	氏名	業務主任者 ／灌漑施設 計画	副業務 主任者／ 灌漑施設 計画	水管理計画	施工計画／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画／ 積算	施設設計	自然条件 調査
	日程	家泉 達也	秋吉 一磨	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子
18	13-Jul	MAAIF 協議	移動（ムバ レ→カンパ ラ）	資料整理	資料整理 調査	-	-	資料整理、 資料調査	-	再委託対応	
19	14-Jul	再委託対応		資料整理	↓	-	-	↓	-	エンテベ発	再委託対応
20	15-Jul	資料整理、 団内会議		移動（ムバ レ→カンパ ラ）	資料整理、 団内会議	-	-	資料整理、 団内会議	-	羽田着	資料整理、 団内会議
21	16-Jul		資料整理、 団内会議			-	-	↓	-	-	↓
22	17-Jul		MAAIF 協議		資料整理 調査	-	-	移動（カンパ ラ→ムバ レ）	-	-	MAAIF 協議
23	18-Jul		移動（カンパ ラ→ムバ レ）			-	-	現地調査	-	-	移動（カンパ ラ→ムバ レ）
24	19-Jul		現地調査、 PDCC 協議			-	-	現地調査、 PDCC 協議	-	-	PDCC 協議
25	20-Jul		現地調査、 PACC 協議			-	-	現地調査、 PACC 協議	-	-	PACC 協議
26	21-Jul		現地調査		土取場／採 石場調査	-	-	土取場／採 石場調査	-	-	土取場・採石上 現地調査
27	22-Jul		↓		現地調査	-	-	現地調査	-	羽田発、エン テベ着	現地調査
28	23-Jul		↓		↓	-	-	↓	-	移動（カンパ ラ→ムバ レ）	↓
29	24-Jul	現地調査	ボーリング位 置確認	現地調査、 MWE	現地調査、 資料整理	本邦招聘対応		↓	成田発、 エンテベ着	現地調査、 ボーリング位 位置確認	
30	25-Jul		現地調査、 資料整理		↓	↓		↓	情報収集	現地調査、 資料整理	
31	26-Jul	現地調査、 PACC 協議		現地調査	現地調査、 PACC 協議	↓		↓	移動（カン パ ラ →ムバ レ）	現地調査、 PACC 協議	
32	27-Jul	現地調査、 農家説明会		移動（ムバ レ→カンパ ラ）	現地調査、 資料調査	↓		↓	現地調査、 農家説明会	現地調査、 資料調査	現地調査、 農家説明会
33	28-Jul	現地調査、 資料整理		JICA 報告	↓	↓		↓	現地調査	現地調査、 資料調査	現地調査
34	29-Jul		↓	エンテベ発	↓	-	-	↓	↓	↓	↓
35	30-Jul	移動（ムバ レ→カンパ ラ）		成田着	↓	-	関空発	↓	↓	↓	↓
36	31-Jul	資料整理		-	↓	成田発、 エンテベ着	エンテベ着	↓	↓	↓	↓

No.	氏名	業務主任者 ／灌漑施設 計画	副業務 主任者／ 灌漑施設 計画	水管理計画	施工計画／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画／ 積算	施設設計	自然条件 調査
	日程	家泉 達也	秋吉 一磨	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ エンテベ着	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子
37	1-Aug	MAAIF/ MWE 協議	MAAIF/ MWE 協議	-	↓	MAAIF/MWE 協議		↓	↓		↓
38	2-Aug	移動(カンパ ラ→ムバレ)	エンテベ発	-	↓	移動(カンパ ラ→ムバレ)		↓	↓	↓	↓
39	3-Aug	PDCC 協議	閑空着	-	↓	PDCC 協議		↓	↓	↓	↓
40	4-Aug	PACC 協議	-	-	↓	PACC 協議		気象観測計 器 保守	↓	↓	気象観測計器 保守
41	5-Aug	情報収集/ 資料整理	-	-	↓	情報収集、資料整理		現地調査	↓	↓	現地調査
42	6-Aug	↓	-	-	移動 (ムバレ→ カンパラ)	↓		↓	↓	↓	↓
43	7-Aug	↓	-	-	資機材調達 調査	↓		↓	↓	↓	↓
44	8-Aug	↓	-	-	↓	↓		↓	↓	↓	↓
45	9-Aug	↓	-	-	↓	↓		土嚢試験	移動(ムバ レ→ カンパラ)	↓	↓
46	10-Aug	↓	-	-	エンテベ発	↓		現地調査	情報収集	↓	↓
47	11-Aug	移動(ムバ レ→カンパ ラ)	-	-	成田着	↓		↓	↓	↓	移動(ムバ レ→ カンパラ)、MWT
48	12-Aug	移動(カンパ ラ→ムバ レ)	-	-	-	↓		↓	↓	↓	移動(カンパ ラ→ムバ レ)
49	13-Aug	現地調査	-	-	-	↓		現地調査	↓	↓	現地調査
50	14-Aug	PDCC 協議	-	-	-	PDCC 協議		土嚢試験	↓	↓	↓
51	15-Aug	PDCC/ PACC 協議	-	-	-	PDCC/ PACC 協議		↓	↓	↓	↓
52	16-Aug	情報収集、 資料整理	-	-	-	移動(ムバ レ→カンパ ラ)		移動(ムバ レ→カンパ ラ)	↓	↓	↓
53	17-Aug	↓	-	-	-	MAAIF 協議		エンテベ発	↓	↓	↓
54	18-Aug	↓	-	-	-	移動(カンパ ラ→ムバ レ)	エンテベ発	成田着	↓	↓	↓
55	19-Aug	農家説明会	閑空発	-	-	農家説明会	閑空着	-	↓	↓	↓
56	20-Aug	移動(ムバ レ)	エンテベ着	-	-	移動(ムバ レ→)	-	-	↓	↓	↓

No.	氏名	業務主任者 ／灌漑施設 計画	副業務 主任者／ 灌漑施設 計画	水管理計画	施工計画／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画／ 積算	施設設計	自然条件 調査
	日程	家泉 達也	秋吉 一磨	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子
		→カンパラ)				カンパラ)					
57	21-Aug	JICA 協議	JICA 協議	-	-	JICA 協議	-	-	JICA 協議		↓
58	22-Aug	JTC 対応	JTC 対応	-	-	JTC 対応	-	-	エンテベ発		↓
59	23-Aug	↓	↓	-	-	↓	-	-	成田着		↓
60	24-Aug	↓	↓	-	-	↓	-	-	-		↓
61	25-Aug	↓	↓	-	-	↓	-	-	-		既設構造物調査
62	26-Aug	↓	↓	-	-	↓	-	-	-	資料整理	現地調査
63	27-Aug	↓	↓	-	-	↓	-	-	-	↓	↓
64	28-Aug	↓	↓	-	-	↓	-	-	-	↓	↓
65	29-Aug	JTC 協議	JTC 協議	-	-	JTC 協議	-	-	-	移動 (ムバレー カンパラ	↓
66	30-Aug	JICA 報告	JICA 報告	-	-	JICA 報告	-	-	-	再委託対応	↓
67	31-Aug	資料整理	資料整理	-	-	資料整理	-	-	-	情報収集	↓
68	1-Sep	情報収集	エンテベ発	-	-	エンテベ発	-	-	-	移動 (カンパラ →ムバレー)	↓
69	2-Sep	↓	関空着	-	-	成田着	-	-	-	現地調査	↓
70	3-Sep	エンテベ発	-	-	-	-	-	-	-	↓	↓
71	4-Sep	成田着	-	-	-	-	-	-	-	既設構造物調査	
72	5-Sep	-	-	-	-	-	-	-	-	移動 (ムバレー→カンパラ)	
73	6-Sep	-	-	-	-	-	-	-	-	土質試験資料確認、 MAAIF 報告	
74	7-Sep	-	-	-	-	-	-	-	-	情報収集、資料整理	
75	8-Sep	-	-	-	-	-	-	-	-	エンテベ発	
76	9-Sep	-	-	-	-	-	-	-	-	成田着	関空着
77	10-Sep	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
78	24-Sep	成田発	-	-	-	成田発	関空発	-	-	-	-
79	25-Sep	エンテベ着 →MAAIF 面談	-	-	-	エンテベ着 →MAAIF 面談	-	-	-	-	-
80	26-Sep	RAP コンサル タント及び MAAIF 面談	-	-	-	RAP コンサル タント及び MAAIF 面談	-	-	-	-	-
81	27-Sep	情報収集	-	-	-	情報収集	-	-	-	-	-

No.	氏名	業務主任者 ／灌漑施設 計画	副業務 主任者 ／灌漑施設 計画	水管理計画	施工計画 ／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画 ／ 積算	施設設計	自然条件 調査
82	28-Sep	↓ 家泉 達也	秋吉 一磨	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ ↓	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子
83	29-Sep	MWE 面談、 JICA ウガン ダ事務所打 合	-	-	-	JICA ウガンダ 事務所打合	MWE 面談、 JICA ウガンダ 事務所打合	-	-	-	-
84	30-Sep	資料整理	-	-	-	資料整理	資料整理	-	-	-	-
85	1-Oct	↓	-	-	-	↓	エンテベ発	-	-	-	-
86	2-Oct	↓	-	-	-	↓	関空着	-	-	-	-
87	3-Oct	MWE 面談	-	-	-	MWE 面談	-	-	-	-	-
88	4-Oct	RAP コンサル タント面談、 MAAIF 面談	-	-	-	RAP コンサルタ ント面談、 MAAIF 面談	-	-	-	-	-
89	5-Oct	MWE 面談	-	-	-	MWE 面談	-	-	-	-	-
90	6-Oct	MWE 面談、 MAAIF 面談	-	-	-	MWE 面談、 MAAIF 面談	-	-	-	-	-
91	7-Oct	資料整理	-	-	-	エンテベ発	-	-	-	-	-
92	8-Oct	↓	-	-	-	成田着	-	-	-	-	-
93	9-Oct	移動 (カンパ ラ→ムバレ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
94	10-Oct	現地調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-
95	11-Oct	現地調査、 動動 (ムバレ →カンパラ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
96	12-Oct	情報収集	-	-	-	-	-	-	-	-	-
97	13-Oct	↓	-	-	-	-	-	-	-	-	-
98	14-Oct	エンテベ発	-	-	-	-	-	-	-	-	-
99	15-Oct	成田着	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100	29-Oct	-	-	-	-	羽田発	-	-	-	-	-
101	30-Oct	-	-	-	-	エンテベ着	-	-	-	-	-
102	31-Oct	-	-	-	-	JICA 専門家面 談、RAP コンサ ルタント面談	-	-	-	-	-
103	1-Nov	-	-	-	-	情報収集、 資料整理	-	-	-	-	-

No.	氏名 日程	業務主任者 ／灌漑施設 計画	副業務 主任者 ／灌漑施設 計画	水管理計画	施工計画 ／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画 ／ 積算	施設設計	自然条件 調査
104	2-Nov	家泉 達也	秋吉 一磨	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ 情報収集、 資料作成	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子
105	3-Nov	-	-	-	-	JICA 専門家 面談	-	-	-	-	-
106	4-Nov	-	-	-	-	資料作成	-	-	-	-	-
107	5-Nov	-	-	-	-	資料作成	-	-	-	-	-
108	6-Nov	-	-	-	-	MAAIF 面談	-	-	-	-	-
109	7-Nov	-	-	-	-	情報収集、 資料作成	-	-	-	-	-
110	8-Nov	-	-	-	-	資料作成	-	-	-	-	-
111	9-Nov	-	-	-	-	資料作成	-	-	-	-	-
112	10-Nov	-	-	-	-	資料作成	-	-	-	-	-
113	11-Nov	-	-	-	-	資料作成	-	-	-	-	-
114	12-Nov	-	-	-	-	資料作成	-	-	-	-	-
116	13-Nov	羽田 舜、 エンテベ着、 JICA 専門家 面談	-	-	-	JICA 専門家 面談	-	-	-	-	-
117	14-Nov	資料整理	-	-	-	資料整理	-	-	-	-	-
118	15-Nov	JICA 事務所 面談	-	-	-	JICA 事務所 面談	-	-	-	-	-
119	16-Nov	資料整理	-	-	-	資料整理	-	-	-	-	-
120	17-Nov	MAAIF、JICA 事務所面談	-	-	-	MAAIF、JICA 事 務所面談	-	-	-	-	-
121	18-Nov	資料整理	-	-	-	資料整理	-	-	-	-	-
122	19-Nov	資料整理	-	-	-	資料整理	-	-	-	-	-
123	20-Nov	MAAIF 面談	-	-	-	MAAIF 面談	-	-	-	-	-
124	21-Nov	他業務	-	-	-	資料整理	-	-	-	-	-
125	22-Nov	他業務	-	-	-	資料整理	-	-	-	-	-
126	23-Nov	他業務	-	-	-	MAAIF、RAP コ ンサルタント 面談	-	-	-	-	-
127	24-Nov	他業務	-	-	-	エンテベ着 成田着	-	-	-	-	-
128	25-Nov	他業務	-	-	-	-	-	-	-	-	-

No.	氏名	業務主任者 ／灌漑施設 計画	副業務 主任者／ 灌漑施設 計画	水管理計画	施工計画／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画／ 積算	施設設計	自然条件 調査
	日程	家泉 達也	秋吉 一磨	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子
129	13-Dec	情報収集、資 料作成等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
130	14-Dec	情報収集、資 料作成等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
131	15-Dec	MAAIF、RAPコ ンサルタン ト面談	-	-	-	-	-	-	-	-	-
132	16-Dec	エンテベ発	-	-	-	-	-	-	-	-	-
133	17-Dec	成田着	-	-	-	-	-	-	-	-	-
134	15-Jan	羽田発、 エンテベ着、 JICA 専門家 面談	-	-	-	羽田発、 エンテベ着、 JICA 専門家面 談	-	-	-	羽田発、 エンテベ着、 JICA 専門家 面談	-
135	16-Jan	JICA 専門家 面談	-	-	-	JICA 専門家面 談	-	-	-	JICA 専門家 面談	-
136	17-Jan	JICA 事務所 面談	-	-	-	JICA 事務所面 談	-	-	-	JICA 事務所 面談	-
137	18-Jan	資料整理	-	-	-	資料整理	-	-	-	資料整理	-
138	19-Jan	MAAIF 面談	-	-	-	MAAIF 面談	-	-	-	MAAIF 面談	-
139	20-Jan	移動（カンパ ラムバレ）	-	-	-	移動（カンパ ラムバレ）	-	-	-	移動（カンパ ラムバレ）	-
140	21-Jan	現地調査、 RAP コンサル タント面談	-	-	-	現地調査、RAP コンサルタント 面談	-	-	-	資料整理	-
141	22-Jan	現地調査	-	-	-	現地調査	-	-	-	現地調査	-
142	23-Jan	JICA 専門家 面談	-	-	-	JICA 専門家面 談	-	-	-	JICA 専門家 面談	-
143	24-Jan	JICA 専門家 現地視察 同行	-	-	-	JICA 専門家現 地視察 同行	-	-	-	JICA 専門家 現地視察 同行	-
144	25-Jan	PDCC 面談、 現地調査	-	-	-	PDCC 面談、 現地調査	-	-	-	JICA 専門家 面談	-
145	26-Jan	現地調査、 PACC 面談	-	-	-	現地調査、PACC 面談	-	-	-	資料整理	-
146	27-Jan	Doho 視察、	-	-	-	Doho 視察、	-	-	-	Doho 視察、	-

No.	氏名 日程	業務主任者 ／灌漑施設 計画	副業務 主任者／ 灌漑施設 計画	水管理計画	施工計画／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画／ 積算	施設設計	自然条件 調査
		家泉 達也	秋吉 一磨	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子
		移動(ムバレ →カンバラ)				移動(ムバレ→ カンバラ)				移動(ムバレ →カンバラ)	
147	28-Jan	資料整理	-	-	-	資料整理	-	-	-	資料整理	-
148	29-Jan	JICA 専門家 面談	-	-	-	資料整理	-	-	-	JICA 専門家 面談	-
149	30-Jan	MAAIF、RAP コ ンサルタント、 JICA 専門家 家面談	-	-	-	MAAIF、RAP コ ンサルタント、 JICA 専門家面 談	-	-	-	MAAIF、RAP コ ンサルタント、 JICA 専門家 家面談	-
150	31-Jan	移動(カンパ ラ→ムバレ)	-	-	-	移動(カンバラ →ムバレ)	-	-	-	資料整理	-
151	1-Feb	第1回ステー クホルダー 協議	-	-	-	第1回 ステークホル ダー協議	-	-	-	資料整理	-
152	2-Feb	移動(ムバレ →カンバラ)	-	-	-	移動(ムバレ→ カンバラ)	-	-	-	資料整理	-
153	3-Feb	資料整理	-	-	-	資料整理	-	-	-	資料整理	-
154	4-Feb	資料整理	-	-	-	資料整理	-	-	-	資料整理	-
155	5-Feb	MAAIF 面談	-	-	-	MAAIF 面談	-	-	-	成田着	-
156	6-Feb	資料整理	-	-	-	資料整理	-	-	-	-	-
157	7-Feb	MAAIF 面談	-	-	-	MAAIF 面談	-	-	-	-	-
158	8-Feb	エンテベ発	-	-	-	エンテベ発	-	-	-	-	-
159	9-Feb	成田着	-	-	-	成田着	-	-	-	-	-
160	8-Jun	羽田発、 エンテベ着、 JICA 専門家 面談				羽田発、 エンテベ着、 JICA 専門家面 談					
161	9-Jun	資料整理	関空発			資料整理					
162	10-Jun	資料整理	エンテベ着			資料整理					
163	11-Jun	DOD 協議	DOD 協議			DOD 協議					
164	12-Jun	DOD 協議	DOD 協議			DOD 協議					
165	13-Jun	DOD 協議	DOD 協議			DOD 協議					
166	14-Jun	ミッツ作成	ミッツ作成			ミッツ作成					
167	15-Jun	資料整理	資料整理			資料整理					

No.	氏名	業務主任者 ／灌漑施設 計画	副業務 主任者／ 灌漑施設 計画	水管理計画	施工計画／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画／ 積算	施設設計	自然条件 調査
168	日程	家泉 達也	秋吉 一磨	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子
	16-Jun	資料整理	資料整理			資料整理					
169	17-Jun	移動（カンパラ→ムバレ）	移動（カンパラ→ムバレ）			移動（カンパラ→ムバレ）					
170	18-Jun	現地調査	現地調査			現地調査					
171	19-Jun	移動（ムバレ→カンパラ）	移動（ムバレ→カンパラ）			移動（ムバレ→カンパラ）					
172	20-Jun	資料整理	資料整理			資料整理					
173	21-Jun	資料整理	資料整理			資料整理					
174	22-Jun	エンテベ発	エンテベ発			エンテベ発					
175	23-Jun	成田着	成田着			成田着					
176	13-Aug		閑空着				閑空発				
177	14-Aug						エンテベ着 ⇒MAAIF 面談				
178	15-Aug						現地専門家 面談				
179	16-Aug						現地専門家 面談				
180	17-Aug						現地専門家 面談				
181	18-Aug						資料整理				
182	19-Aug						資料整理				
183	20-Aug						資料整理				
184	21-Aug						資料整理				
185	22-Aug	羽田発 ⇒エンテベ 着 ⇒MAAIF 面談				羽田発 ⇒エンテベ着 ⇒MAAIF 面談	現地専門家 面談				
186	23-Aug	現地専門家 面談				現地専門家 面談	現地専門家 面談				
187	24-Aug	現地専門家 面談				現地専門家 面談	現地専門家 面談				
188	25-Aug	移動（カンパ ラ⇒クミ）				移動（カンパ ラ⇒クミ）	移動（カンパ ラ⇒クミ）				
189	26-Aug	オベタ湖 状況確認				オベタ湖 状況確認	オベタ湖 状況確認				

No.	氏名	業務主任者 ／灌漑施設 計画	副業務 主任者／ 灌漑施設 計画	水管理計画	施工計画／ 積算	社会配慮	環境配慮	道路設計	機材計画／ 積算	施設設計	自然条件 調査
	日程	家泉 達也	秋吉 一磨	荒川 英孝	松本 裕一	志賀 あゆみ	石川 秀樹	石田 新太	新井 伸一	福田 康	三木 和子
190	27-Aug	移動(クミ⇒ カンパラ)				移動(クミ⇒カンパラ)					
191	28-Aug	現地専門家 面談				現地専門家面談					
192	29-Aug	現地専門家 面談				現地専門家 面談	エンテベ発				
193	30-Aug	現地専門家 面談				現地専門家 面談	閑空着				
194	31-Aug	現地専門家 面談				現地専門家 面談					
195	1-Sep	資料整理				資料整理					
196	2-Sep	資料整理				資料整理					
197	3-Sep	現地専門家 面談⇒ エンテベ発				現地専門家 面談					
198	4-Sep					エンテベ発					
199	5-Sep					成田着					

資料-3. 関係者リスト

所属・氏名	役職
1. Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries (MAAIF)	
Pius Wakabi Kasajja	Permanent Secretary
(1) Department of Agricultural Infrastructure, Mechanization and Water for Agricultural Production (DAIMWAP)	
Okanya Boniface	Project Manager
Ronald Kato Kayizzi	Ag. Commissioner
Benon Lwanga	Senior Engineer
Dominic Benaga Mucunguzi	Senior Engineer
Ollando Allan	Engineer
Olawanga Reagan Yowe	Agricultural Engineer
(2) Agricultural Planning Department	
Jiro Nozaka	Planning Advisor (JICA Expert)
Kuninobu Noda	JICA Expert in Irrigation, Drainage and Reclamation
2. Ministry of Water and Environment (MWE)	
Alfred Okot Okidi	Permanent Secretary
(1) Directorate of Water Resource Management	
David Cheptook	Senior Water Officer, Department of Water Resources Regulations
Aheebwa Julius	Water Officer
(2) Water for Production	
Richard Cong	Commissioner
(3) Environment Affairs	
Paul Mafabi	Director
(4) National Environment Management Authority	
Jerome S. Lugumira	Natural Resources Manager (Soils and Land Use)
3. Ministry of Works and Transport (MoW)	
(1) Public Structures Department	
Moli Tom Atikoro	Senior Architect
(2) Roads and Bridges Department	
Robert Rwandga	Commissioner
Usama Kayima	Senior Engineer
(3) Construction Standards and Quality Management Department	
Wilfred Okello	Commissioner
4. Project District Coordination Committee (PDCC)	
(1) Kween District	
Yesho Nelson	Chairman, district Production Officer
Tomin Nelson	Secretary, Community Development Officer
(2) Blambuli District	
Nangay Gefrey	Chairman, District Agricultural Officer
Namwau Christine	Secretary, Community Development Officer
(3) Ngenge Sub-county	
Satya Peter Chapa	LCIII Chairman
Cherop Moses	Chief
(4) Bunambutry Sub-county	
Baraza Mark	LCIII Chairman
Wanasolo Rogers	SAS
5. Project Area Coordination Committee (PACC)	
(1) Sikwa Parish	
Ayeba Yassin	Chairman
Mwanaidi Yapsaleh	Secretary
Kityo Hassan Kari	Publicity
(2) Bewebere Parish	
Masinde Juma	Chairman
Makunya Abdul	Secretary
Koreshi Simon	Publicity

資料-4. 討議議事録

番号	議事録名	日付	場所
1	Minutes of Meeting of PDCC Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (Land Reorganization)	19 th July, 2017	Bulambuli District Office
2	Minutes of Meeting of PACC Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (Land Reorganization)	20 th July, 2017	Atari
3	Minutes of Meeting of PDCC Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (Construction Planning)	26 th July, 2017	Bulambuli District Office
4	Minutes of Meeting of PACC Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (Land Reorganization (Only Bulambuli))	26 th July, 2017	Atari
5	Memorandum of Discussion on Joint Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (General Meeting, Land Reorganization)	27 th July, 2017	Atari
6	Minutes of Discussions on the Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System in the Republic of Uganda	30 th July, 2017	Kampala
7	Minutes of Meeting of PDCC Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (Buffer Zone)	3 rd August, 2017	Bulambuli District Office
8	Memorandum of Discussion on PACC Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (Construction Planning)	4 th August, 2017	Atari
9	Memorandum of Discussion on Joint PDCC Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (Construction Planning)	14 th August, 2017	Bulambuli District Office
10	Memorandum of Discussion on Joint PACC Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (Construction Planning)	15 th August, 2017	Atari
11	Memorandum of Discussion on Joint PACC Discussion for the Project for Atrai Irrigation System in the Republic of Uganda (General Meeting, Construction Planning)	19 th August, 2017	Atari
12	Minutes of Meeting for the Fifth JTC Meeting for the Project for Atari Irrigation System in the Republic of Uganda	29 th August, 2017	Kampala
13	Minutes of Meetings Between Japan international Cooperation Agency and Authorities concerned of the Government of the Republic of Uganda on the Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System in the Republic of Uganda	29 th September, 2017	Kampala
14	Minutes of Meetings for the Project for Atari Irrigation Scheme in the Republic of Uganda	7 th February, 2018	Kampala
15	Minutes of Discussions on the reparatory Survey for the Project for Atari Irrigation System (Explanation on Draft Preparatory Survey Report)	14 th June, 2018	Kampala

(1) Minutes of Meeting of PDCC Discussion (19/07/2017)

The Preparatory Survey on The Project for Atari Irrigation system in the Republic of Uganda

Discussion Memo

(Meeting with PDCC of Bulambuli and Kween Districts)

Date: 19.07.2017

Time: 11:00-14:00

Venue: Bulambuli District Local Government headquarters

MAAIF: Mr. Benon Lwanga (Senior Engineer, MAAIF), Mr. Ollando Allan (Engineer, MAAIF), Mr. Okwanga Keagan Yoweri (Agricultural Engineer, MAAIF)

Consultant: Mr. Tatsuya Izumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan), Mr. Kazuma Akiyoshi (Co-Team Leader/Irrigation Facility Plan), Mr. Fusataka Arakawa (Water Management Design), Mr. Yuichi Matsumoto (Construction Plan and Cost Estimation), Mr. Shinta Ishida (Road Design), Ms. Kazuko Miki (Natural Condition Survey)

Ugandan staff: Ms. Adumo Esther, Mr. Shimiyu David and Mr. Okiria Emmanuel
Bulambuli, Kween PDCC: Refer to Attendance List

Points of Discussion.

The Consultant provided the following agenda to clarify the outline design.

1. Land reorganization

The Consultant informed of the concept and necessity of land reorganization. The Consultant requested to discuss and to clarify the consensus of the matters with the persons related.

2. Natural condition survey

The Consultant updated and reported the natural condition survey such as topographic survey, geotechnical survey, baseline survey and water quality survey for the necessary permission and cooperation to the person related.

3. Building facilities

The Consultant informed of the building facilities requested by the GoU such as training space and house, drying yard and Storage for production and seed. The Consultant requested to discuss and to clarify the consensus of concept with the persons related.

Minutes of meeting:

1. Introduction

PDCCs and ex-officials of Bulambuli, PDCCs and ex-officials of Kween District, MAAIF and Sanyu Consultants were introduced in that order. Mr. Nangai Geoffrey (Chairman PDCC of Bulambuli District) asked PDCCs of Kween and Bulambuli Districts to act in unison for the sake of Atari Irrigation System Project. He reminded both PDCCs and other technical people from MAAIF and district local government that their role was to serve the people and help them out of poverty.

2. Communication from Mr. Benon Lwanga (Senior Engineer, MAAIF)

He introduced the main topic of the day as land reorganization. He noted that "for setting up the efficient irrigation scheme, reorganization of the land is critical to ensure uniform water distribution by gravity method". He emphasized the importance of changing boundary shape to rectangular shape, and the fact that farmers will still retain their original land holding/area after reorganization. He urged PDCCs to communicate this reorganization concept to PACCC and he went further to inform them that there would be a meeting with PACCCs of Sikwo and Buwebere parishes to introduce this concept of reorganization. He

BL

2

BL

stressed the importance of PDCCs and ex-officials taking uniform message to the community to avoid conflict and misunderstanding.

3. PPT Presentation by the Consultant

The PPT presentation focused on three main points, namely; land reorganization, natural condition survey and building area. The Consultants especially urged to clarify the following issues;

- ✓ Work Demarcation on the land reorganization between Japan and Uganda
- ✓ Redeveloping the individual boundary. After the reorganization of farm-plots to each farmer, the individual boundary has to be redeveloped.
- ✓ Some individual farm-plots reorganized could be decreased due to replacing to irrigation facilities.

4. PPT presentation by Mr. Lwanga Benon (Senior Engineer, MAAIF)

His presentation also focused on land reorganization. He basically complemented the Consultant's previous presentation. His main points include but were not limited to:

- Reorganization of land ensures a clear road network, easing movement/transport,
- When terrain is not levelled, water distribution and drainage is non-uniform,
- Uniform water flow is stable, or even impossible with the current land arrangement.

5. Open Discussion

Mr. Anguria Albert, Chairman PDCC Kween district, asked what would happen to the area where facilities will be constructed and also the farmers who have cultivated up to the buffer zone.

Mr. Benon Lwanga responded that the Government of Uganda will get a RAP consultant who will handle the issues of support to the project affected persons whose land will be taken up by the major infrastructure developments but not support for the tertiary channels as those will be directing water to the farmer's plots. He also mentioned that the two districts stakeholders will seat and identify land for project facilities.

On the issue of the buffer zone, the senior environment officer of Bulambuli, guided that buffer zone is designated as the conservation area and so the farmers who have cultivated in the buffer zone will not be supported. She defined the buffer zone, according to the 6th convention, as being the area 100m for the highest water mark for major rivers and 30m for others.

During discussions it was noted that the word "reclamation" might become a contentious issue, so it should be changed to realignment or land reorganization.

LC-3 chairman of Ngeenge asked if the area is realigned, will it not bring boundary problems between Bulambuli and Kween districts since the river is meandering.

The response given was that river course will not change as the river is the boundary between Bulambuli and Kween districts.

Benon reechoed that incase of realignment there might be small pieces of land which might be very difficult to reorganize. In that case, negotiation will be encouraged within the beneficiary farmers and for some small pieces of land outside main extreme block to be left out of the project of area.

Dr. Yeshe emphasized the members not to imagine negative responses from the farmers because the demand for the project is so high and the farmers are looking forward to the construction stage. He encouraged the study team to go ahead with the study since the farmers are receptive.

BL

3

BL

Conclusion of meeting:

- ✓ Both side PDCC and the Consultant accepted to use the word of "Land reorganization" instead of "land reclamation".
- ✓ PDCC understood the necessity of the land organization and allowed the Consultant to explain and discuss with PACCs on 20th July 2017. MAAIF and PDCC promised to attend the meeting.
- ✓ PDCC allowed the consultant to conduct the survey of topographic survey, geotechnical survey, baseline survey and water quality survey at the site.

End of memo.

BL

4

(2) Memorandum of Discussions of PACC Discussion (20/07/2017)

MEMORANDUM OF DISCUSSIONS
ON
PACC DISCUSSION
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN
THE REPUBLIC OF UGANDA

Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent Sanyu Consultants INC. (hereinafter referred to as "the Consultant") to Uganda, as Preparatory Survey Team for the Outline Design.

The Consultant held a discussions with the Project Area Coordination Committee (hereinafter referred to as "PACC") concerning the Project. In the course of the discussions, both sides have confirmed the technical matters described in the attached sheets. The Consultant will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.

21st July 2017


Benon Lwanga
Senior Engineer
Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries


Masinde Juma
Chairman
PACC Bwembere Parish in Bulambli district


Ayeba Yassin
Chairman
PACC Sikwa Parish in Kween district


Leader of the Consultant
Tastuya Ieizumi

The Preparatory Survey on The Project for Atari Irrigation system in the Republic of Uganda
Discussion Memo

(Meeting with PACC of Bwembere Parish Bunambuteye Sub county and Sikwo Parish Ngenge Sub county)

Date: 20.07.2017

Time: 14:00-17:00

Venue: Atari Apostolic Church

MAAIF: Mr. Benon Lwanga (Senior Engineer, MAAIF), Mr. Olando Allan (Engineer, MAAIF), Mr. Okwanga Reagan Yoweri (Agricultural Engineer, MAAIF)

Consultant: Mr. Tastuya Ieizumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan), Mr. Kazuma Akiyoshi (Co-Team Leader/Irrigation Facility Plan), Mr. Fusataka Arakawa (Water Management Plan), Mr. Yuichi Matsumoto (Construction Plan and Cost Estimation), Mr. Shinta Ishida (Road Design), Ms. Kazuko Miki (Natural Condition Survey)

Local Consultant team: AMARI: John Mackey Ogwang, Basil Wanzira

Ugandan staff: Ms. Adumo Esther, Mr. Shinyu David and Mr. Okiria Emmanuel

PACC: Refer to Appendix

Points of Discussion.

The Consultant provided the following agenda to clarify the outline design.

1. Land reorganization

The Consultant informed of the concept and necessity of land reorganization. The Consultant requested to discuss and has to clarify the consensus of the matters with the persons related.

2. Natural condition survey

The Consultant updated and reported the natural condition survey such as Topographic survey, Geotechnical survey, Baseline survey and Water quality survey for the necessary permission and cooperation to the person related.

3. Building facilities

The Consultant informed of the building facilities requested by the GoU such as Training space and house, Drying yard and Storage for production and seed. The Consultant requested to discuss and has to clarify the consensus of concept with the persons related.

Minutes of meeting:

1. Introduction

PACCs of Sikwa parish, ex-officials and Council of Ngenge Sub County, PACCs of Bwembere Parish and ex-officials and Council of Bunambuteye Sub County, MAAIF and Sanyu Consultants were introduced in that order. Apology from the PDCC Kween who could not join the meeting because of the impassable road due to heavy rainfall.

2. Welcome remarks from chairman PACC Bwembere Mr. Masinde Juma

Mr. Masinde Juma, PACC Buwebere, welcomed everyone in their various capacities and he looked forward to working with study team. Chairman LC 3 Ngenge Sub County, Mr. Satya, expressed his joy by welcoming the members and pledged his support for the project.

The sub county councillor, Mr. Chemutai Abdu, also informed the meeting that Kween District together with Ngenge Sub County have already identified the land where the project facilities such as storage facilities, drying yard can be constructed. He encouraged that a committee be selected between the two districts of Bulambuli and Kween in order to identify the most suitable available place.

Eng Benon reechoed regarding the location of project building structures that it is dependent upon the two districts to agree on one location and not the responsibility of the study team.

3. Remarks from MAAIF represented by Eng. Benon Lwanga

- They have come to do two things;
- How best to construct facilities on the ground that will last for long
- How to organize farmers/handowners on the project area, and to explain what field work activities the study team will be carrying out on the ground.

The view expressed by the consultant is a world known standard on Irrigation.

4. Power point presentation by the Consultants

The PPT presentation focused on three main points, namely; Land realignment, Natural Conditions and Building area. The Consultants especially urged to clarify the following issues;

- ✓ Work Demarcation on the land reorganization between Japan and Uganda
- ✓ Redeveloping the individual boundary; After the reorganization of farm-plots to each farmer, the individual boundary has to be redeveloped.
- ✓ Some individual farm-plots reorganized could be decreased due to replacing to irrigation facilities.

5. Open Discussion

Mr. Ayeba Yassin chairman PACC Sikwa asked that since the last boundary demarcation (LABOD) was done last year there has been changes on the ownership of land. What is going to happen? Will the changes be taken into consideration. He also asked a question from the presentation that some plots were going to reduce during land reorganization, will they reduce because of the facilities only or other factors may cause that.

The members were also informed by Eng. Benon Lwanga that for the major facilities the RAP consultant will handle all those changes as he is physically working with the people on the ground..

He also said that there will be two consultants for the RAP namely ;

1. The one who will identify, evaluate and document the Project affected persons (PAP's)
2. To carry out implementation on the RAP.

Chairman PACC Buwebere with his knowledge of the project explained that after this process the RAP consultant is going to base on the land which is reorganized in the design to work out the support to persons affected by the major facilities.

Chairman PACC Buwebere, Mr. Juma, asked concerning the building facilities inquired that previously last year, during the feasibility studies, the farmers were informed that there would be two facilities in both sides that is Bulambuli and Kween districts, why the change in that regard. He also wanted to know when leveling works starts, will farmers be in position to continue farming on their land.

MAAIF, Eng. Benon Lwanga responded that in the grant aid package, the GoI is offering GoU support for only one facility, although there is a joint component for GoU as well. He also explained that just like any construction work during construction, there will be some inconvenience when machines are moved on the ground which might disrupt the farmer's activities, but it is all for the long term benefit of the farmers. It was also noted during discussion that Atari River remains as the boundary between Bulambuli and Kween districts. But the Buffer Zone needs to be put as stipulated in the regulation to conserve the River also GoU holds water resources in trust for all the people of Uganda, and so all stakeholders need to use the water resources sustainably.

The Consultant also informed members that leveling works is important to ensure uniform water depth all over the paddy field and these works will be done by JICA, if the land reorganization is accepted in the Project. And it ensures uniform growth of paddy.

Conclusion of meeting:

- ✓ The chairman LC 3 Ngenge sub county assured members that the remaining part of sensitizing the land owners, the district leaders and PACC members should take up the responsibility and be involved in passing on the information

BZ

BZ

(3) Minutes of Meeting of PDCC Discussion (26/07/2017)

MINUTES OF MEETING
OF
PDCC DISCUSSION
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN
THE REPUBLIC OF UGANDA

Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent Sanyu Consultants INC. (hereinafter referred to as "the Consultant") to Uganda, as Preparatory Survey Team for the Outline Design.

The Consultant held a discussion with the Project District Coordination Committees of Bulambuli and Kween Districts on 26th July 2017 at Bulambuli District head quarters (hereinafter referred to as "PDCC") concerning the Project. In the course of the discussions, both sides have confirmed the technical matters described in the attached sheets. The Consultant will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.


Nangat Geothey
Chairman
PDCC of Bulambuli District


Yeshe Nelson
District Production Officer, Kween District
PDCC of Kween District


Leader of the Consultant
Tatsuya Ieizumi

The Preparatory Survey on The Project for Atari Irrigation system in the Republic of Uganda
Minutes of discussion
(Meeting with PDCC of Bulambuli and Kween Districts)

Date: 26.07.2017

Time: 11:00-14:00

Venue: Bulambuli District Local Government headquarters, Climate Change Adaptation Learning Centre

Consultant: Mr. Tatsuya Ieizumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan), Mr. Yuichi Matsumoto (Construction Plan and Cost Estimation)

Ugandan staff: Mr. Okiria Emmanuel

Attendants list: Refer to Appendix

Discussion:

1. Purpose of the presentation

The presentation is to discuss the basic concept of the construction planning. The five agendas are provided to the participants.

- 1) Candidate Location of Contractor's Base Camp
- 2) Temporary road for construction in the project site
- 3) Spreading of excavated soil onto farm land
- 4) Disposal area for spoiled soils in the project site
- 5) Stability of Electricity Supply in Atari Project Site

1) Candidate location of contractor's base camp

Since period of construction is 3 years, the Consultant remarked, and the contractors camp has to be stationed near the project site. The area is necessary to be at least some 2 acres of space will be required for this base camp. The Consultant requested to the PDCCs a recommendable location for the base camp.

2) Temporary road for construction in project site

The Consultant showed the typical section of the temporary road for the construction and the idea to avoid disturbing/damaging farmland by the road. In the presentation, typical width of road is 4.5meter and the lay-bay which is the escape zone for trucks is necessary to be at intervals of 500meter. The Consultant proposed to lay the plastic sheet under the road embankment to avoid mixing with the soil for road and the original farm soil.

3) Spreading of excavated soil onto farmland

The meaning of this agenda is that since the soil excavated for the construction would be fertile, it should be able to return to the farmland, if the farmers allow this idea. The Consultant also asked as follows:

- How should we treat this excavated soil?
- How depth should we excavate the surface of farmland to conserve the fertile soil?

The Consultants mentioned that the unit volume of excavated soil could be 6.0m³/m and the thickness of spread soil to the farmland could be 10cm and 30m area as the rough estimation

4) Disposal area for spoiled soils in the project site

The construction works is necessary to dispose the surplus soil and it would be preferably within project area. With this in mind, the Consultant requested the permission of the farmers for the disposing the surplus soil and suggestion of recommendable disposal area.

5) Stability of electricity supply in Atari project area

The Consultant inquired the situation of electricity supply, especially the stability, in the Atari project area.

2. Comments from PDCCs

1) PDCC, Mr. Tomim Nelson, asked, "Will the disposal site area be on the contractor's base camp?"

The Consultant replied that the location for the disposal site would depend on the volumes of earth works generated. He estimated that about 1 acre will be required for excavated soil.

2) PDCC, Mr. Musunga inquired the feasibility of using the excess/surplus soil for dyke construction

The Consultants replied as followings;

Murram soil can be used for dyke construction. Because black cotton soil generated from farmland is not suitable for civil works such as roadway and major/big facilities. Black cotton soils may work fine for the smaller facilities like farm ditch.

On the other hand, black cotton soil is good for farmland. The idea mentioned at agenda 3) which is to spread the excavated black cotton soil on farmland, may be optimum solution.

The Consultant also informed that the depth of black cotton soil probably may be expected to approx.5meter in the project rea and the expected excavation depth could be a mere 2meter.

3) PDCC, Mr. Tomim Nelson made the following comments;

Since Sanyu Consultants has experience in similar irrigation scheme development projects, their guidelines and concepts should be adopted. He told that the Consultant submitted the main issues to PDCCs for understanding the concepts so as to explain them to PACCs and the general project beneficiaries.

Conclusion:

The presentation will be done to the PACCs and the general project beneficiaries.

(End of the minutes of meeting)

(4) Minutes of Discussions of PACC Discussion (26/07/2017)

MEMORANDUM OF DISCUSSIONS

ON
PACC DISCUSSION
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM

IN
THE REPUBLIC OF UGANDA

Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent Sanyu Consultants INC. (hereinafter referred to as "the Consultant") to Uganda, as Preparatory Survey Team for the Outline Design.

The Consultant held a discussion with the Project Area Coordination Committee (hereinafter referred to as "PACC") concerning the Project. In the course of the discussion, both sides have confirmed the technical matters described in the attached sheets. The Consultant will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.

26th July 2017

Masinde Juma
Chairman
PACC Buwebere Parish in Bulambli district



Leader of the Consultant
Tastuya Ieizumi



The Preparatory Survey on The Project for Atari Irrigation system in the Republic of Uganda

Discussion Memo

(Meeting with PACC of Buwebere Bunambutye county)

Date: 26.07.2017

Time: 14:00-17:00

Venue: Apostolic Church in Atari

Consultant: Mr. Tatsuya Ieizumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan), Mr. Kazuma Akiyoshi (Co- Team Leader/ Irrigation Facility Plan), Mr. Fusataka Arakawa (Water Management Plan), Ms. Kazuko Miki (Natural Condition Survey)

Ugandan staff: Ms. Adumo Esther, Mr. Shimiyu David

Attendants list: Refer to Appendix

Minutes of meeting:

1. Introduction

The reason of this meeting as follows;

- In response to the result of a meeting of PACC on 20th July, PACC Buwebere Bunambutye county requested the Consultant the presentation for the deeply understanding of the land reorganization idea.
- As members of the community, they have responsibility to deliver the correct information of land reorganization to the member

2. Discussions

1. Concern on buffer zone which was agreed to 5 to 20 meters upon during community resource management plan and put in the MoU signed 4th May 2016. That is to say that "We are supposed to manage conservation zones which is 5 to 20 meters and maintain such with planted trees as buffer zone". But in the new design it shows 30 meters stipulated we need clarity on that.

Answer: Study team will consult with the MAAIF, MWE and NEMA because they are following what is in the previous reports.

2. We know the makeup of River Atari, it goes while meandering, According to the new design, the protection dyke is going to be made straight. That will not affect the boundary because the river is the boundary for the two districts.

Answer: We shall follow the centerline of the meandering of the river although there will be minor adjustments.

3. Give more highlight on land reorganization. Is it the contractors to create the new boundaries and during leveling? Some land will be lost to the facilities.

Answer: JICA will do leveling and creating the exterior boundaries, but the farmers will do the internal boundaries.

4. It is a scenario. For example, some plots have so many corners but after leveling and reorganization, it will be made into 4 corners. How will the farmer find or recover those left out

pieces of land? (The meaning of this inquiry is that the existing boundary is in conformity with the cadastral boundary, but the new boundary will not be in conformity with that. How will they identify the their cadastral boundary?) Will they be allowed to cultivate on those portions as well. During land leveling works where will the farmers be cultivating? And will they be able to have access to the land for production?

Answer: The allowable periods of cultivation during construction stage should be waited for the completion of outline design and construction planning.

MAAIF through the RAP consultant will access seasons together with the farmers and see a way of working out a manageable solution.

Regarding the boundary change by Land reorganization, the consultant has to clarify whether or not the existing cadastral boundary has remained after the land organization, because the Consultant could assume that existing cadastral boundary will be replaced to the new boundary in accordance with the landform by reorganization.

5. The target project area shows that Bulambuli area is smaller than Kween area. Is it possible for the new consultant to change during the outline design stage, because those farmers who are at downward area of project area have been left out from the target project area.

Answer: During the previous survey, it was recognized that part of Bulambuli area did not make a consensus for the land matters, and C/Ps and JST decided to exclude that area from the target, then the decision was accepted by PACC. The Consultants insisted on the negative possibility to that area.

6. On the matter of project facilities such as drying yard, training space and storage for production, the PACC requested that these facilities are put near to the project area but not in Ngenge or Bunamuye. Because it will be very far for farmers to transport their harvest. They emphasized that whatever the consultant recommends should be taken into consideration and the government need to support the farmers.

3. Conclusion of meeting

- ✓ PACC members agreed that Land reorganization is a good idea and other farmers will also understand and if possible the video clip of Doho be showed to them because it clearly shows irrigated plots for more appreciation of the concept.
- ✓ Questions arising from the farmers at Joint PACC meeting on 27th July, will be handled by the PACC after consulting with the study.
- ✓ Regarding facilitation the consulting (JST) team will facilitate the community meetings and local consultant will pay some allowance to the PACC member whenever they engage them in field work activities.
- ✓ In conclusion PACC members agreed that during the community meeting they will make the presentation to the farmers.

(End of memo)

(5) Memorandum of Discussions on Joint Discussion (27/07/2017)

MEMORANDUM OF DISCUSSIONS
ON
JOINT PACC DISCUSSION
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM

IN
THE REPUBLIC OF UGANDA

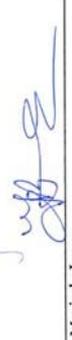
Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation scheme (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent Sanyu Consultants INC. (hereinafter referred to as "the Consultant") to Uganda, as Preparatory Survey Team for the Outline Design.

The Consultant held a discussion with both of Project Area Coordination Committee (hereinafter referred to as "PACC") concerning the Project includes the Project District Coordination Committees (hereinafter referred to as "PDCC") of Bulambuli and Kween, and the farmers related. In the course of the discussion, both sides have confirmed the technical matters described in the attached sheets. The Consultant will proceed to further work and prepare the Preparatory Survey Report.

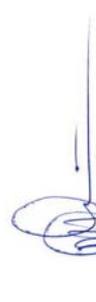
27th July 2017


Benon Lwanga
Senior Engineer
Ministry of Agriculture, Animal Industry and
Fisheries


Nangai Geoffrey
Chairman
PDCC of Bulambuli District


Masinde Juma
Chairman
PACC Buwebere Parish in Bulambuli district


Leader of the Consultant
Tastuya leizumi


Yesho Nelson
District Production Officer, Kween District
PDCC of Kween District


Ayeba Yassin
Chairman
PACC Sikwa Parish in Kween district

The Preparatory Survey on The Project for Atari Irrigation system in the Republic of Uganda
Discussion Memo

(Meeting with PACC of Buwebere, Bunambuye Sub-county and Sikwo, Ngenge Sub-county)

Date: 27.07.2017

Time: 14:00-17:00

Venue: Atari Primary School

MAAIF: Mr. Benon Lwanga (Senior Engineer, MAAIF), Mr. Okwanga Reagan Yoweri (Agricultural Engineer, MAAIF)

Consultant: Mr. Tastuya leizumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan), Mr. Kazuma Akiyoshi (Co-Team Leader/ Irrigation Facility Plan), Mr. Shinichi Arai (Agricultural Mechanization, Agro-Processing and Marketing), Ms. Kazuko Miki (Natural Condition Survey)

Ugandan staff: Ms. Adumo Esther, Mr. Shimiyu David

Attendants list: Refer to Appendix

Minutes of meeting:

1. Introduction

Message from LC 1 chairman of the area Masaba William welcomed the guests and expressed their acceptance and willingness to cooperate with the project.

The PACC chairpersons of Sikwo and Buwebere welcomed and appreciated JICA Survey Team, government representatives and the farmers who turned up in big numbers to attend the community sensitization meeting. The Chairman Buwebere Mr. Juma Masinde acknowledged the presence of women in the meeting and welcomed their participation.

The Chairman LC 3 Bunambuye Sub-county introduced the sub-county officers and informed the JICA Survey team that attendances are the real land owners in the project areas.

- ✓ Emphasis was put in constructing building facilities in the project area, not outside. In terms of progress of this project, he acknowledged that people have come a long way,
- ✓ Requested the farmers to be patient because the consultants are making sure that there are no mistakes in the process. He encouraged the farmers to be open-minded and ask all the relevant questions because this project is meant for poverty alleviation in the area and JICA together with GoU are interested in improving the livelihood of the farmers.

The PDCC chairman Kween District encouraged farmers to continue embracing the project and also informed the farmers that there is a similar project under FIEFOC in Ngenge which is ongoing and it does not have the component of support (compensation) on the major facilities but the community has embraced it because of its future benefit to their livelihood. In this particular Atari project land is going to be recognized and GoU is going to support (compensate) the project affected persons (PAPS) where the major facilities are going to be constructed.

Mr. Benon Lwanga from MAAIF informed members that this is one of the national projects and Atari Irrigation Project is one of the many irrigation projects GoU is undertaking. For some irrigation

projects Government takes on loans from other donors to develop them, fortunately, Atari project will be implemented by the Japanese Grant Aid. From the presentation by the Consultant they are interested in farmers having equitable water distribution and for that matter the Consultant from JICA proposed the land reorganization.

The Consultant was delighted to meet all the farmers from the project area for the first time and he informed the meeting of their plan for land reorganization and encouraged the farmers to understand the explanations going to be shared.

2. Presentation by PACC chairman Buweberz

As for the Land reorganization, the project will organize the irrigation facilities for improving and facilitating the agricultural production and the water management. These canal alignments should be formed and organized to the network. In order for proper establishment of the network among each facility, the land reorganization is indispensable. The chairman explained the advantage and disadvantage as follows;

- i) Advantages of land reorganization include;
 - Stable irrigation water
 - Smooth and even access of irrigation water
 - Easy access to farmland
 - Mitigation of the flood damage
 - Accurate management of the agricultural production
 - Easy leveling works for uniform water flow
 - Smooth introduction of farming mechanization in future

ii) Disadvantages

- Change to new irrigation system
- Change to new landform

Also he emphasized on very important points to note:

- iii) Work Demarcation on the land reorganization between Japan and Uganda. JICA will construct the outline of farmland including the land leveling works and then GoU will reorganize farm plots to each farmer.
 - iv) Redeveloping the individual boundary after the reorganization of farm-plots to each farmer, the individual boundary has to be redeveloped. Some individual farm-plots reorganized could be decreased due to replacing to irrigation facilities. Meaning that;
 - v) Farmer's land could be decreased. Some land could be replaced to irrigation facilities area.
- He informed members to understand all the changes and points brought by the project. He put emphasis on mostly the advantages and disadvantages of Land reorganization.

3. Discussion

- 1) During Land Boundary Survey, we discovered that some land boundaries could rise conflicts and it was not be resolved at that time. How do we identify the exact size?

Answer; During the Land Boundary Survey, every land owner got to know the actual size of their land with names and the size, and so after leveling let the RAP consultant should come to relocate them with GPS coordinate.

- 2) During leveling works, the heavy machinery will be used. Will it remove the surface soil temporary while leveling? Is there any possibility to lose fertility soil?

Answer; leveling works will not affect the soil fertility as only a smaller layer of soil is moved in the process

- 3) Will the farmers be trained to manage the land after the construction process?

Answer; There will be training given to the farmers for example to manage water usage and sharing since it will be a new aspect.

- 4) According to the handout, I cannot understand clearly the boundary for the two districts. But I guess that the boundaries will be changed. Is it correct ?

Answer; The boundary between Bulambuli and Kween districts will not be changed because Atari River remains as the boundary.

- 5) Will the infrastructures such as canals and roads, and the leveling works happen to affect the graves in area?

Answer; The RAP consultant will meet with affected persons and agree on how to relocate the graves in case the infrastructure will affect them.

4. Conclusion of meeting

After the responses to different questions, the farmer's unanimously agreed that land reorganization is important and accepted to support it. The Consultant stressed that the outline design will be proceeded based on the concept of land reorganization and they will show the design layout to the RAP consultant who will come to site to handle the RAP process.

(End of memo)

(6) Minutes of Discussions (30/07/2017)

**Minutes of Discussions
on the Preparatory Survey on the Project for
Atari Irrigation System in the Republic of Uganda**

Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent the Preparatory Survey Team for the Outline Design (hereinafter referred to as "the Team") to Uganda, headed by Arefu Araki, Deputy Director, 4th Division Rural Development Department, JICA, and is scheduled to stay in the country from 26th to 5th July, 2017.

The Team held a series of discussions with the officials concerned of the GoU (and conducted a field survey in the Project area). In the course of the discussions, both sides have confirmed the main items described in the attached sheets. The Team will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.

Kampala, 30th July, 2017

 Pius Wakabi Kasajja	 Araki Arefu
Permanent Secretary, Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries	Leader Preparatory Survey Team Japan International Cooperation Agency Japan

ATTACHMENT

1. Objective of the Project
The objective of the Project is to increase production and productivity of rice in targeted communities through development of irrigation facilities and provision of equipment.
2. Title of the Preparatory Survey
Both sides confirmed the title of the Preparatory Survey as "the Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System in the Republic of Uganda".
3. Project Site
Both sides confirmed that the site of the Project is in Atari basin area located in Buwebere and Sikwa parishes, Bunambuye and Ngenge sub-counties in Bulambuli and Kween Districts respectively, Eastern Region of Uganda as shown in Annex 1.
4. Executing Agency
Both sides confirmed that Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries (MAAIF) will be the executing agency for the Project (hereinafter referred to as "the Executing Agency"). The Executing Agency shall coordinate with all the relevant authorities to ensure smooth implementation of the Project and ensure that the undertakings for the Project shall be managed by relevant authorities properly and on time. The organization charts are shown in Annex 2.
5. Items requested by the GoU
 - 5-1. As a result of discussions, both sides confirmed that the items requested by the GoU are as shown in Annex 3.
 - 5-2. JICA will assess the appropriateness of the above requested items through the survey and will report its findings to the Government of Japan. The final components of the Project would be decided by the Government of Japan.

6. Japanese Grant Aid Scheme

6-1. The Ugandan side understands the Japanese Grant Aid Scheme and its procedures as described in Annex 4, Annex 5 and Annex 6, and necessary measures to be taken by the GoU. A template of the Project Monitoring Report to be submitted by the executing agency is as attached in Annex 7.

6-2. The Ugandan side understands to take the necessary measures, as described in Annex 8, for smooth implementation of the Project, as a condition for the Japanese Grant to be implemented. The detailed contents of the Annex 8 will be worked out during the survey and shall be agreed no later than by the Explanation of the Draft Preparatory Survey Report.

The contents of Annex 8 will be used to determine the following:

- (1) The scope of the Project.
 - (2) The timing of the Project implementation.
 - (3) Timing and necessary of budget allocation.
- Contents of Annex 8 will be updated as the Preparatory Survey progresses, and will finally be the Attachment to the Grant Agreement.

7. Schedule of the Survey

7-1. The Team will proceed with further survey in Uganda until April, 2018.

7-2. JICA will prepare a draft Preparatory Survey Report in English and dispatch a mission to Uganda in order to explain its contents around April, 2018.

7-3. If the contents of the draft Preparatory Survey Report is accepted in principle and the Undertakings are fully agreed by the Ugandan side, JICA will complete the final report in English and send it to the GoU around July, 2017.

7-4. The above schedule is tentative and subject to change.

8. Environmental and Social Considerations

8-1. The Ugandan side confirmed to give due environmental and social considerations during implementation of the Project, and after completion of the Project, in accordance with the JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April, 2010)(hereinafter referred to as "JICA Guidelines").

8-2. The Project is categorized as A because the Project falls into the agriculture sector located in a sensitive area under the JICA Guidelines. The Ugandan side confirmed to conduct the necessary procedures concerning the environmental assessment (including stakeholder meetings, Environmental Impact Assessment (EIA) and information disclosure, etc.) and make EIA report of the Project. The

EIA approval shall be received from the responsible authorities and submitted to JICA before the Draft Outline Design Mission scheduled in March 2018.

8-3. The Ugandan side confirmed to prepare an Abbreviated Resettlement Action Plan (ARAP) to be confirmed by JICA, and make it available to the public. In addition, the Ugandan side confirmed to provide the affected people with sufficient compensation and/or support in accordance with ARAP, in a timely manner.

8-4. The approved EIA shall be disclosed on JICA's website. The Grant Agreement shall be concluded 120 days after the approved EIA disclosure.

8-5. Both sides acknowledged the necessity of deployment of a JICA mission specifically focusing on requirements of JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations in the first quarter of 2018. JICA provided the Ugandan side with a draft of Main Points of Discussion as attached in Annex 9 which is subject to change based on the mutual discussion between both sides.

8-6 Details of the environmental and social considerations for the Project will be confirmed between the both sides at the Draft Outline Design Mission. The followings are major points to be confirmed; 1) Necessity of the other environmental approval, 2) Analysis of alternatives, 3) Result of stakeholder meeting, 4) Agreement on information disclosure, 5) Disclosure of environmental monitoring result, 6) TOR of environmental and social consideration (ESC) consultants, 7) EMP (Environmental Management Plan) / EMoP (Environmental Monitoring Plan), 8) ESC Implementation structure, 9) ESC implementation cost and schedule, 10) Bidding process, 11) Natural environment, 12) Major adverse impact on natural and social environment, 13) Outline of ARAP.

9. Other Relevant Issues

9-1. Sustainability of the Project

Both sides understood that proper Operation and Maintenance of the irrigation facilities and equipment is a key to sustainability of the Project which should be continuously done by Water Users' Association (hereinafter referred to as WUA). Ugandan sides proposed JICA's technical assistance for the promotion of WUA with a special focus on establishing model WUA in Atari basin to drawn lessons learnt reflecting to agricultural policies and strategies of the Government of Uganda. JICA side understood the relevance of the assistance and agreed that both sides will continue the discussion.

9-2. Coordination with other Relevant Projects

Both sides confirmed that it is important to ensure the complementarities as well as to avoid the duplications between not only JICA projects but also other relevant projects provided by other development partners. Both sides confirmed that strengthening coordination between the projects will be led by MAAIF in conjunction with JICA Agricultural planning advisor and Irrigation Advisor.

9-3. Taxes and duties

Both Sides noted that treatment of taxes and duties for the Project shall be in accordance with the agreement between the Government of Uganda and the Government of Japan. MAAIF shall take necessary measures according to the agreement.

9-4. Safety Measures

To avoid accidents on site during the implementation of the Project, the Ugandan side agreed that the consultant and the contractor will take safety measures such as setting safety assurance to the site, providing information for security control to the public, and deploying adequate security personnel, based on "The Guidance for the Management of Safety for Construction Works in Japanese ODA Projects" which has been posted on JICA's URL below.

http://www.jica.go.jp/activities/schemes/oda_safety/ku57pq00001nz4eu-art/guidance_spa.pdf

The Team recommended to the Ugandan side to explain to the residents about the Project (necessity and significance, construction period, sites, impact etc.), so that consensus and support can be obtained from them for the smooth operation of the Project.

9-5. Misconduct

If JICA receives information related to suspected corrupt or fraudulent practices in the implementation of the Project, MAAIF and relevant organizations shall provide JICA with additional such information as JICA may reasonably request, including information related to any concerned official of the government and/or public organizations in Uganda.

MAAIF and relevant organizations shall not, unfairly or unfavorably treat the person(s) and/or company which provided the information related to suspected corrupt or fraudulent practices in the implementation of the Project.

9-6. Information Disclosure

Both sides confirmed that the detailed information of the Project which contains cost and schedule shall not be disclosed for ensuring the fairness and competitiveness of tender.

Both sides agreed that the Preparatory Survey Report from which project cost is excluded will be disclosed to the public after completion of the Preparatory Survey. The comprehensive report including the project cost will be disclosed to the public after all the contracts under the Project are concluded.

9-7. Questionnaire

MAAIF shall answer to the Questionnaire submitted by the Team in English with relevant documents by 15th July 2017.

Annex 1 Location Map

Annex 2 Organization Chart

Annex 3 Items requested by the GoU

Annex 4 Japanese Grant

Annex 5 Flow Chart of Japanese Grant Procedures

Annex 6 Financial Flow of Japanese Grant

Annex 7 Project Monitoring Report (template)

Annex 8 Major Undertakings to be taken by Recipient Government

Annex 9 Draft M/D(Social and Environmental considerations)

Items requested by the GoU

1. Irrigation facilities

No	Facility	Quantity	Description	Remark
1	Intake facility	1 Piece	Reinforcement concrete Intake sluice gate	Including de-silting basin, spill way
2	Main canal	2.4km	Concrete block lining	
3	Secondary canal	15.1km	Concrete block lining	
4	Main farm ditch	10.0km	Earth canal	
5	Drainage	22.1km	Earth canal	
6	Flood Protection Dyke	10.0km	Both sides, 1.4m Height	
7	Farm Road	27.7km	4m width, laterite pavement with 100mm thickness	
8	Appurtenant structures	Lump Sum	Reinforcement Concrete Sluice gate Check gate Culvert	

2 Other facilities and Equipment

Item	Specification	Acareage m2
Project Office	Office, Library, Meeting room, Bath room, Sink	200
Dormitory for staff	100m2/person x 4 rooms * It shall be prepared by GoU	400
Training Building	Office, Library, Meeting room, Bath room, Sink Canteen	200
Workshop		400
Dry yard	Concrete Floor	800
Storage	150m2 x 2 places	300
Grain store		600

Equipment	Specification	Quantity PCS
Truck	4ton	2
Backhoe	0.8m3	1
Belt conveyor	5m length with engine	4
Rammer	50--60kg	4
Tractor	82HS	2
Hand tractor	10HS	4
Rice mill machine	Screen, Milling, Filtering	2
Fork lift	2ton	4

JAPANESE GRANT

The Japanese Grant is non-reimbursable fund provided to a recipient country (hereinafter referred to as "the Recipient") to purchase the products and/or services (engineering services and transportation of the products, etc.) for its economic and social development in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Followings are the basic features of the project grants operated by JICA (hereinafter referred to as "Project Grants").

1. Procedures of Project Grants

Project Grants are conducted through following procedures (See "PROCEDURES OF JAPANESE GRANT" for details):

- (1) Preparation
 - The Preparatory Survey (hereinafter referred to as "the Survey") conducted by JICA
- (2) Appraisal
 - Appraisal by the government of Japan (hereinafter referred to as "GOJ") and JICA, and Approval by the Japanese Cabinet
- (3) Implementation
 - Exchange of Notes
 - The Notes exchanged between the GOJ and the government of the Recipient
 - Grant Agreement (hereinafter referred to as "the G/A")
 - Agreement concluded between JICA and the Recipient
 - Banking Arrangement (hereinafter referred to as "the B/A")
 - Opening of bank account by the Recipient in a bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank") to receive the grant
 - Construction works/procurement
 - Implementation of the project (hereinafter referred to as "the Project") on the basis of the G/A
- (4) Ex-post Monitoring and Evaluation
 - Monitoring and evaluation at post-implementation stage

2. Preparatory Survey

- (1) Contents of the Survey

The aim of the Survey is to provide basic documents necessary for the appraisal of the the Project made by the GOJ and JICA. The contents of the Survey are as follows:

- Confirmation of the background, objectives, and benefits of the Project and also institutional capacity of

relevant agencies of the Recipient necessary for the implementation of the Project.

- Evaluation of the feasibility of the Project to be implemented under the Japanese Grant from a technical, financial, social and economic point of view.
- Confirmation of items agreed between both parties concerning the basic concept of the Project.
- Preparation of an outline design of the Project.
- Estimation of costs of the Project.
- Confirmation of Environmental and Social Considerations

The contents of the original request by the Recipient are not necessarily approved in their initial form. The Outline Design of the Project is confirmed based on the guidelines of the Japanese Grant.

JICA requests the Recipient to take measures necessary to achieve its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the executing agency of the Project. Therefore, the contents of the Project are confirmed by all relevant organizations of the Recipient based on the Minutes of Discussions.

(2) Selection of Consultants

For smooth implementation of the Survey, JICA contracts with (a) consulting firm(s), JICA selects (a) firm(s) based on proposals submitted by interested firms.

(3) Result of the Survey

JICA reviews the report on the results of the Survey and recommends the GOJ to appraise the implementation of the Project after confirming the feasibility of the Project.

3. Basic Principles of Project Grants

(1) Implementation Stage

- 1) The E/N and the G/A

After the Project is approved by the Cabinet of Japan, the Exchange of Notes (hereinafter referred to as "the E/N") will be signed between the GOJ and the Government of the Recipient to make a pledge for assistance, which is followed by the conclusion of the G/A between JICA and the Recipient to define the necessary articles, in accordance with the E/N, to implement the Project, such as conditions of disbursement, responsibilities of the Recipient, and procurement conditions. The terms and conditions generally applicable to the Japanese Grant are stipulated in the "General Terms and Conditions for Japanese Grant (January 2016)".

2) Banking Arrangements (B/A) (See "Financial Flow of Japanese Grant (A/P Type)" for details)

a) The Recipient shall open an account or shall cause its designated authority to open an account under the name of the Recipient in the Bank, in principle. JICA will disburse the Japanese Grant in Japanese yen for the Recipient to cover the obligations incurred by the Recipient under the verified contracts.

b) The Japanese Grant will be disbursed when payment requests are submitted by the Bank to JICA under an Authorization to Pay (A/P) issued by the Recipient.

3) Procurement Procedure

The products and/or services necessary for the implementation of the Project shall be procured in accordance with JICA's procurement guidelines as stipulated in the G/A.

4) Selection of Consultants

In order to maintain technical consistency, the consulting firm(s) which conducted the Survey will be recommended by JICA to the Recipient to continue to work on the Project's implementation after the E/N and G/A.

5) Eligible source country

In using the Japanese Grant disbursed by JICA for the purchase of products and/or services, the eligible source countries of such products and/or services shall be Japan and/or the Recipient. The Japanese Grant may be used for the purchase of the products and/or services of a third country as eligible, if necessary, taking into account the quality, competitiveness and economic rationality of products and/or services necessary for achieving the objective of the Project. However, the prime contractors, namely, constructing and procurement firms, and the prime consulting firm, which enter into contracts with the Recipient, are limited to "Japanese nationals", in principle.

6) Contracts and Concurrence by JICA

The Recipient will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be concurred by JICA in order to be verified as eligible for using the Japanese Grant.

7) Monitoring

The Recipient is required to take their initiative to carefully monitor the progress of the Project in order to ensure its smooth implementation as part of their responsibility in the G/A, and to regularly report to JICA about its status by using the Project Monitoring Report (PMR).

8) Safety Measures

The Recipient must ensure that the safety is highly observed during the implementation of the Project.

9) Construction Quality Control Meeting

Construction Quality Control Meeting (hereinafter referred to as the "Meeting") will be held for quality assurance and smooth implementation of the Works at each stage of the Works. The member of the Meeting will be composed by the

Recipient (or executing agency), the Consultant, the Contractor and JICA. The functions of the Meeting are as follows:

a) Sharing information on the objective, concept and conditions of design from the Contractor, before start of construction.

b) Discussing the issues affecting the Works such as modification of the design, test, inspection, safety control and the Client's obligation, during of construction.

(2) Ex-post Monitoring and Evaluation Stage

1) After the project completion, JICA will continue to keep in close contact with the Recipient in order to monitor that the outputs of the Project is used and maintained properly to attain its expected outcomes.

2) In principle, JICA will conduct ex-post evaluation of the Project after three years from the completion. It is required for the Recipient to furnish any necessary information as JICA may reasonably request.

(3) Others

1) Environmental and Social Considerations

The Recipient shall carefully consider environmental and social impacts by the Project and must comply with the environmental regulations of the Recipient and JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April, 2010).

2) Major undertakings to be taken by the Government of the Recipient

For the smooth and proper implementation of the Project, the Recipient is required to undertake necessary measures including land acquisition, and bear an advising commission of the A/P and payment commissions paid to the Bank as agreed with the GOJ and/or JICA. The Government of the Recipient shall ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the Recipient with respect to the purchase of the Products and/or the Services be exempted or be borne by its designated authority without using the Grant and its accrued interest, since the grant fund comes from the Japanese taxpayer.

3) Proper Use

The Recipient is required to maintain and use properly and effectively the products and/or services under the Project (including the facilities constructed and the equipment purchased), to assign staff necessary for this operation and maintenance and to bear all the expenses other than those covered by the Japanese Grant.

PROCEDURES OF JAPANESE GRANT

Stage	Procedures	Remarks	Requester Government	Japanese Government	JICA	Consultants	Contractors	Agent Bank	
Official Request	Request for grants through diplomatic channel	Request shall be submitted before appraisal stage.	X	X					
1. Preparation	(1) Preparatory Survey Preparation of outline design and cost estimate		X		X	X			
	(2) Preparatory Survey Explanation of draft outline design, including cost estimate, underlayings, etc.		X		X	X			
2. Appraisal	(3) Agreement on conditions for implementation	Conditions will be explained with the draft notes (EN) and Grant Agreement (GA) which will be signed before approval by Japanese government.	X	X (E/N)	X (GA)				
	(4) Approval by the Japanese cabinet			X					
	(5) Exchange of Notes (E/N)			X					
	(6) Signing of Grant Agreement (GA)			X					
	(7) Banking Arrangement (BA)	Need to be informed to JICA		X				X	
	(8) Contracting with consultant and issuance of Authorization to Buy (ATP)	Concurrence by JICA is required		X		X		X	
3. Implementation	(9) Detail design (DDD)		X			X			
	(10) Preparation of bidding documents	Concurrence by JICA is required	X			X			
	(11) Bidding	Concurrence by JICA is required	X			X			
	(12) Contracting with contractor/supplier and issuance of ATP	Concurrence by JICA is required	X			X		X	
	(13) Construction works/procurement	Concurrence by JICA is required for major modification of design and amendment of contracts		X		X		X	
	(14) Completion certificate			X		X		X	
	4. Ex-post monitoring & evaluation	(15) Ex-post monitoring	To be implemented generally after 1, 3, 10 years of completion, subject to change.	X		X			
		(16) Ex-post evaluation	To be implemented biennially after 3 years of completion	X		X			

Notes:

1. Project Monitoring Report and Report for Project Completion shall be submitted to JICA as agreed in the G/A.
2. Concurrence by JICA is required for allocation of grant for remaining amount and/or contingencies as agreed in the G/A.

4) Export and Re-export

The products purchased under the Japanese Grant should not be exported or re-exported from the Recipient.

Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten signature

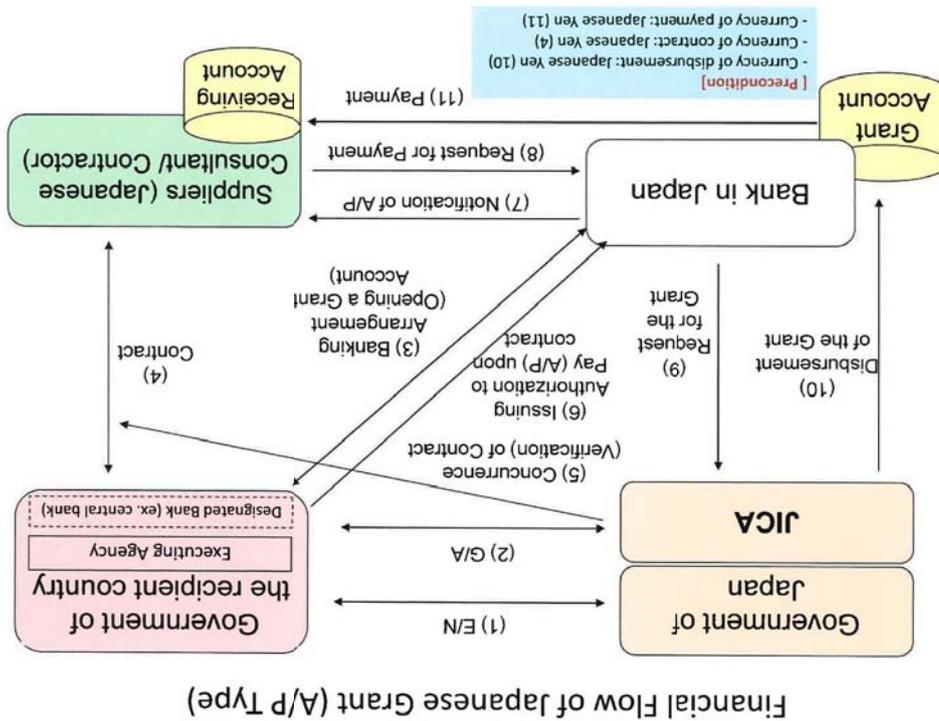
Project Monitoring Report
on
Project Name
Grant Agreement No. XXXXXX
20XX, Month

Organizational Information

Signer of the G/A (Recipient)	Person in Charge (Designation) _____
	Contacts _____
Executing Agency	Person in Charge (Designation) _____
	Contacts _____
Line Ministry	Person in Charge (Designation) _____
	Contacts _____

General Information:

Project Title	
E/N	Signed date: _____ Duration: _____
G/A	Signed date: _____ Duration: _____
Source of Finance	Government of Japan: Not exceeding JPY _____ mil. Government of (_____): _____



Alpaka

Alpaka

Alpaka

Alpaka

1: Project Description

1-1 Project Objective

1-2 Project Rationale

- Higher-level objectives to which the project contributes (national/regional/sectoral policies and strategies)
- Situation of the target groups to which the project addresses

1-3 Indicators for measurement of "Effectiveness"

Quantitative indicators to measure the attainment of project objectives	
Indicators	Target (Yr)
Original (Yr)	

Qualitative indicators to measure the attainment of project objectives	

2: Details of the Project

2-1 Location Components	Original (proposed in the outline design)	Actual
1.		

2-2 Scope of the work Components	Original* (proposed in the outline design)	Actual*
1.		

Reasons for modification of scope (if any).
(PMR)

Alpha

2-3 Implementation Schedule		
Items	Original (proposed in the outline design)	Actual

Reasons for any changes of the schedule, and their effects on the project (if any)

- 2-4 Obligations by the Recipient
- 2-4-1 Progress of Specific Obligations
See Attachment 2.
- 2-4-2 Activities
See Attachment 3.
- 2-4-3 Report on RD
See Attachment 11.
- 2-5 Project Cost

2-5-1 Cost borne by the Grant(Confidential until the Bidding)

Components	Original (proposed in the outline design)	Actual (in case of any modification)	Cost (Million Yen)	
			Original ¹⁾²⁾ (proposed in the outline design)	Actual
1.				
Total				

Note: 1) Date of estimation:
2) Exchange rate: 1 US Dollar = Yen

2-5-2 Cost borne by the Recipient		Cost (L,000 Taka)	
Components	Original (proposed in the outline design)	Actual (in case of any modification)	Original ¹⁾²⁾ (proposed in the outline design)

Alpha

Note: 1) Date of estimation:
2) Exchange rate: 1 US Dollar =

Reasons for the remarkable gaps between the original and actual cost, and the countermeasures (if any)
(PMR)

- 2-6 Executing Agency**
- Organization's role, financial position, capacity, cost recovery etc.
 - Organization Chart including the unit in charge of the implementation and number of employees.

Original (at the time of outline design)
name:
role:
financial situation:
institutional and organizational arrangement (organogram):
human resources (number and ability of staff):

Actual (PMR)

- 2-7 Environmental and Social Impacts**
- The results of environmental monitoring based on Attachment 5 (in accordance with Schedule 4 of the Grant Agreement).
 - The results of social monitoring based on in Attachment 5 (in accordance with Schedule 4 of the Grant Agreement).
 - Disclosed information related to results of environmental and social monitoring to local stakeholders (whenever applicable).

3: Operation and Maintenance (O&M)

- 3-1 Physical Arrangement**
- Plan for O&M (number and skills of the staff in the responsible division or section, availability of manuals and guidelines, availability of spareparts, etc.)

Original (at the time of outline design)

Actual (PMR)

- 3-2 Budgetary Arrangement**
- Required O&M cost and actual budget allocation for O&M

Original (at the time of outline design)

Alpha

Actual (PMR)

4: Potential Risks and Mitigation Measures

- Potential risks which may affect the project implementation, attainment of objectives, sustainability
- Mitigation measures corresponding to the potential risks

Assessment of Potential Risks (at the time of outline design)

Potential Risks	Assessment
1. (Description of Risk)	Probability: High/Moderate/Low Impact: High/Moderate/Low Analysis of Probability and Impact: Mitigation Measures: Action required during the implementation stage: Contingency Plan (if applicable):
2. (Description of Risk)	Probability: High/Moderate/Low Impact: High/Moderate/Low Analysis of Probability and Impact: Mitigation Measures: Action required during the implementation stage: Contingency Plan (if applicable):
3. (Description of Risk)	Probability: High/Moderate/Low Impact: High/Moderate/Low Analysis of Probability and Impact: Mitigation Measures: Action required during the implementation stage: Contingency Plan (if applicable):

Alpha

	Contingency Plan (if applicable):
Actual Situation and Countermeasures (PMR)	

5: Evaluation and Monitoring Plan (after the work completion)

5-1 Overall evaluation

Please describe your overall evaluation on the project.

5-2 Lessons Learnt and Recommendations

Please raise any lessons learned from the project experience, which might be valuable for the future assistance or similar type of projects, as well as any recommendations, which might be beneficial for better realization of the project effect, impact and assurance of sustainability.

5-3 Monitoring Plan of the Indicators for Post-Evaluation

Please describe monitoring methods, section(s)/department(s) in charge of monitoring/frequency, the term to monitor the indicators stipulated in 1-3.

Attachment

1. Project Location Map
2. Specific obligations of the Recipient which will not be funded with the Grant
3. Monthly Report submitted by the Consultant
- Appendix - Photocopy of Contractor's Progress Report (if any)
 - Consultant Member List
 - Contractor's Main Staff List
4. Check list for the Contract (including Record of Amendment of the Contract/Agreement and Schedule of Payment)
5. Environmental Monitoring Form / Social Monitoring Form
6. Monitoring sheet on price of specified materials (Quarterly)
7. Report on Proportion of Procurement (Recipient Country, Japan and Third Countries) (PMR (final) only)
8. Pictures (by JPEG style by CD-R) (PMR (final) only)
9. Equipment List (PMR (final) only)
10. Drawing (PMR (final) only)
11. Report on RD (After project)

Alpa

Alpa

alpe

		(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)
Construction Cost		(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)
Direct Construction Cost		(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)
Cost others		(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)
Equipment Cost		(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)
Design and Supervision Cost		(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)
Total		(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)

Report on Proportion of Procurement (Recipient Country, Japan and Third Countries) (Actual Expenditure by Construction and Equipment each)

alpe

alpe

(3) Summary of Discussion with Contractor (if necessary)

Items of Specified Materials	1st month, 2015	2nd month, 2015	3rd month, 2015	4th	5th	6th
Item 1						
Item 2						
Item 3						
Item 4						
Item 5						

(2) Result of the Monitoring Survey on Unit Price for each specified materials

2. Monitoring of the Unit Price of Specified Materials

1. Initial Conditions (Confirmed)

Items of Specified Materials	Initial Volume	Initial Unit Price (¥)	Initial total Price	1% of Contract Price	Condition of payment
Item 1	A	B	C=A×B	D	F=C+D
Item 2					
Item 3					
Item 4					
Item 5					

Monitoring sheet on price of specified materials

(2) During the Project Implementation

NO	Items	Deadline	In charge	Ref.
1	To issue AP to a bank in Japan (the Agent Bank) for the payment to the Supplier(s)	within 1 month after the signing of the contract(s)	MoFPED	
2	To bear the following commissions to a bank in Japan for the banking services based upon the B/A 1) Advising commission of A/P	within 1 month after the signing of the contract(s)	MoFPED	
3	Payment commission for A/P persons of third countries whose services may be required in connection with the supply of the products and the services such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work	during the Project	MoFPED	
4	To ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the purchase of the products and the services be borne by the Authority without using the Grant	during the Project	MoFPED	
5	To bear all the expenses, other than those covered by the Grant, necessary for the implementation of the Project	during the Project	MAAIF	
6	1) To submit Project Monitoring Report 2) To submit Project Monitoring Report (final)	every month within one month after signing of Certificate of Completion for the works under the contract(s)	MAAIF MAAIF	
7	To submit a report concerning completion of the Project	within six months after completion of the Project	MAAIF	
8	To implement EMP/EmoP and RAP	during the construction	MAAIF	
9	To submit results of environmental monitoring to JICA, by using the monitoring form, on a quarterly basis as a part of Project Monitoring Report	during the construction	MAAIF	
10	To implement social monitoring, and to submit the monitoring results to JICA, by using the monitoring form, on a quarterly basis as a part of Project Monitoring Report · Period of the monitoring may be extended if affected persons' livelihoods are not sufficiently restored. Extension of the monitoring will be decided based on agreement between MAAIF and JICA.	until the end of livelihood restoration program (In case that livelihood restoration program is provided) for two years after hand acquisition and	MAAIF	

Major Undertakings to be taken by the Government of Uganda after an approval of the Project implementation

1. Specific obligations of the Government of Uganda which will not be funded with the Grant

(1) Before the Tender

NO	Items	Deadline	In charge	Ref.
1	To open bank account (B/A)	within 1 month after the signing of the G/A	MoFPED	
2	To issue AP to a bank in Japan (the Agent Bank) for the payment to the consultant	within 1 month after the signing of the contract before the DoD	MoFPED	
3	To obtain approve of EIA Report and RAP, and secure the necessary budget for implementation.	before the DoD Mission	MAAIF	
4	To secure the necessary budget and implement land acquisition and compensation with full replacement cost in accordance with APAP	before the DoD Mission	MAAIF and MoFPED	
5	To implement social monitoring, and to submit the monitoring results to JICA, by using the monitoring form, on a quarterly basis as a part of Project Monitoring Report	till land acquisition and resettlement complete	MAAIF	
6	To secure and clear the following lands 1) land for facilities to be constructed 2) temporary construction yard and stock yard near the 3) borrow pit and disposal site near the project site(4) area of site road	before notice of the bidding document	MAAIF	
7	To submit Project Monitoring Report (with the result of Detail Design)	before preparation of bidding documents	MAAIF	
8	To obtain water right		MAAIF	

(B/A: Banking Arrangement, A/P: Authorization to pay, N/A: Not Applicable)

		<i>resettlement complete (In case that livelihood restoration program is not provided) During the Project</i>	MAAIF	
11	To assign counterparts for the project and the number and TOR will be determined in the Detailed Design stage.		MAAIF	

(3) After the Project

NO	Items	Deadline	In charge	Ref.
1	To implement EMP and EMoP	for a period based on EMP and EMoP	MAAIF	
2	To submit results of environmental monitoring to JICA by using the monitoring forms, semiannually - The period of environmental monitoring may be extended if any significant negative impacts on the environment are found. The extension of environmental monitoring will be decided based on the agreement between MAAIF and JICA.	for three years after the Project	MAAIF	
3	To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant Aid 1) Allocation of maintenance cost 2) Operation and maintenance structure 3) Routine check/Periodic inspection	After completion of the construction	MAAIF	
4	To implement social monitoring including RAP closure report	After completion of the construction	MAAIF	

2. Other obligations of the Government of Uganda funded with the Grant

NO	Items	Deadline	In charge	Ref.
1	N/A			

End

This MID will be concluded base on the result of the preparatory survey and subject to change

Minutes of Discussion
Environmental and Social Considerations

1. Information Source for Environmental and Social Considerations of the Project

- 1.1. Japan International Cooperation Agency (JICA) (hereinafter referred to as the "JICA Mission") reviewed the environmental and social considerations of the Project based on mainly the following:
 - a) (Name of EIA) (Date) (hereinafter referred to as "the EIA")
 - b) (Name of RAP) (Date) (hereinafter referred to as "the RAP")
 - c) (Name of F/S report)(Date) (hereinafter referred to as "the draft F/S report)
 - d) Environmental Checklist (date)
 - e) (others)
 - 1.2. (EXECUTING AGENCY) and the JICA Mission agreed that this Minutes of Discussion have been drafted on top of what is written in the documents mentioned in Article 1.1.
2. Environmental and Social Guidelines and Category
- 2.1. The JICA Mission explained that the "JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations" (April 2010) (hereinafter referred to as "the JICA Environmental Guidelines") is applied to the Project. The Project is categorized as Category A due to its characteristics (large-scale xxx sector project / large-scale involuntary resettlement / located in a sensitive area) under the JICA Environmental Guidelines. (EXECUTING AGENCY) confirmed that appropriate environmental and social considerations in compliance with laws and regulations/policies of the Government of (country) as well as the JICA Environmental Guidelines shall be ensured.
 - 2.2. (EXECUTING AGENCY) assured the JICA Mission that the Project will apply the JICA Environmental Guidelines and the World Bank OP 4.12 for involuntary resettlement and land acquisition activities.
3. Approval of the EIA Report

3.1. The EIA report of the Project was approved by the (name of authority) on (Date), as per Attachment X. (EXECUTING AGENCY) assured to meet all the conditions written in the approval letter in a timely manner.

(EXECUTING AGENCY) explained that according to the (Name of Law/Decree), an EIA (environmental clearance certificate) from the (Name of Environmental Authority) is not mandatory for the Project. (EXECUTING AGENCY) explained, however, that an EIA has been undertaken for the Project and has been shared with the following authorities:
- (Name of authority)

3.2. (EXECUTING AGENCY) assured to meet all (number) conditions written in the EIA approval letter, and (EXECUTING AGENCY) explained how it will respond to each condition as per Attachment X.

(EXECUTING AGENCY) and the JICA Mission agreed that (EXECUTING AGENCY) will inform JICA how it will meet the conditions written in the EIA approval letter by filling in the table attached as Attachment X and submit it to JICA by (date).

4. Consideration of Alternatives

4.1. (EXECUTING AGENCY) explained that the currently planned project area/route alignment was selected from the viewpoints of (e.g. traffic demand, physical feasibility, and minimization of resettlement and land acquisition).

5. Stakeholder Meetings on the Project

5.1. (EXECUTING AGENCY) explained that (number) sets of national/city/institutional/local stakeholder meetings with (e.g. project affected people, ministries, district councils, and NGOs) were held in (month, year) and (month, year). During these meetings, (EXECUTING AGENCY) informed the stakeholders about the project, secured permission to work in the proposed project area, and obtained views on issues concerning impact on (content of issues). Some stakeholders expressed their concerns regarding impacts on (content of concerns); however, there were no objections to the implementation of the Project.

6. Required Environmental and Social Permits

6.1. (EXECUTING AGENCY) explained that the following environmental and social permits were required in terms of environmental and social considerations for the Project. (EXECUTING AGENCY) assured that it

will obtain or make sure the Contractor will obtain/renew all the necessary permits in a timely manner and will include this activity in the Consultant TOR.

Required Environmental and Social Permits

No.	Issue	Law/Regulation	Deadline	Approving Authority	Responsibility
Pre-Construction					
1					
2					
3					
Construction					
4					
5					
6					
Implementation					
7					
8					
9					

6.2. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) confirmed with the (name of authority) that the crossing of the (name of protected areas) by the Project is legally permitted in (name of country) upon (requirements – e.g. permit from authority, consultation with local government, etc.). (EXECUTING AGENCY) agreed to submit the Project's EIA to the (name of authority), conduct consultation meetings, and procure a permit / letter of consent for crossing the (name of protected areas). (EXECUTING AGENCY) assured that it will share the minutes of the meetings signed by the participants, including any concerns and how they will be addressed, and the permit / letter of consent for the Project right of way to JICA by (date). (EXECUTING AGENCY) assured to meet all the conditions written in the permit / letter of consent in a timely manner.

7. Disclosure of the EIA and the RAP (and the VPP/PCRMP etc.)

7.1. The JICA Mission informed that the EIA and RAP have been disclosed on JICA's website. The URL of the website is: <http://www.jica.go.jp/english/.....> (since (date))

7.2. The JICA Mission explained that according to the JICA Environmental Guidelines the EIA and the RAP are required to be made available to the local residents of the country in which the project is to be implemented.

(EXECUTING AGENCY) assured that the reports will be available at all times for perusal by project stakeholders such as local residents and photocopying will be permitted.

7.3. (EXECUTING AGENCY) explained that the full EIA written in (name of languages) and the full RAP written in (name of languages) will be disclosed on/at the (EXECUTING AGENCY) website/library, national/regional library, and/or state/district council office by (date). (EXECUTING AGENCY) agreed to disclose the reports until completion of the Project. Disclosure of the EIA and the RAP reports will be informed to the public through announcements on/by/at the local daily newspapers, radio, stakeholder consultations in (name of languages) by (EXECUTING AGENCY).

7.4. (EXECUTING AGENCY) assured that the (name of languages) is/are sufficient for all stakeholders to understand, and that assistance will be provided during stakeholder consultations for any stakeholders who do not understand the language/s or have difficulty finding relevant information.

8. Disclosure of the Results of Monitoring regarding Environment Management, Land Acquisition/Involuntary Resettlement

8.1. JICA explained that according to the JICA Environmental Guidelines, they are made public in the country where the Project is implemented. (EXECUTING AGENCY) explained that the monitoring results regarding the Environmental Management Plan (EMP) and the RAP are / are not disclosed in (name of country). The JICA Mission took note of it. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that when third parties request further information, JICA will disclose contents upon approval by the project proponents.

The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that monitoring results will be disclosed on the JICA website upon approval by the project proponents.

8.2. The JICA Mission explained that (EXECUTING AGENCY) should put efforts into making results of the monitoring process available to local project stakeholders in accordance with the JICA Environmental Guidelines. (EXECUTING AGENCY) agreed to disclose monitoring results on/at the (EXECUTING AGENCY) website/library, national/regional library, and/or state/district council office, and/or upon request by third parties.

9. Consulting Services for Environmental and Social Considerations

9.1. The JICA mission and (EXECUTING AGENCY) agreed on the Terms of

References for Consulting Services of the Construction Supervision as per Attachment X and of the Detailed Design as per Attachment X.

10. Environmental Management Plan (EMP)
 10.1. (EXECUTING AGENCY) confirmed that it will take necessary measures to mitigate the environmental and social impacts caused by the Project and to prevent deterioration of the existing environmental condition in accordance with the EMP. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed on the EMP as per Attachment X. During the Detailed Design, (EXECUTING AGENCY) with the assistance of the Consultant will revise/update the EMP. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that (EXECUTING AGENCY) will submit a revised EMP to JICA, in case the EMP is substantially changed during the construction or operation of the Project.

11. Environmental Monitoring Plan (EMoP)

11.1. (EXECUTING AGENCY) confirmed that environmental monitoring will be implemented under the responsibility of (EXECUTING AGENCY) during the construction and operation of the Project. The Contractor, under supervision of the Consultant, will conduct environmental monitoring in accordance with the EMoP as per Attachment X. The results will be provided to JICA as part of the Progress Status Report by filling in the Environmental Monitoring Form as per Attachment X, during the construction and operation of the Project. In case the results of monitoring contravene (name of country) or international standards, and/or significant adverse impact is identified, necessary measures will be implemented under the responsibility of (EXECUTING AGENCY).

11.2. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that (EXECUTING AGENCY) will submit a revised EMoP to JICA, in case the EMoP is substantially changed during the detailed design, construction, or operation of the Project. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that monitoring activities will continue only after the review by JICA of the revised EMoP.

11.3. (EXECUTING AGENCY) agreed to submit the results of environmental monitoring to JICA quarterly until two years after the completion of the Project, by filling in the monitoring form. The period of environmental monitoring may be extended if any significant negative impacts on the environment or society are found. The extension of the environmental monitoring, until JICA confirms the issues have been properly addressed, will be decided based on an agreement between (EXECUTING AGENCY) and JICA.

(EXECUTING AGENCY) took note of JICA's explanation that Environmental and Social Monitoring by principal takes place up to two

years after the completion of a Project. However it was confirmed by (name of authority/s) during the mission that monitoring of (number) year was sufficient due to (reason). The JICA Mission agreed that monitoring of (monitoring items) for (number) year after the completion of the Project was sufficient.

11.4. (EXECUTING AGENCY) explained that it will submit an environmental monitoring report to (name of authority) (frequency: quarterly) during construction, and (name of authority) will form an environmental monitoring committee and carry out inspection on an (frequency: annual) basis.

11.5. (EXECUTING AGENCY) explained that it will submit an occupational safety and health monitoring report to (name of OSHA) (frequency: quarterly) during construction, and (name of authority) will form a monitoring committee and carry out inspection on an (frequency: annual) basis.

12. Organizational Framework for Implementation of EMP

12.1. (EXECUTING AGENCY) explained that the Contractor is responsible for the overall implementation of the EMP and EMoP during construction. (EXECUTING AGENCY) ensured that the contractor will recruit a dedicated Environmental Manager for implementation of the EMP and a Consultant for construction supervision hired by (EXECUTING AGENCY) will supervise the implementation of the EMP and EMoP of the Project. The implementation mechanism of the EMP and EMoP is as per Attachment X.

12.2. (EXECUTING AGENCY) explained that (EXECUTING AGENCY) is responsible for the overall implementation of the EMP and EMoP during operation. (EXECUTING AGENCY) ensured that the contractor will recruit a dedicated Environmental Manager for implementation of the EMP for operational supervision.

13. Cost and Schedule for Implementation of EMP and EMoP

13.1. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) confirmed the Cost as per Attachment X for implementation of the EMP and the EMoP will be included in the civil works and the consulting services, and covered by the loan.

13.2. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed to the revised implementation schedule of the EMP as per Attachment X.

14. Bidding Document

Alpha

14.1. The (EXECUTING AGENCY) assured to insert an environmental and social considerations section (consisting of the main contents of the EMP and EMoP, frequency of reporting, regulatory compliance/approval, etc.) into the Bidding Documents of the Project, as per the draft prepared in Attachment X. JICA mission confirmed that the draft included necessary and appropriate content.

15. Protected Areas

15.1. (EXECUTING AGENCY) assured that when project activities take place in the (name of protected area) it will:

- Demonstrate that the proposed development in such areas is legally permitted;
- Act in a manner consistent with any government recognized management plans for such areas;
- Consult protected area sponsors and managers, Affected Communities, Indigenous Peoples and other stakeholders on the proposed project, as appropriate
- Implement additional programs, as appropriate, to promote and enhance the conservation aims and effective management of the area.

15.2. (EXECUTING AGENCY) assured that it will not significantly convert or degrade natural habitats unless all of the following are demonstrated:

- No other viable alternatives within the region exist for development of the project on modified habitat;
- Consultation has established the views of stakeholders, including Affected Communities, with respect to the extent of conversion and degradation and
- Any conversion or degradation is mitigated according to the mitigation hierarchy.

15.3. (EXECUTING AGENCY) assured that it will not significantly convert or degrade critical natural habitats unless all of the following are demonstrated:

- 運用見直し WG : 生態系 開採後に追記します

16. Derivative, Secondary, and Cumulative Impacts

16.1. The JICA mission explained that "In addition to the direct and immediate impacts of projects, the derivative, secondary, and cumulative impacts as well as impacts associated with indivisible projects will also be assessed

Alpha

with regard to environmental and social considerations, so far as it is rational". As (name of associated facilities) are recognized as associated facilities of the Project (EXECUTING AGENCY) agreed to submit relevant documents (including the EIA and RAP) to verify whether the associated facilities are planned with appropriate environmental and social considerations by (date).

Concerning the (name of associated facilities) which are recognized as associated facilities of the Project, (EXECUTING AGENCY) explained that an EIA and RAP were not required by (name of country) laws and regulations, but assured to conduct appropriate environmental and social mitigation measures, if necessary.

17. Other Significant Environmental and Social Issues

17.1. (EXECUTING AGENCY) explained that (pollution of air quality, water quality, noise/vibration, etc.) will be mitigated by (mitigation measures).

17.2. (EXECUTING AGENCY) explained that the responsibility and deadline for Additional Environmental Studies are as follows.

Study	Responsibility	Deadline	Cost

18. Scope of the Resettlement and Land Acquisition of Assets

18.1. (EXECUTING AGENCY) explained that XX households (XX people) will be affected due to the Project. (EXECUTING AGENCY) agreed that the total number of households and people who will be affected by the Project will be confirmed in the updated RAP by (date).

18.2. (EXECUTING AGENCY) explained that the number of households, businesses, community structures, (others) which will be resettled by the Project are as follows.

Resettlement for the Project

<insert Table>
 XXX households (XXX titleholders and XXX non-titleholders (XX tenants, XX squatters))
 XXX businesses
 XXX community structures

Alpha

Project Affected Households (PAHs) and Project Affected Persons (PAPs)

Total Project Affected Households (PAHs)	xx HH / xx persons	Legal: xx HH / xx persons illegal: xx HH / xx persons
PAHs which need to be resettled (as resident)	xx HH / xx persons	Legal: xx HH / xx persons illegal: xx HH / xx persons
PAHs which do not need relocation (land acquisition, relocation of non-resident structures)	xx HH / xx persons	Legal: xx HH / xx persons illegal: xx HH / xx persons
Business owners who need relocation	xx persons	Legal: xx HH / xx persons illegal: xx HH / xx persons
Business owners who do not need relocation	xx persons	

Structures and Improvements

Structures	Residential: xx CIBEs (commercial, industrial and business enterprises): xx Institutional: xx
Improvements	Fence: xx Gate: xx Others: xx

Crops and Trees

Rice field	xx m ²
Trees	Fruit bearing: xx Timber, non-fruit bearing: xx Plants/cash trees: xx

18.3. (EXECUTING AGENCY) explained that the total amount of land acquisition for the Project is XX ha (XX ha government land, XX ha private land) and details are as follows:

Land Acquisitions for the Project

<insert Table>

Total Areas to be Acquired

Total	Details
Total areas: xx m ²	Government: xx m ² Private: xx m ²

Alpha

22. Replacement Cost and Payment for Lands and Structures
 22.1. (EXECUTING AGENCY) assured that replacement cost surveys will be conducted to assure compensation at replacement costs. (EXECUTING AGENCY) confirmed that compensation costs in (name of country) are based on market value for land and depreciation for structures according to the (law/decreed) by the (name of authority). Measures will be taken to cover any cost gaps to comply with the JICA Mission's requirement to compensate at replacement cost.

22.2. (EXECUTING AGENCY) agreed that measures will be taken to make sure that more than one household member will be present when receiving the compensations.

23. Resettlement Sites for PAPs

23.1. (EXECUTING AGENCY) explained that resettlement sites for XX households will be provided at (place) with facilities including (drinking water, electricity, medical facility, educational facility, and playground, etc.).

23.2. The JICA Mission explained that resettlement procedures, options, and sites should be clearly explained to the PAPs through additional consultations during valuation processes, consultation meetings, or focus group discussions. (EXECUTING AGENCY) explained they have come to a basic agreement with the PAPs on the resettlement procedures during the RAP consultation meetings.

24. Livelihood Restoration of the PAPs

24.1. The JICA Mission pointed out that measures to mitigate the adverse impact on the livelihood of PAPs and to improve/restore their livelihood need to be planned and implemented, in close consultation with the PAPs. (EXECUTING AGENCY) agreed to prepare and implement the following measures to prevent adverse impacts on livelihood of PAPs:
 - (content of livelihood restoration plan)

24.2. (EXECUTING AGENCY) agreed to encourage Contractors to maximize positive impacts for women participation in the Project by providing employment opportunities for women and conducting sensitization initiatives to the communities.

25. Consultation with PAPs

18.4. (EXECUTING AGENCY) explained that out of the XX project affected households, XX households (XX%) belong to the vulnerable category – XX (XX%) are women headed households, XX (XX%) are below the poverty line, and XX (XX%) have people with disability.

19. Cut-off date and prevention of influx of People into the Project Site

19.1. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that the date of the socio-economic survey for the RAP (date) has been used as the cut-off date for the Project.

19.2. The JICA Mission pointed out that encroachment of people into the project area after the cut-off date may occur if no measures are taken. (EXECUTING AGENCY) assured that (responsible agency) will use the original PAPs lists before pegging, included in the RAP, to check for encroachments.

20. Eligibility Criteria

20.1. (EXECUTING AGENCY) explained that all affected people will be eligible for compensation (either in cash or in-kind) and rehabilitation/resettlement assistance, irrespective of tenure status, social or economic standing, or any such factors. All PAPs residing, working, doing business within the project impacted areas as of the detailed socio-economic survey are entitled to compensation for their lost assets (land and/or non-land assets), at replacement cost, and restoration of incomes and businesses, and will be provided with rehabilitation measures sufficient to assist them to improve or at least maintain their pre-project living standards, income-earning capacity and production levels.

21. Entitlement Matrix

21.1. (EXECUTING AGENCY) explained that all PAPs will be eligible for compensation, rehabilitation/resettlement assistance, and disturbance allowance based on the Entitlement Matrix. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed to the Entitlement Matrix as per Attachment X.

21.2. (EXECUTING AGENCY) assured that all PAPs, including the vulnerable, will be assisted in their efforts to improve their livelihoods and standards of living or at least to restore them, in real terms, to pre-displacement levels or to levels prevailing prior to the beginning of project implementation, whichever is higher.

25.1. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that (EXECUTING AGENCY) shall provide the PAPs with sufficient information on the Project and its resettlement policy including compensation, other assistances, schedule, and grievance redress mechanism. (EXECUTING AGENCY) assured to continue information disclosure and consultations with PAPs, through consultation meetings during preparation and implementation of the RAP. (EXECUTING AGENCY) also confirmed to keep records of the discussion in the consultation meetings, including features (e.g. position and sex) of the participants/speakers, their statements, response from the Project, and measures taken for the vulnerable groups.

25.2. (EXECUTING AGENCY) explained that (number) public meetings with PAPs were held in the areas affected by the Project between (date) and (date). During these meetings, (EXECUTING AGENCY) informed the PAPs about the project and its resettlement policy, including compensation (based on replacement cost), resettlement assistance, schedule, grievance mechanism, and the Project's livelihood restoration measures. Most stakeholders expressed their needs for (content of requests). Some stakeholders expressed their concerns regarding (content of concerns); however, there were no objections to the implementation of the Project and to compensations based on replacement cost.

26. Internal Monitoring of RAP Implementation

26.1. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that (EXECUTING AGENCY)'s (name of management unit) will implement the RAP for the Project and livelihood restoration measures for the PAPs with assistance of the Consultant for Detailed Design and Construction Supervision.

26.2. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that internal monitoring of RAP implementation will be conducted by (EXECUTING AGENCY), in accordance with the RAP, with necessary assistance of the Consultants. (EXECUTING AGENCY) assured that the results will be provided to JICA on a quarterly basis as a part of the Progress Status Report by filling in the RAP Monitoring Form as per Attachment X, until the completion of land acquisition and physical displacement.

26.3. (EXECUTING AGENCY) agreed to submit the results of RAP Monitoring to JICA, until two years after the end of the livelihood restoration measures. The period of RAP monitoring may be extended if displaced persons' livelihoods are not sufficiently restored. The extension of the internal monitoring of RAP implementation, until JICA confirms the issues have been properly addressed, will be decided based on an agreement between (EXECUTING AGENCY) and JICA.

27. External Monitoring of RAP Implementation

27.1. (EXECUTING AGENCY) confirmed that an External Monitoring Consultant/Agency will be contracted under (EXECUTING AGENCY) and implement external monitoring of RAP implementation, including livelihood restoration, based on the implementation and monitoring plan described in the RAP. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed to the TOR for the External Monitoring Consultant/Agency as per Attachment X. (EXECUTING AGENCY) assured that it will provide the results of the external monitoring to JICA.

28. Organizational Framework for RAP Implementation

28.1. (EXECUTING AGENCY) assured that it takes overall responsibility of preparing/updating and implementing the RAP. A Social Manager will be assigned before construction and will be in charge of the implementation of the RAP. Implementation mechanism of the RAP is as per Attachment X.

29. Schedule of RAP Implementation

29.1. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed to the revised schedule of the RAP as per Attachment X.

30. Cost and Budget for RAP Implementation

30.1. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed to the cost for RAP implementation as per Attachment X.

30.2. (EXECUTING AGENCY) confirmed that the RAP costs will be covered by the Government of (name of country)/(EXECUTING AGENCY).

30.3. (EXECUTING AGENCY) assured that the final RAP budget will be submitted to JICA by (date).

31. Submission of the updated RAP based on the Mission

31.1. (EXECUTING AGENCY) assured that it will update the RAP based on the Mission by incorporating the following items in it and submit it to JICA by (date).
- XXX

32. Submission of the updated RAP based on the Detailed Design

Annex 9

32.1. (EXECUTING AGENCY) assured that it will update the RAP by incorporating the following items and submit it to JICA after Detailed Design. The updated RAP will be disclosed on (EXECUTING AGENCY)'s website.
- XXX

32.2. The JICA Mission and (EXECUTING AGENCY) agreed that resettlement activities will be implemented only after the review by JICA of the updated RAP based on the Detailed Design.

(END)

- Attachement X – (content)

Actions to be Taken (to be filled in after mission)

Task	Deadline	Responsibility

Handwritten signature

Handwritten signature

(7) Minutes of Meeting of PDCC Discussion (03/08/2017)

MINUTES OF MEETING
OF
PDCC DISCUSSION
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN
THE REPUBLIC OF UGANDA

Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent Sanyu Consultants INC. (hereinafter referred to as "the Consultant") to Uganda, as Preparatory Survey Team for the Outline Design.

The Consultant held a discussion with the Project District Coordination Committees of Bulambuli and Kween Districts on 3rd August 2017 at Bulambuli District head quarters (hereinafter referred to as "PDCC") concerning the Project. In the course of the discussions, both sides have confirmed the technical matters described in the attached sheets. The Consultant will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.


Benon Lwanga
Senior Engineer
Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries


Nangai Geoffrey
Chairman
PDCC of Bulambuli District


Leader of the Consultant
Tatsuya Iizumi

The Preparatory Survey on The Project for Atari Irrigation system in the Republic of Uganda
Discussion Memo

(Meeting with District Environment Officers and PDCC Chairpersons Bulambuli and Kween District)

Date: 03. 08. 2017

Time: 11:00-13:00

Venue: Bulambuli District Office

MAAIF: Mr. Benon Lwanga (Senior Engineer)

Consultant: Mr. Tatsuya Iizumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan), Mr. Yuichi Matsumoto (Construction Planning/ Cost Estimate), Mr. Hideki Ishikawa (Environmental Consideration), and Ms. Ayumi Shiga (Social Consideration)

Uganda staff: Ms. Adumo Esther, Mr. Shimiyyu David

Attendance: Refer Appendix-1

Points of discussion

The Consultant and Mr. Eng. Benon informed PDCC members of the following results of the discussion held with Dr. Jerome S. Lugumira, who is a Natural Resources Manager (Soil & Land Use) from NEMA.

1. The "Buffer Zone" for Atari River (hereinafter mentioned "the River") should be designed as 30 meters from hypothetical center line of the River, based on the EIA report which will be approved by NEMA.
2. The width of "Buffer Zone" which is 5 to 20 meters was agreed in two MOU between Atari Wetland Management Association and Bulambuli CAO and Kween CAO respectively in Community Resource Management Plan (CRMP). However it is unacceptable for the project referring the law of Uganda.

Minutes of meeting

1. Welcome remarks from Mr. Geoffrey Nagai, chairman of PDCC Bulambuli District

2. Remarks from Mr. Eng. Benon Lwanga, MAAIF

Mr. Eng. Benon Lwanga told that we get close to implementation stage of the project and there is need to iron out some issues. The major topic of discussion for the meeting was "Buffer zone" for the Atari irrigation project.

He also mentioned that the Buffer Zone designated in the report of the JICA study will be 30 meters from the hypothetical center line of the River.

3. Remarks from the Consultant

The Consultant is following up on the MoU signed between Bulambuli and Kween DLG and the farmers represented by PACCC chairpersons of Buwebere and Sikwo respectively on 4th May, 2016 which agreed to 5- 20 meters away from the hypothetical centerline of Atari river during the CRMP.

The consultant introduced the standpoint of NEMA, which the coverage of Buffer Zone should be follow the Environmental law on Uganda, and the location of the dyke is affected by the distances from the hypothetical center of the river.

4. Open Discussion

- ✓ The District Natural Resources Officer from Kween District suggested having a common understanding with farmers. If there are any intervention for livelihood like bee keeping agreed with the farmers, let them know that they can still use the buffer zone productively.
- ✓ The Consultant requested to resolve through explanation to the farmers who will be affected by this matter, since the design engineers of the consultant are about to start design work.
- ✓ PDCC chairman from Bulambuli District informed on the framework which was used during the formulation of the MoU. The farmers did not hope that buffer zone begins at the highest water mark because they recognize that flood water doesn't reach 30meter from Atari river based on their experience even in heavy rains . So most farmers desire that width of buffer zone is 20 meters. There is a difference of opinions among the respective parties that is MAAIF, MWE and JICA study team during the feasibility study stage.
- ✓ Another matter besides buffer zone raised by Eng. Benon was the validity of landownership.
- ✓ It was answered that there are different land holdings recognized as follows;
 - a) Customary and ancestral ownership,
 - b) Customary with written agreement,
 - c) Customary communal land leasehold ,
 - d) Freehold for surveyed land.

Conclusion of meeting:

- ✓ Suggested Buffer zone which is 30 meters from the hypothetical center line of the river is applicable to the site. .
- ✓ Then, if NEMA comments that the buffer zone should be referred to the regulation in Uganda and its end is 30m away from the highest water mark point, PDCC would submit a letter to Executive Director of NEMA for considering that the buffer zone begins at the hypothetical centerline of the river instead of the highest water mark.
- ✓ The draft letter will be generated by the officers participated in the meeting as soon as possible.

End of memo.

(8) Memorandum of Discussions of PACC Discussion (04/08/2017)

**MEMORANDUM OF DISCUSSIONS
ON
PACC DISCUSSION
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN
THE REPUBLIC OF UGANDA**

Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent Sunyu Consultants INC. (hereinafter referred to as "the Consultant") to Uganda, as Preparatory Survey Team for the Outline Design.

The Consultant held a discussion with the Project Area Coordination Committee (hereinafter referred to as "PACC") concerning the Project. In the course of the discussion, both sides have confirmed the technical matters described in the attached sheets. The Consultant will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.

4th August 2017



Masinde Jumla
Chairman
PACC Buwebere Parish in Bulambuli district



Ayeba Yassin
Chairman
PACC Sikwa Parish in Kween district



Leader of the Consultant
Tatsuya Ieizumi

The Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation system in the Republic of Uganda
Discussion Memo

(Meeting with PACC of Buwebere, Bunambutye Sub county and Sikwo, Ngenge Sub county)

Date: 04.08.2017

Venue: Apostolic Church in Atari

Consultant: Mr. Tatsuya Ieizumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan), Mr. Yuichi Matsumoto (Construction Planning / Cost Estimation), Mr. Hideki Ishikawa (Environmental Consideration), Ms. Ayumi Shiga (Social Consideration)

Ugandan staff: Mr. Shimiya David

Attendants list: Refer to Appendix

Minutes of meeting:

1. Introduction

The Consultant presented the discussion points on the day by using the power point material as follows.

- Candidate Location of Contractor's Base Camp
- Temporary road for construction in the project site and support by MAAIF
- Spreading of excavated soil onto farm land
- Disposal area for spoiled soils in the project site
- Stability of Electricity supply in Atari project site

2. Discussions

(1) Candidate Location of Contractor's Base Camp

Two candidate locations were raised from both Bulambuli and Kween sides.

- ✓ As per Bulambuli side, Mr. Maibe Joseph family land located in the junction between the Muyembe – Nakapiripiri National Road and the community access road (CAR) to Mabono is a candidate location. The size of location is around 2 acres
- ✓ Regarding Sikwo side, community land was introduced.

The consultant requested to introduce four (4) candidate locations, if possible (two from Bulambuli, the other two from Kween). After confirming the candidate locations, the consultant will discuss with MAAIF then MAAIF will decide the location, the consultant explained.

(2) Temporary road for construction in the project site and support by MAAIF

A member of PACC asked about the support from MAAIF and support by PACC. The consultant replied that MAAIF is supposed to support the eligible farmers who will be affected by the construction of temporary road because it will be the permanent road for operation and maintenance road after completion of construction works. As per offer from PACC member, the participants confirmed to cooperate with the team as it has been in the other phases.

(3) Spreading of excavated soil onto farm land

The chairperson of Bulambuli PACC mentioned his question if there affects to the water flow by raising the land altitude through spreading the excavated soil. The consultant responded that the amount of excavated soil to be spread will be calculated by seeing the balance of both Bulambuli and Kween in order to make the water flow smooth.

The consultant further explained that the both construction works of land reorganization and canal construction will be carried out simultaneously so that the 30m width spreading the excavated soil on either side is not fixed. That width is depended on the volume of excavated soil.

(4) Disposal area for spoiled soils in the project site

PACC members recommended disposing such spoiled soil at downstream after the project area because the altitude of that area is relatively lower than that of Bulambuli side, therefore, it is helpful in rising the land level and making land usable.

(5) Stability of Electricity supply in Atari project site

PACC members responded that the electricity supply of the area is not stable.

- ❖ **Finally, the participants of the meeting agreed to hold a stake holder meeting for discussion of the topics on the day for land reorganization.**

(6) Other business raised from the consultant

The consultant asked the need of washing basin and its interval. PACC members responded that there is need and at either 100m or 200m intervals. Furthermore, there is a great need for watering points for cattle, the PACC members mentioned. PACC members mentioned that such watering points are preferably placed on the ends of the project along the canals and/or dykes since the farmer beneficiaries of the project have got a number of local cattle on zero grazing.

The consultant informed that water quality tests are started today and it will once or twice every month by March of 2018 in three positions;

- ❖ Upstream: at the local bridge
- ❖ Mid-stream: around the proposed intake and,
- ❖ Downstream: at the end of the project area.

End of memo

9) Memorandum of Discussions on Joint PDCC Discussion (14/08/2017)

MEMORANDUM OF DISCUSSIONS
ON
JOINT PACC DISCUSSION
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN

THE REPUBLIC OF UGANDA

Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation scheme (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent Sanyu Consultants INC. (hereinafter referred to as "the Consultant") to Uganda, as Preparatory Survey Team for the Outline Design.

The Consultant held a discussion with both of Project district Coordination Committee (hereinafter referred to as "PDCC") of Bulambuli and MAAIF officials on the Project. In the course of the discussion, both sides have confirmed the technical matters described in the attached sheets. The Consultant will proceed to further work and prepare the Preparatory Survey Report. PDCC of Kween didn't attend the meeting due to the other task on that day.

14th August 2017


Benon Lwanga
Senior Engineer
Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries


Naugiri Creffrey
Chairman
PDCC of Bulambuli District


Leader of the Consultant
Tatsuya Ieizumi

The Preparatory Survey on The Project for Atari Irrigation system in the Republic of Uganda

Minutes of discussion
(Meeting with PDCC of Bulambuli)

Date: 14.08.2017

Time: 14:00-15:30

Venue: Bulambuli District Local Government headquarters, Climate Change Adaptation Learning Centre

MAAIF: Eng. Benon Lwanga (Senior Engineer, MAAIF), Eng. Dominic Banaga Mucunguzi (Senior Engineer, MAAIF)

Consultant: Mr. Tatsuya Ieizumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan), Mr. Hideki Ishikawa (Environment Consideration), Ms. Ayumi Shiga (Social consideration)

Ugandan staff: Mr. Shimiyu David

Bulambuli PDCC: Refer to Appendix-1

Kween PDCC: Not in attendance

Agenda: Refer to appendix-2

Minutes of meeting:

- 1) Communication / presentation from Mr. Tatsuya Ieizumi
 - He made a presentation on construction Planning. The focus was results from the 4/08/2017 meeting held with PACC in relation to the aforementioned construction planning
 - A presentation on buffer zone then followed
- 2) Communication from Mr. Benon Lwanga
 - He guided the next phase of the discussion by asking participants to focus on the following key points:
 - Land
 - The consultant recommends that the space for the contractor's base camp be on communal land as opposed to private land
 - The surplus soils generated during construction may neither be suitable for crop cultivation nor for civil structures
 - Buffer zone
 - The 5-20m buffer zone width from a hypothetical center line, as proposed during the Community Based Resource management Plan (CbRMP), is not backed by regulation/law
 - The agreement with NEMA during one of the JTC meetings was a 30m distance from a hypothetical center line. It is therefore upon the PDCCs and PACCs to explain this situation to the community

- 3) Remarks from Ms. Madanda H. Sarah
- The earlier suggested 5-20m buffer zone width was a community proposition and if the current situation – 30m from hypothetical centerline- is explained to the community, they will buy the idea since it does not deviate much from the 20m suggested
 - There is therefore need to educate and inform farmers who cultivate at the river banks of the buffer zone on the set regulations and guidelines
- 4) Remarks from Mr. Nangai Geofrey
- During signing of the MoU for the CbRMP, the farmers proposed a reduction of the legally set 30m buffer zone width. The CbRMP consultant, **We Consult**, told them that their request would be presented to NEMA for consideration. So if the community is informed that NEMA rejected their request, for set advantages, they should be able to understand and accept the situation
 - In response to a member who had inquired as to why ideas on buffer zone could not be borrowed from the Doho Irrigation Scheme scenario, Mr. Nangai commented that Doho irrigation Scheme presents a different scenario, as the actual irrigation scheme is some 2.5km away from the River Manafwa, which is far off the buffer zone limits
 - In response to a question on whether Bulambuli district had engaged in river bank stability drives, he replied that it was true the district had attempted bank stabilization, albeit with a failure as the eucalyptus trees planted at river banks caused the banks to collapse!
 - In relation to the space for the proposed structures, he declared that the PDCC of Bulambuli propose 2 locations near Ngoyo, on Bulambuli District Local Government land
- 5) Basically, there was a general consensus on the 30m buffer zone, from the hypothetical centerline
- 6) Action points/way forward
- A joint PACC meeting be held at 08:30hrs, on 15/08/2017, at Atari Apostolic Church. It was proposed that 3 PDCCs from either district (Kween and Bulambuli) attend
 - Basing on the result of the joint PACC meeting, a plenary stakeholders meeting for the project beneficiaries will be decided upon
 - It was recommended that only one site be used for project building structures for the following reasons:
 - Ease of operation and management
 - To foster unity among beneficiaries especially in regard to production and marketing

(End of the minutes of meeting)

(10) Memorandum of Discussions on Joint PACC Discussion (15/082017)

MEMORANDUM OF DISCUSSIONS
ON
JOINT PACC DISCUSSION
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN
THE REPUBLIC OF UGANDA

Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent Sanyu Consultants INC. (hereinafter referred to as "the Consultant") to Uganda, as Preparatory Survey Team for the Outline Design.

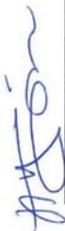
The Consultant held a discussion with both of Project Area Coordination Committee (hereinafter referred to as "PACC") of Buwebere and Sikwa Parishes of Bulambuli and Kween respectively. In the course of the discussion, both sides have confirmed the technical matters described in the attached sheets. The Consultant will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.

15th August 2017

Masinde Juma
Chairman
PACC Buwebere Parish in Bulambuli district



Ayeba Yassin
Chairman
PACC Sikwa Parish in Kween district



Leader of the Consultant
Tatsuya Iezumi



The Preparatory Survey on The Project for Atari Irrigation system in the Republic of Uganda

Minutes of discussion
(Meeting with PACC of Buwebere and Sikwa Parishes)

Date: 15.08.2017

Time: 10:00-12:00

Venue: Atari Apostolic Church, Buwebere Parish

MAAIF: Eng. Dominic Banaga Mucunguzi (Acting Commissioner Water for Agricultural Production, Senior Engineer, MAAIF), Eng. Benon B. Lwanga (Senior Engineer, MAAIF),

Consultant: Mr. Tatsuya Iezumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan), Mr. Hideki Ishikawa (Environment Consideration), Ms. Ayumi Shiga (Social consideration)

Ugandan staff: Mr. Shimiyu David

Buwebere PACC: Refer to Appendix-1

Sikwa PACC: Refer to Appemndix-2

Agenda: Refer to appendix-3

Minutes of meeting:

- 1) Communication / presentation from Mr. Tatsuya Iezumi
 - Mr. Iezumi reviewed the minutes of meeting held on 4/08/2017. The focus was results from the 4/08/2017 meeting held with PACC in relation to the aforementioned construction planning
 - A presentation on buffer zone then followed
- 2) Questions posed by PACC
 - Why does the map of project site show blue and pink highlights for the Kween half of the project site and not the Bulambuli half?
 - The blue points in Kween district represent low elevation land, which will therefore require filling. The pink areas are the proposed places for deposition of the surplus generated soils
 - What is the difference between black cotton soils and luvisols?
 - Black cotton soils and luvisols are both good for crop cultivation. Black cotton soils and luvisols defer in the distribution of clay, sands and silts in the soils, a method of soil classification
 - Is the contractor's base camp a permanent establishment?
 - The contractor's base camp is a temporary station that will host temporary facilities like contractor's home, office, store, motor pool, etc. It only lasts for the duration of the construction period
 - Areas further away from the river course are at higher elevations than areas closer to river course, won't the arable land then not be depleted in

the levelling exercise when fertile topsoil is cut from higher areas for filling in the lower areas?

- To minimize loss of fertile top soils, levelling will be done in a carefully calculated manner with minimum cut and fill, probably block by block

3) Other remarks and concerns by the PACC

- The date for the plenary stakeholders meeting was set on 19/08/2017 at 14:00 hrs
- The PACCs requested that all future meeting schedules be decided by the Japanese consultant team
- There was a complaint from the PACC that the team charged with executing the baseline survey did not pay allowances to most of the PACC members
- The PACC members requested for an increment in the sitting allowances for meetings

4) Remarks from Mr. Mucunguzi Dominic

- He thanked the participants in the meeting for being open and participative during the discussions and submissions
- He noted that all potential/projected challenges that would be faced during the implementation stage of the project had been raised and mitigation measures suggested
- He urged the participants from Atari to transcend district boundaries, and tribal differences but rather to work together in unison towards collective and unified production and marketing
- He further asked the project beneficiaries to support the Japanese consultant and contractor(s) through their active involvement in any current and future project related activities
- He then closed the meeting

(End of the minutes of meeting)

(11) Memorandum of Discussions on Joint PACC Discussion (19/08/2017)

MEMORANDUM OF DISCUSSIONS
ON
JOINT PACC DISCUSSION
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN

THE REPUBLIC OF UGANDA

Based on the several preliminary discussions between the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") and Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the Preparatory Survey to JICA. JICA sent Sanyu Consultants INC. (hereinafter referred to as "the Consultant") to Uganda, as Preparatory Survey Team for the Outline Design.

The Consultant held a discussion with both of Project Area Coordination Committee (hereinafter referred to as "PACC") of Buwebere and Sikwa Parishes of Bulambuli and Kween respectively, and the beneficiary farmers. In the course of the discussion, both sides have confirmed the technical matters described in the attached sheets. The Consultant will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.

19th August 2017

 Masinde Juma Chairman PACC Buwebere Parish in Bulambuli district	 Ayeba Yassin Chairman PACC Sikwa Parish in Kween district
 Tastuya Ieizumi Leader of the Consultant	

The Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System in the Republic of Uganda

Minutes of discussion
(Joint farmers' meeting)

Date: 19.08.2017
Time: 14:00-16:00
Venue: Atari Primary School Football Grounds
Consultant: Mr. Tatsuya Ieizumi (Team Leader of Consultant/Irrigation Facility Plan),
Mr. Yassushi Fukuda (Facility Planning/Cost Estimate), Ms. Ayumi Shiga
(Social consideration)
Ugandan staff: Mr. Shimiyu David
Buwebere PACC and ex-officios: Refer to Appendix - 1
Sikwa PACC and ex-officios: Refer to Appendix - 2
Bulambuli district local Government Officials: Refer to Appendix - 3
Farmers: Refer to Appendix - 4
Agenda: Refer to appendix-5
Presentation: Refer to Appendix - 6

Minutes of meeting:

- 1) Remarks from L.C.I chairman
 - He welcomed all the participants
 - He then thanked the JST for always endeavoring to sensitize the community members and most of all for fully involving them (beneficiaries) in every step of the project
- 2) Introduction of participants
 - The farmers were introduced in groups, on a village by village basis
 - PACC members from either parish were then introduced
 - PACC members from either district were then introduced
 - Finally, the JICA Study team was introduced
 - In a special way, the team leader, JST, wished all participants the very best in the meeting. He especially wished them to understand fully the contents of the presentation(s) to follow
- 3) Comments from the sub county chief, Ngenge
 - He urged the participants to take these stakeholder meetings seriously, especially given the fact the JST had labored to explain every step of the project to the community
 - He urged participant to appreciate and bear with the fact that the project is being executed in a phased manner
 - He admitted that it was a great fortune to have such a transformative

- The Bulambuli beneficiaries were urged to maximize the allocation they had been given
 - Assuming during excavation between boundaries and one side is slanting and we pour 30m equal distribution of soil, will this raise one side making water flow and distribution complicated
 - The pouring of BCS is mainly in the downstream and in depressions to increase the farming lands
 - The activity of levelling will ensure land levels enable uniform distribution of irrigation water
 - A farmer had a concern connected to livelihood sustenance during the construction period. They claimed to have a small land holding within the project area, which was the sole source of his livelihood. They were concerned what their fate would be during the interruptions of project activities like land levelling
 - RAP will address this issue as the response from the technical team
- 6) Suggestions and proposed way forward
- The proposed way forward oscillated about the management of surplus/spoiled soils from the construction works
 - The community proposed that surplus murrum soils be spread on community access roads to improve their motorability especially in wet conditions
 - Another suggestion was that surplus fertile soils should be used to fill depressions and water logged areas
 - Further, it was proposed to use surplus soils to stabilize Atari river banks at the weak points
- 7) Closing remarks from Mr. Magomu Charles O'gidudu, representative Bulambuli District Production Office
- He was appreciative of the participants, especially the ladies for turning up in large numbers for the meeting
 - He encouraged the farmers to exclude politics from development projects so as to realize prosperity without unnecessary hindrances
 - He urged co-operation among farmers, PACC, PDCC, contractor(s), local government, JICA Study Team and other stake holders for smooth project progression
 - He projected that if the Atari project were successful, it would be an attracting factor for many more projects in the area

(End of the minutes of meeting)

- project in his community
 - He further urged the beneficiaries to work extremely hard, and most importantly in unison to reap the benefits of the project
 - He informed the participants that with the project in place, yield of rice and other upland crop will increase. He estimated that yield can increase from the current 10 bags of un-milled rice per acre to at least 40 bags of un-milled rice per acre as is the case in Doho Rice Scheme
- 4) Flip chart Presentation by Mr. Juma Masinde
- The presentation centered around construction planning
 - After the presentation, farmers were urged to actively respond
 - A copy of presentation is attached in appendix – 6
- 5) Open Discussion / responses/questions to the presentation
- One participant asked, "If the 4.5m wide temporal road were to be upgraded to a permanent road, would the roadway width be increased to 5m?"
 - The roadway width will be limited to the ranges of 4.5-5m was the reply
 - Which roadway width will the RAP consultant consider? Assuming that the JST set the roadway width as 4.5 m and during implementation the contractor sets up a roadway width of 5m, will the extra 0.5m that were not captured in RAP be compensated?
 - The RAP consultants will be very considerate not oppressive, there'll be no much difference
 - Will the land (about 2 acres) for the contractor's base camp be rented? If it will be rented, what rates/terms and conditions will apply?
 - The response was as follows:
 - First priority will be to secure public land for the contractor's base camp.
 - If public land cannot be secured, the space will be rented from a private land owner, following an agreement between the land owner and the tenant (contractor). The land will be rented only for the period of the construction
 - A community member wanted to find out how one knows if their lands fall within the project area
 - The originator of the question was told to refer their question to the responsible PACC for a clear answer
 - A member was curious as to why the project area allocation earlier given to Bulambuli district was later reduced
 - Circumstances, both social and technical, led to the current state of affairs.

(12) Minutes of Meeting for Fifth JTC Meeting (29/08/2017)

MINUTES OF MEETING
FOR
THE FIFTH JTC MEETING
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN
THE REPUBLIC OF UGANDA

The Government of Japan through JICA assisted the Government of Uganda in carrying out the feasibility study for the Project on Irrigation Scheme Development in Central and Eastern Uganda (PISD), which ended in 2016. The study was conducted by a JICA Study Team in collaboration with the Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries (MAAIF) and Ministry of Water and Environment (MWE). During the first phase of the Project, the joint investigation team identified three priority sites out of 10 candidate sites for further studies. Accordingly, the Joint Coordination Committee (JCC) agreed and approved the feasibility study on two priority sites, namely; Atari and Sironko, and a prefeasibility study on Namatala site, and the study was successfully completed and reports shared.

Following the conclusion of the feasibility study, the JICA Study Team, following a set selection criteria, ranked Atari site in Kween and Bulambuli districts first. The JCC accepted to adopt Atari site for further study and development using Japanese Grant Aid. Beginning from June, 2017, to date, a preparatory survey is being undertaken for this site (Atari) as part of the conditions for making a request for Japanese Grant Aid. This survey is conducted by the JICA Study Team in collaboration with MAAIF and MWE. The draft report and result of the preparatory survey is presented and discussed by the members of the JTC on this day, 29th August 2017.

As a result, all sides have reached a mutual understanding on the matters referred to in the document attached here to.

Kampala, 29th August 2017

Eng. Kato Ronald Kayizzi (Chairperson)
Commissioner, Agricultural Infrastructure,
Mechanization and Water for Agricultural
Production
Ministry of Agriculture, Animal Industry and
Fisheries

Eng. Richard Cong (Co-Chairperson)
Commissioner, Water for Production,
Ministry of Water and Environment

Mr. Tatsuya IEIZUMI
Team Leader,
JICA Study Team

1

Date: 29/08/2017
Time: 09:30-13:00
Venue: City Royal Resort Hotel
Participants: See the Appendix

Issues discussed and agreed upon.

The activities of the preparatory survey on Atari Irrigation System have been presented by JICA Study Team (JST). The presentation has reflected on the following points which are agreed upon by the Joint Technical Committee of the project. These are;

1. Briefing on the outline of the Project

- ✓ Project purpose
- ✓ Objectives of this preparatory survey
- ✓ Project area and planned dimensions
- ✓ Time schedule (tentative)

2. Technical issues

2-1. Land Reorganization;

JST will take on design of the farmland including the land leveling works and the Government of Uganda will carry out the reorganization of farm land.

2-2. Design of the buffer zone

Buffer zone should be taken 30m from hypothetical centerline as approved by JCC, F/S report and as proposed in ESIA report submitted to NEMA.

MAAIF and MWE have a responsibility to explain this matter to Districts Local Governments and Project Affected Persons, for execution of livelihood support.

2-3. Construction planning

There will be construction of scheme buildings which will be used for offices, training space, drying yard, storage for production and seed.

2-4. Operation and Maintenance

Clear assignment of roles and responsibilities for the operation and maintenance of the irrigation facilities are necessary after construction. The roles and responsibilities among MAAIF, MWE, District Local Governments and beneficiary farmers should be clearly demarcated in the performance and management contracts.

3. Environmental and social considerations

The Resettlement Action Plan (RAP) is behind schedule. Project cannot be implemented without payment of livelihood support. Therefore, the RAP activities should be fast tracked.

Implementation and costing of ESIA recommendations will be undertaken by Government of Uganda.

2

4. Others

4-1. A member of JTC requested for a reduction of the detailed design and construction period. JICA Officers responded that it is difficult to shorten those periods, since Japanese Grand Aid Project needs the necessary processes for implementation to ensure the good quality of the project output.

4-2. A representative from the Directorate of Environment Affairs expressed discomfort about the 30 meters of the Buffer zone taken from hypothetical centerline, as opposed to the regulation that dictates 30 meters from highest watermark. The meeting guided that the concept of 30 meters from hypothetical centerline was agreed in the previous JCC meeting, and due to the complex nature of the meandering river system as well as technical requirement for construction of the dyke for flood control. JTC members agreed to the explanation and concept.

4-3. Chief Administrative Officers from Kween and Bulambii confirmed that land for the project facilities is available, and that they will officially respond to the letters from MAAIF.

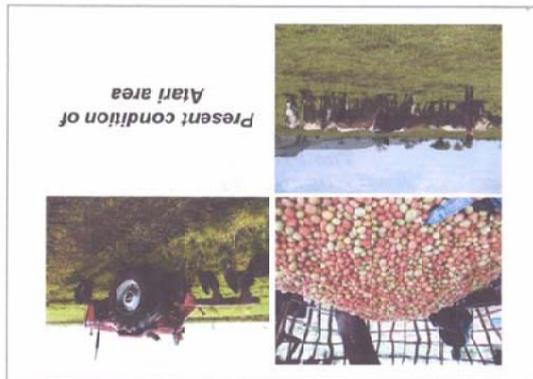
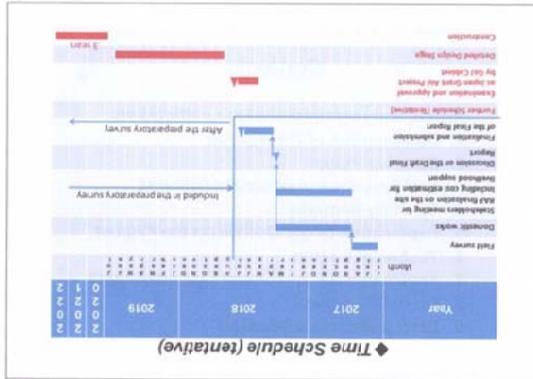
4-4. The meeting was informed that assignment of roles and responsibilities for operation and maintenance will be harmonized after development of the performance and management contracts and irrigation policy.

4-5. The meeting was informed that the certificate of approval of ESIA report is not yet issued pending payment of statutory fees by MAAIF. The payment is supposed to be done by the second quarter of 2017/2018 financial year.

4-6. Members asked which rates will be used during compensation/ livelihood support under the RAP implementation. The meeting was informed that the process will be guided by the Chief Government Valuer following the laws of Uganda.

(End of Minutes.)





◆ Project Purpose
 To increase the productivity of rice by establishment of irrigation system through construction of new facilities at Atari target site.

◆ Objective of the Preparatory Survey
 This survey is tasked to collect/provide data/information as condition for approval of Japanese Grant Aid Project. Based on the result of the previous survey (PISD), this survey examines:

- Background and objectives of the project;
- Feasibility of the project components;
- Estimate project cost;
- Confirm components to be undertaken by the Govt;
- Develop an implementation plan of the project;
- Support the Govt on environmental and social considerations
- Conduct additional Topo survey, Geological survey, Water quality test, Baseline survey etc.

5. Brief on the Outline of the Project

- ◆ Project Purpose
- ◆ Objectives of this Preparatory Survey
- ◆ Project Area and Planned Dimensions
- ◆ Time Schedule (tentative)

Contents

1. Confirmation of the Agenda
2. Opening Prayer
3. Self-introduction of the Participants
4. Opening Remarks
5. Explanation of the Outline on the Project
6. Technical matters
7. Environmental and Social Considerations
8. Open Discussion
9. Draft a Minutes of Meeting

The Preparatory Survey on The Project for The Republic of Uganda

5th JTC Meeting

29/08/2017

Sanyu Consultants Inc.

JICA

1. National Environment Regulation (2000) says the buffer zone should be 30 meters from the highest watermark.
2. However, identification of the highest watermark is impossible in Atari River due to its meandering nature.
3. For this reason, buffer zone will be taken 30 meters from hypothetical centerline as approved by JCC, F/S report and as proposed in ESIA report submitted to NEMA.

6-2. Design of Buffer Zone

1. In the construction stage, some of mobilization and works will be necessary for the approval by the farmers and local governments.
2. JST requested and discussed the following matters with related persons, such as MAARF, PDCC, PACC and the farmers.
 - 1) Suggestion of the area of the buildings such as Training space and house, Drying yard and Storage for production and seed.
 - 2) Suggestion of the site for contractor's base camp.
 - 3) Suggestion of the disposal area for extra soil generated from construction works.
 - 4) Provision of stable electric power for the Project.
 - 5) Construction of temporary road in the project area, and
 - 6) Effective utilization of fertile soil generated from construction works.

6-3. Construction Planning



Land Reorganization, a Case of Japan (approx. 20ha)

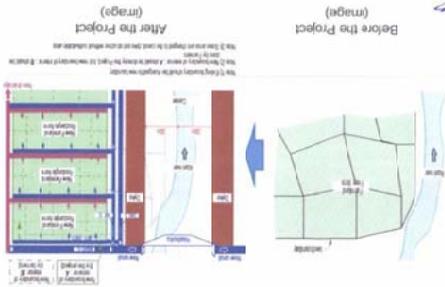
Pros	Cons
<ul style="list-style-type: none"> ✓ Increase the yield of crops with improved access to water ✓ Increase the yield of crops with uniform water distribution, O&M of facilities and etc. ✓ Reduce risk of damage caused by flood ✓ Easy access to farmland by farmers and agricultural machines 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ However, these challenges will be supported by MAARF and local governments in conjunction with JICA

Pros and Cons of Land Reorganization

Note:
 JST explained the Pros and Cons to MAARF, PDCC, PACC and the farmers' representatives
 - 1st July to PDCC of Buhanda and Karam
 - 2nd July to Primary meeting with farmers



General Layout of the Project (F/S)



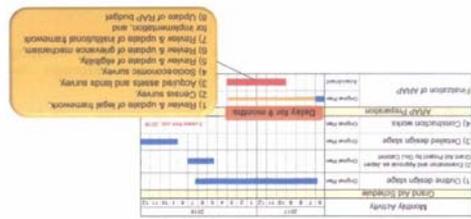
Concept of the Land Reorganization

- 6-1. Land Reorganization
- 6-2. Design of Buffer Zone
- 6-3. Construction Planning (report only)
- 6-4. Operation and Maintenance

6-1. Land Reorganization

To improve agricultural production and to promote effective water management, land reorganization is imperative.

1. The JICA Study Team (JST) discussed with MAARF, PDCC, PACC and beneficiary farmers showing the pros and cons of the land reorganization.
2. The JST decided to include land reorganization into the design as an option, and recommended that the decision should be made through mutual discussion with stakeholders.

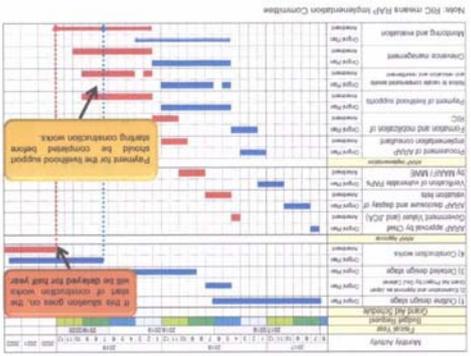


- ✓ In the original plan, the ARAP finalization was to be completed by July, 2017.
- ✓ Currently, procurement of ARAP consultant is ongoing.
- ✓ Surveys for ARAP finalization will start in October, and the finalization will be completed by April, 2018.

7. Environmental and Social Considerations

⇒ **Category A**, due to "sensitive areas," such as:

- (1) National parks, nationally-designated protected areas (coastal areas, wetlands, areas for ethnic minorities or indigenous peoples and cultural heritage, etc. designated by national governments)
- (2) Areas that are thought to require careful consideration by the country or locality



7. Environmental and Social Considerations

✓ ESIA Report was prepared by MAALF and MWE at F/S, and submitted to NEMA.

✓ ESIA report was reviewed by NEMA.

✓ Issuing of certificate of approval of ESIA is pending payment of statutory fees by MAALF.

✓ Based on the JICA Guidelines, before 120 days from concluding the Exchange of Note (E/N) on the Project, the approved ESIA report must be disclosed

⇒ By the End of March, 2018.

7. Environmental and Social Considerations

◆ **Progress and Schedule of the ESIA and the RAP**

- Construction of temporary road in the project area
- Temporary roads will be developed during construction stage which will be further upgraded to farm access roads.
- Effective utilization of fertile soil generated from construction works
- ⇒ JST proposed that fertile soil generated by construction works should be spread on the farmland
- ⇒ JST will study further.

6-4. Operation and Maintenance

⇒ The facilities to be constructed such as headworks, canal, road and dyke have to be operated and maintained by MAALF, MWE, District local governments and the beneficiary farmers (WUAs) to ensure sustainability of the irrigation scheme.

⇒ JST proposes that the roles and responsibilities among MAALF, MWE, District local governments and the beneficiary farmers, should be clearly demarcated in the performance and management contracts.

- Status of the matters (1)~(6).
- Suggestion of the area of the buildings such as Training space and house, Drying yard and Storage for production and seed
- Suggestion of the candidate site of contractor's base camp
- Suggestion of the disposal area for extra soil generated from construction works
- ⇒ 1), 2), and 3) MAALF has written to District local governments to provide the candidate sites. Then, MAALF will follow up.
- Provision of stable electric power for the Project
- ⇒ JST will study further.

(13) Minutes of Meetings (29/09/2017)

MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
UGANDA
ON
THE PREPARATORY SURVEY ON THE PROJECT
FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN THE REPUBLIC OF UGANDA

JICA Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. Arefu ARAKI, conducted the survey for the purpose of discussing the framework of the Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System in the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "the Project").

During the survey period, the Team exchanged views and had a series of discussions with authorities concerned of the Government of the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "GoU").

Through these discussions, above mentioned parties and the Team have confirmed and agreed to the main items described in the Attachment.

Kampala, 29 September, 2017

Ronald Kato Kayizzi


Ag. Commissioner,
Department of Agricultural Infrastructure,
Mechanization and Water for Agricultural
Production,
Ministry of Agriculture, Animal Industry
and Fisheries

ARAKI Arefu


Leader,
JICA Study Team,
Japan International Cooperation Agency

ATTACHMENT: MAIN POINTS DISCUSSED

1. MAJOR ISSUES

Both sides confirmed that Ugandan side shall take the necessary measures for smooth implementation of the Project, as a condition for the Japanese Grant Aid Project, especially regarding items below;

1-1. Both sides confirmed that an Environmental and Social Impact Assessment (hereinafter referred to as "ESIA") of the Project is in the process of the final approval from the National Environment Management Authority (hereinafter referred to as "NEMA").

1-2. Both sides confirmed that Abbreviated Resettlement Action Plan (ARAP) shall fulfill the all requirements stipulated in the JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April, 2010), and agreed that ARAP preparation consultant shall submit draft ARAP to MAAIF and JICA for review prior to the approval by the Chief Government Valuer, under the Ministry of Lands, Housing and Urban Development.

1-3. Both sides confirmed that ESIA and ARAP shall be approved and available to the public before 120 days (early April 2018) of concluding agreement documents including Exchange of Notes and Grant Agreement which will be concluded tentatively in early August 2018.

1-4. Both sides shared the concern over the nine months of delays from the original schedule in procuring ARAP preparation consultant for the finalization of ARAP. Both sides confirmed that JICA Study Team will provide ARAP preparation consultant with technical supports to fulfill the all requirements of the JICA Guidelines, and support MAAIF in monitoring the progress of the finalization of ARAP. MAAIF agreed to include a clause "PSID Study Team² will provide necessary support to ARAP preparation consultant and monitor the progress of the contract together with MAAIF." in the contract with GCC 20.11, Section -6, Part-3 Contract.

1-5. Both sides confirmed that sufficient compensation and/or livelihood support in accordance with ARAP shall be provided to the Project Affected Persons (hereinafter referred to as "PAPs") in a timely manner. This includes; (i) legal compensation for PAPs whose land will be taken up by key infrastructure development as well as (ii) livelihood support for PAPs affected by construction works, for instance those who will have difficulties in farming including limited access to their own lands.

1-6. Both sides confirmed that the Memorandum of Understanding dated 24th May 2016, concluded between Chief Administrative Officer of both Bulambuli and Kween Districts, and Chairman Atari Wetland Management Association concerning land development within the protected zone does not fully comply with relevant laws and ordinance, and both sides agreed that no activities shall

² PSID (Project on Irrigation Scheme Development) Study Team means the team which involves MAAIF Technical Staff and JICA Study Team members.

 273 ✓

1-8. Both sides confirmed that Land Reorganization shall entail Land Re-demarcation³ in the Farm Blocks⁴ to the respective land owners, as shown in ANNEX-1.

1-9. Both sides confirmed that the implementer, timing, and methodology of Land Re-demarcation shall be clearly determined as a responsibility of MAAIF with Districts, PDCCs, PACCs and farmer beneficiaries.

1-10. Both sides confirmed that the tentative work schedule interns of the Land Reorganization is shown in ANNEX-2.

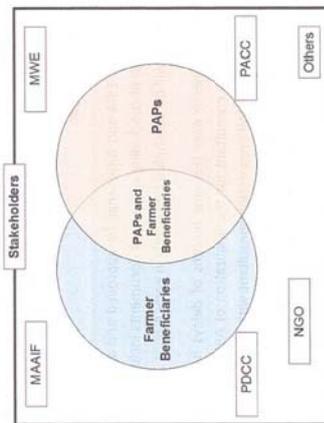
1-11. Both sides confirmed that the main roles of ARAP preparation consultant and ARAP implementation consultant, respectively, are as followed;

- 1) ARAP preparation consultant
 - ✓ Identification of PAPS (including census of current land occupants) and definition of eligibility criteria,
 - ✓ Compile relevant identification and consent document,
 - ✓ Sensitization and Consultation of PAPS and other Stakeholders,
 - Preparation for the Stakeholder meetings will be done by ARAP preparation consultants.
 - MAAIF, PDCCs, PACCs, and ARAP preparation consultant will explain the Project to PAPS and other stakeholders.
 - ✓ Socio-economic study (to all PAHs),
 - ✓ Lands and assets acquisition study,
 - ✓ Compensation policy,
 - ✓ Assistance of grievance redress mechanism,
 - ✓ Completion of RAP cost and budget,
 - ✓ Review the legal framework regarding RAP,
 - ✓ Land Re-demarcation methodology, etc.
- 2) ARAP implementation consultant
 - ✓ Sensitization and consultation of PAPS and other stakeholders,
 - ✓ Conduct of compensation/ livelihood support,
 - ✓ Making correct/ recover relevant individual consent documentation,
 - ✓ Handle grievance redress mechanism,
 - ✓ Handle legal issue,
 - ✓ Verification of PAPS of eligibility, etc.

³ Land Re-demarcation means to newly divide the farm block into several farming plots. Within the farm blocks, land re-demarcation and forming the boundary between the plots shall be managed by the farmer beneficiaries through receiving advices from the local authorities such as Districts, PDCC, and PACC.

be permitted within the protected zone without the written authority of the Executive Director of NEMA by sub-regulation (3) of section 29, National Environment Regulation (2000). Both sides confirmed that MAAIF shall make the stakeholders understand the policy of the protected zone.

1-7. Since Land Reorganization is imperative to effectively produce expected outcomes. Both sides confirmed that the **general consent** on the Land Reorganization has been given by the representative farmers such as Project Area Coordination Committees (hereinafter referred to as "PACCs") and farmers who attended the meeting on 27th July 2017. And both sides confirmed MAAIF shall take a responsibility of obtaining the **individual consent** for the Land Reorganization from all PAPS in collaboration with Ministry of Water and Environment, Districts, Project District Coordination Committees (hereinafter referred to as "PDCCs"), PACCs, etc. with mutual consultations at the stakeholder meetings, no later than commencement of the construction.

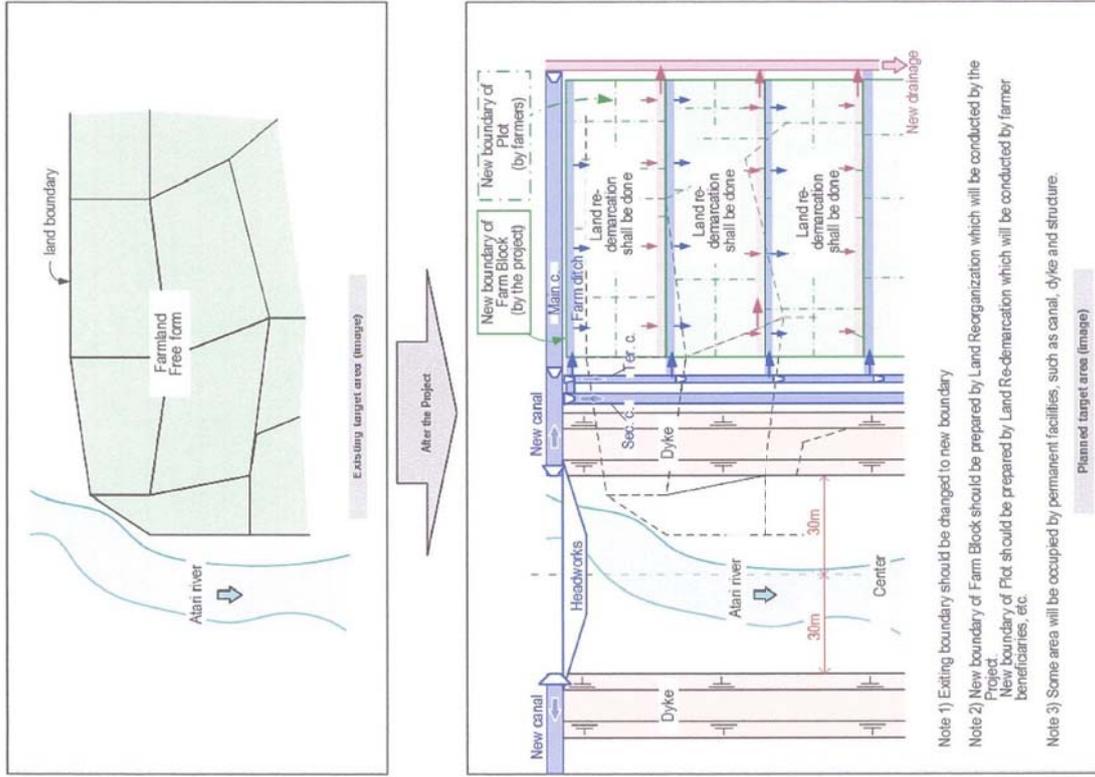


Contents	Number ^a	General Consent	Individual Consent	Compensation / Livelihood Support
PAPs (Project Affected Households: PAHs)	2,558 persons (284 households)	Necessary	Necessary	Necessary
Farmer Beneficiaries	1. Direct farmer beneficiaries 532 households 2. Indirect farmer beneficiaries 6,853 persons	Necessary (many as possible)	Not necessary	Not necessary

^aNote: Numbers of PAPS, PAHs, and farmer beneficiaries were estimated in Feasibility Study Stage. Regarding the number of PAPS and PAHs, ARAP preparation consultant will fix the number of PAPS and PAHs by conducting the detailed census survey during this preparatory survey period.

[Handwritten signatures]

ANNEX-1: CONCEPT OF LAND REORGANIZATION



Note 1) Existing boundary should be changed to new boundary

Note 2) New boundary of Farm Block should be prepared by Land Reorganization which will be conducted by the Project
New boundary of Plot should be prepared by Land Re-demarcation which will be conducted by farmer beneficiaries, etc.

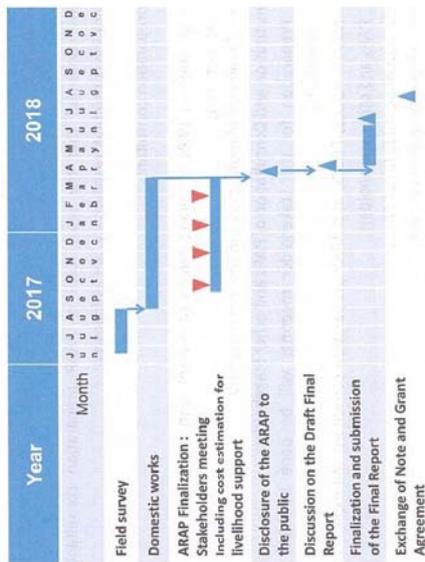
Note 3) Some area will be occupied by permanent facilities, such as canal, dyke and structure.

Handwritten signature

Handwritten signature

2. Tentative Preparatory Survey Schedule (reviewed):

Both sides confirmed the tentative schedule on this Preparatory Survey, as shown in following table. While RAP finalization has been delayed, MAAIF shall have responsibility to manage schedule of the Project, without any further delay, in collaborate with JICA, JICA Study Team and other concerned authorities.



(End of the Attachment)

Handwritten signature

Handwritten signature

(14) Minutes of Meetings (07/08/2018)

MINUTES OF MEETINGS
FOR
THE PROJECT FOR ATARI IRRIGATION SYSTEM
IN
THE REPUBLIC OF UGANDA

Since the end of June, 2017, JICA Study Team dispatched by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") has conducted the Outline Design Study and discussed the Project for Atari Irrigation System in the Republic of Uganda (hereinafter referred to as "the Project").

During the survey period, JICA Study Team had discussions with Ministry of Agriculture, Animal Industry, and Fisheries (hereinafter referred to as "MAAIF").

Through the above mentioned discussions, both sides have confirmed and agreed to the items described in the Attachment.

Kampala, 7th February, 2018



Ronald Kato Kayizzi
Ag. Commissioner,
Department of Agricultural Infrastructure,
Mechanization and Water of Agricultural
Production,
Ministry of Agriculture, Animal Industry, and
Fisheries



Tatsuya Ieizumi
Team Leader,
JICA Study Team

ATTACHMENT: MAIN POINTS DISCUSSED

The JICA Study Team and the MAAIF counterparts confirmed the content of the findings and jointly agreed that the Government of Uganda through MAAIF shall take the necessary measures to ensure smooth implementation of the Project upon its approval, especially regarding items below;

1. Project Component

- 1-1 The items indicated in Annex 1 are included in the project components;
- 1-2 The quantities of each item are subject to modification after inspection to be conducted by JICA Headquarter, and then the final quantity(s) will be shared with MAAIF;
- 1-3 The land Re-organization for seed multiplication could be added as a part of the project component after examination of its validity under Japanese grant aid. The area required for Land Re-Organization¹ is currently estimated at 12 ha approximately for the model farm.
- 1-4 The location of model site for the Land Re-organization will be fixed by MAAIF in consultation with community members through the Stakeholder meetings during the OD Stage. The JICA Study Team will provide the necessary technical support on procedures for smooth implementation, etc.;
- 1-5 MAAIF will guide Farmer Land Boundary Re-demarcation² in collaboration with district local authorities, such as Districts, PDCC, and PACC;
- 1-6 The southern Protection Dyke which was designed at the downstream of the project area in both Bulambuli and Kween districts during Feasibility Study Stage is excluded from the Project Components considered in the OD Stage, since it affects the proper performance of the drainage system in the Project site;
- 1-7 Plan-D which plans to extend the drainage into the area out of the project site, is considered as the top priority plan for drainage system of Bulambuli side;
- 1-8 Regarding above 1-4, JICA study Team will provide technical assistance to MAAIF through execution of topographic survey in the target area and basic planning during the Detailed Design (DD) Stage. With the information to be shared by JICA Study Team, MAAIF will complete the DD and implement its construction as a part of Government of Uganda's undertakings; and
- 1-9 Regarding buildings and equipment which were requested for by Government of Uganda side, JICA Study Team will conduct technical assistance to MAAIF for preparation and sharing materials such as drawings of buildings, list of prioritised equipment considered, specifications and BOQs of buildings and equipment to be funded under GoU counterpart funding.

2. Environmental and Social Considerations

- 2-1 Both sides agreed that MAAIF will discuss with NEMA in accordance with Proposed Action Plan for each condition of Certificate of Approval of ESIA issued by NEMA on 2nd August, 2017, as shown in Annex 3;
- 2-2 MAAIF will provide the sufficient compensation and/ or livelihood supports to Project Affected Persons in accordance with Resettlement Action Plan (hereinafter referred to as "RAP") for the Project for the implementation of land re-organization and establishment of Buffer Zone;

¹ See Annex 2.
² See Annex 2.



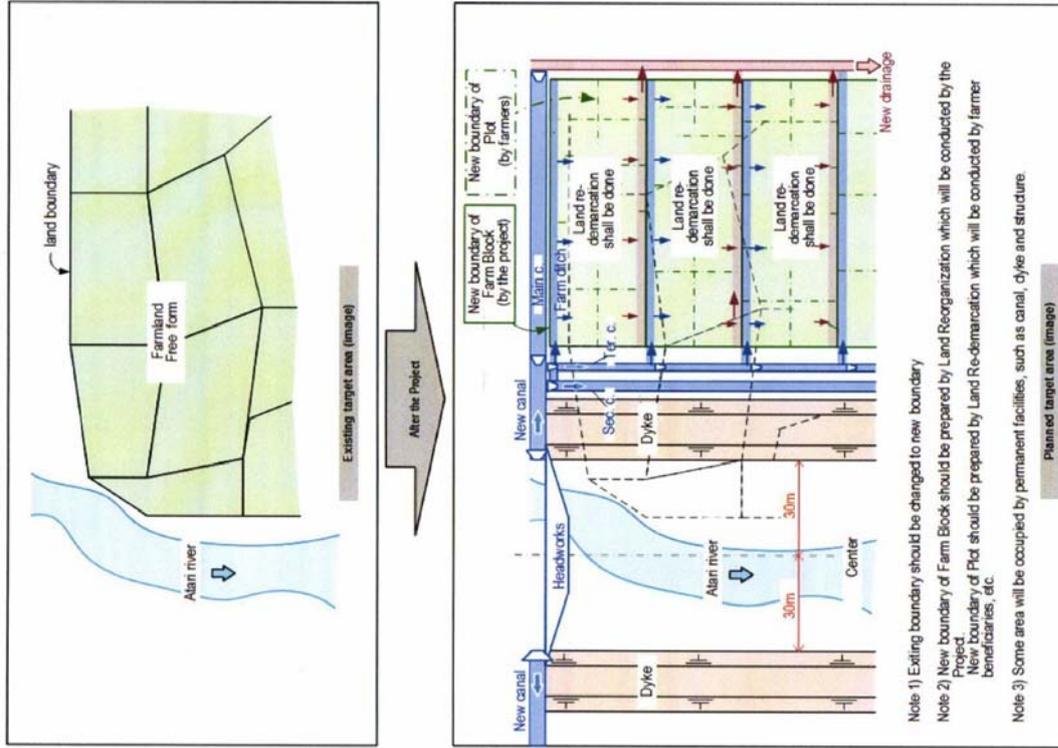
- 2-3 The second stakeholder meeting will be organized after the analysis of surveys conducted by the RAP Consultant is completed. Tentatively, that will be scheduled around early March, 2; and
- 2-4 Draft RAP is to be completed by the end of March, after the approval by Chief Government Valuer expected by the middle of April, 2018.

3. TENTATIVE PROJECT IMPLEMENTATION SCHEDULE

MAAIF and JICA Study Team will implement the Project in accordance with the schedule of Annex 4.

(End of Minutes)

Annex 2 Interpretation of Land Re-organization and Land Re-demarcation



Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten signature

Annex 3 Proposed Action

Condition	Proposed Action
ADMINISTRATIVE CONDITIONS OF CERTIFICATE	
1. The Certificate is issued in accordance with the requirements of the National Environment (Environment Impact Assessment) Regulations, S.I No. 153-1 and of the Physical Planning Act, 2010.	MAAIF will implement the project in line with this condition.
2. Issuance of this Certificate of Approval is based on the content of information contained in the Environmental and Social Impact Assessment as submitted by the Developer.	MAAIF will implement the project in line with this condition.
3. The Developer shall be held responsible for any omissions, falsified information or any other anomalies that are contrary to the provisions stipulated in the relevant laws governing the proposed project.	MAAIF will implement the project in line with this condition.
4. This Certificate of Approval is VALID for a period of 20 YEARS – the period that covers both the construction and operational phases of the project.	After conclusion of Exchange Note (E/N) and Grant Aid (G/A) between Government of Uganda (GoU) and Government of Japan (GoJ) around September, 2018, MAAIF will immediately issue the Official Request letter to NEMA with the following content: - The official submission of documents as proof of funding and clearance for the implementation of the project after both sides, GoU and GoJ concluded the E/N and G/A on September, 2018. - The commencement dates for the construction work of the Project scheduled around January, 2020 after conclusion of Detailed Design Stage. - MAAIF's official request for extension of the termination described as twenty four months in the conditions to NEMA for compliance with the Conditions of the Certificate of Approval.
5. The project must commence within the first 24 months (from the date of approval) of the validity period, failure of which the Certificate may be varied, cancelled or otherwise dealt with by this Authority.	
6. The Executive Director should be NOTIFIED of any transfer of ownership, variation/ alternation of the project design or components, or surrender of this Certificate of Approval.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
1.0 SPECIAL CONDITIONS OF APPROVAL	
(i) Restrict project activities to the area shown in Figure 1, and ensure that project affected persons are compensated and/ or resettled based upon mechanisms defined in a Resettlement Action Plan (RAP), which should be developed and approved by the relevant Lead Agency.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - MAAIF hired the ARAP Consultancy Firm which commenced work of Abbreviated RAP preparation in November 2017. The ARAP will be completed around April, 2018. - The Chief Government Valuer's representative under Ministry of Lands, Housing and Urban Development is part of the ARAP Task Force. The Final Report will be approved by the Chief Government Valuer.

Annex - 3

AMK

7

Condition	Proposed Action
(ii) Implement the project activities in conformity with the planning provisions for the area as provided for by the local government authorities of Bulambuli and Kween districts, and in accordance with the requirements under the Physical Planning Act, 2010, and other relevant laws.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - MAAIF will collect information about the planning provisions for the project site from District Local Government Authorities of Bulambuli and Kween districts. - MAAIF will comply with the planning provisions and the Physical Planning Act. MAAIF will ensure do the following act in line with the guidance given by NEMA; - MAAIF formed Project District Coordination Committees (PDCC) and Project Area Coordination Committee (PACCs), selected as the representatives of the Project site considering the gender, age, and tribe. - The Project will ensure that PDCCs and PACCs are supported play their roles and responsibilities.
(iii) Ensure members of the community are represented at an appropriate level of project implementation and that representation is balanced across gender, age and tribe.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - During the ARAP preparation, the lands and assets survey, population census survey, socio-economic survey will be conducted to conform with the NEMA guidance. MAAIF will do followings in line with guidance by NEMA; - Through stakeholder meetings, etc., MAAIF will explain and ensure the project benefits the community members where they are eligible. - As one of measures of livelihood support, MAAIF will encourage the Contractor to hire Project Affected Persons (PAFs) a priority where possible during Construction period.
(iv) Put in place mechanism – chance finds and avoidance procedures – to guide the management of tombs and humans remains whenever they are found.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - During the ARAP preparation, the lands and assets survey, population census survey, socio-economic survey will be conducted to conform with the NEMA guidance.
(v) Ensure that the project benefits the community members, and where they are eligible. They should be employed to provide casual labor.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - During the ARAP preparation, the lands and assets survey, population census survey, socio-economic survey will be conducted to conform with the NEMA guidance.
(vi) Where water sources, such as springs and boreholes, are affected by the project, ensure you replacement them as necessary. In addition, designate and install drinking water points and cattle paths for keepers and their cattle, since the project area includes original water points and cattle paths, and plan for the establishment of alternative grazing or fodder areas to sustain the livestock industry in the area.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA to address the cases where they exist.
(vii) Seek guidance approval from the Directorate of Water Resources River Atari, and ensure that the environmental flows of Atari River, both upstream and downstream, are observed and complied with as prescribed by the Directorate of Water Resources Management (DWRM), in accordance with the Water Resources	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - MAAIF will apply/seek for a Water Abstraction Permit from the Directorate of Water Resources Management (DWRM). - MAAIF will conduct the observation of the environmental flows of Atari River, both upstream and downstream and comply with the Permit as prescribed by the DWRM, in accordance with the Water Resources

Annex - 4

AMK

7

Condition	Proposed Action
(viii) Regulations) S.I No. 152-1, in order to sustain the hydrological functions of the River. Ensure that works on the river, such as, flow intake, dykes, working platforms, sedimentation basin, screens at intake and fish ways, which are intended to divert water to irrigation plots, avoid flooding, mitigate bank erosion and sediment input, guard against sediment transfer along the course of the river, avoid diversion of macro-aquatic fauna into irrigation canals, and avoid disrupting fish, respectively, are approved by NEMA.	Regulations), in order to sustain the hydrological functions of Alari River. MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(ix) Obtain approvals of the structural and site layout plans, and alignments of the irrigation components/ infrastructure from the relevant Lead Agencies, including the DWRM, Bulambuli and Kween Districts, Local Government Authorities, and Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries (MAAIF). In doing so, ensure dykes are placed 30 meters on either side of the course, and that the design is the most appropriate to mitigate floods and limit encroachment of the floodplain and ecologically sensitive areas, but that it also takes into account the requirement for proportionate amount of land for cultivation. Further, ensure you put in place mechanisms to protect the buffer along the river course, since this is a refugia for a host of fauna.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA, will have engagement after OD Stage and during Implementation Stage as the need arises, and will also obtain all the necessary statutory approvals.
(x) Seek approval from NEMA to use wetlands in the area and ensure the project excludes ecologically sensitive areas, which were mapped during the Environmental and Social Impact Assessment study. Share the site map showing these areas with NEMA and Uganda Wildlife Authority, and monitor them for coverage and habitat quality.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xi) Conduct periodic water and soil quality tests of soil and water in the irrigation scheme area and of waters of Alari River, in order to minimize deterioration of soil and water quality in the project area and its environs, in accordance with the Water (Water Resources Regulations) S.I. No. 152-1 and other relevant laws and standards, and as shall be prescribed by the DWRM, among others.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - MAAIF will conduct the water quality tests during the construction and operation period in accordance with the Environmental Management Plan described in the submitted ESIA report. Reference will be made to the Water Resources Regulations and The Water Act. Detailed procedures and parameters items shall be included in the Environmental Monitoring Plan.
(xii) Obtain the necessary guidance and	MAAIF will act in line with the guidance given by

Annex - 5

AMM

AMM

Condition	Proposed Action
approval from MAAIF regarding the range of agrochemicals (artificial fertilizers, pesticides, among others) that are permitted for use in crop farming activities, especially, those applicable to irrigation schemes, but also institute a program that will ensure the conduct of good farming practices, non-reliant on agrochemicals and also less dependent on fertilizers.	NEMA while supporting the farmers during project implementation.
(xiii) In accordance with the National Environment (Waste Management) Regulations, 153-2, collect, sort and contain all solid waste (e.g., construction debris, muck, excavated soil, metal scrap) and garbages in a proper manner, and dispose of the waster in locations gazetted as waste dump-sites by the Local Authorities.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA;
(xiv) Contract only hazardous waste handlers licensed by the National Environment Management Authority (NEMA), to collect dispose of hazardous waste including waste-oil, used plastics/polythene materials, contaminated material, in line with the National Environment (Waste Management) Regulations, S.I 153-2.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - MAAIF will guide the Contractor a proper manner for handling the hazardous waste in accordance with the National Environment (Waste Management) Regulations, S.I 153-2.
(xv) Carry out annual environmental audits in accordance with the best available practices (taking into account advances in science and technology) as stipulated in Section 6 of the National Environment (Audits) Regulations, 2006; and submit the first environmental audit report <u>by August 2018</u> .	MAAIF will immediately confirm the requirement of the Environmental audit report with NEMA and prepare the first audit report by August 2018.
(xvi) Carry out separate Environmental and Social Impact Assessments for any planned components (such as, processing facilities) of the project that are not subject of the approval, in line with the Environmental Impact Assessment (EIA) Regulations, S.I. 153-1.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA when the need arises.
(xvii) In accordance with Section 22 (4) of the National Environment Act (NEA), Cap. 153, take all reasonable measures and mitigate any other undesirable environmental impacts that may arise during implementation of the project, but were not contemplated during the initial environment impact assessment and by the time of issuing this Certificate of Approval, and report on those measures to	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; MAAIF will carefully review Section 22 (4) of the National Environment Act (NEA), Cap. 153, and take responsibility to mitigate any environmental impact.

Annex - 6

AMM

AMM

Condition	Proposed Action
the relevant Lead Agencies and this Authority.	
2.0 GENERAL CONDITIONS OF APPROVAL (xviii)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - MAAIF will establish the appropriate Grievance Redress Mechanism for the Project under the guidance of the Consultant hired to undertake the ARAP study.
(xix)	MAAIF will do following in line with the guidance given by NEMA.
(xx)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxi)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxii)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxiii)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxiv)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxv)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.

Annex - 7

MAAIF

Condition	Proposed Action
time to time by the Bulambuli and Kween Districts Local Government Authorities, NEMA, MAAIF, DWRM, and other relevant Lead Agencies.	
(xxvi)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - MAAIF will conduct the environmental and social management and monitoring as described in ESIA report, and keep records in conformity with the Section 77 of the National Environment Act, Cap 153, and their transmission to the NEMA as required under Section of the Act.
3.0 CONSTRUCTION PHASE CONDITIONS OF APPROVAL	
(xxvii)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - MAAIF will guide the Contractor to comply with the day time hours.
(xxviii)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA; - Hence, MAAIF will ensure to provide the proper compensation/ livelihood for those farmers in accordance with the RAP under preparation.
(xxix)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxx)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxxi)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxxii)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxxiii)	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.

Annex - 8

MAAIF

Condition	Proposed Action
during night hours) along sections of the access road leading to the project sites, to draw attention of the drivers and other road users to danger points and ongoing activities, and where necessary, use flagmen to guide flow in and around high activity spots in the project area.	
(xxxiv) In accordance with the Road Act, Cap. 358, impose speed limits on truck drivers transporting project-related materials and equipment/ machinery to and from the project sites, in order to minimize occurrence of accidents.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
4.0 OPERATIONAL PHASE CONDITIONS OF APPROVAL	MAAIF will do the following in line with the guidance given by NEMA:
(xxxv) Ensure farmers are trained on the use and operation of the irrigation system in order to avoid over-irrigation of field.	- The software component of the Project will include capacity development of the local government officers for maintenance and operation management of the irrigation facilities. It is anticipated that the empowered local government officers will play a key role of guiding the farmers in irrigated agriculture.
(xxxvi) Put in place procedures for monitoring, control, inspections, and maintenance of the project components, and to enable detection of and timely remedial action in case of malfunctioning or departure from the anticipated functionality of the project components.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxxvii) Document and archive all critical data regarding the project area and activities, aspects of water and soil quality, and the hydrology of the micro-catchment of which the Project is a part, and ensure this data is made readily available to relevant Lead Agencies from time to time.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxxviii) Adopt practices that reduce anoxia and hence methane generation, such as periodically draining paddies and use of compounds that increase activity of microbes other than methanogens, among other, and encourage organic farming so as to reduce the use of agrochemicals that contribute greenhouse gasses (GHGs).	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xxxix) Plant indigenous trees and grasses across disturbed areas that will not be used for agriculture, as these will offer refuge to tree- and grass- birds, which will be affected when their niches are replaced by farmland.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xl) Encourage establishment woodlots in upland locations around the project area, to	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.

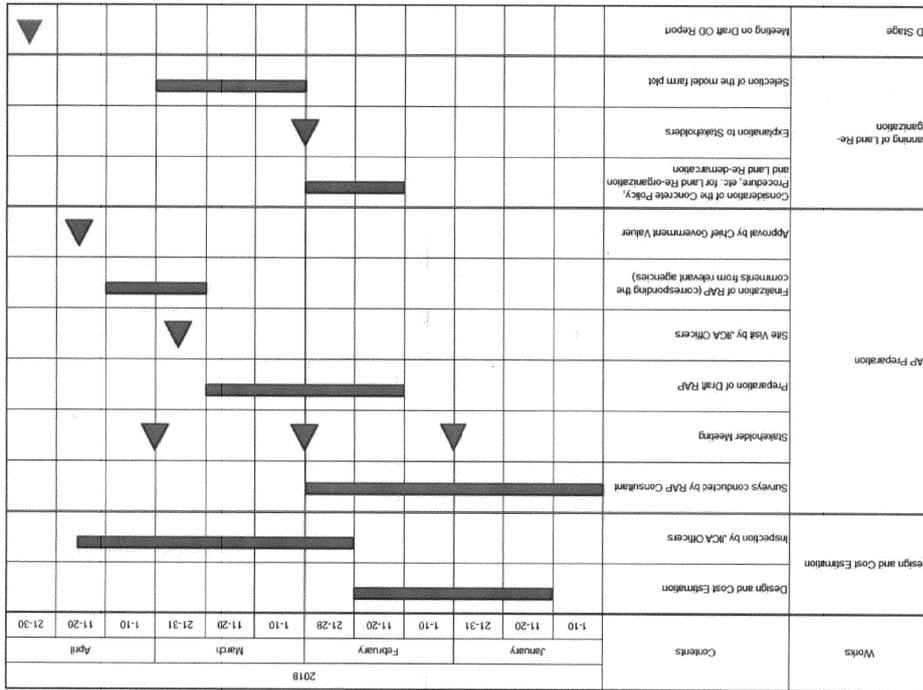
R.M.K.

Condition	Proposed Action
supply energy to the community, since the project will take up part of the land that has historically provided wood fuel in the form of reeds and shrubs.	
(xli) Put in place measures and programs to manage water-borne diseases, characteristic of highly saturated areas, and ensure to undertake periodic water-borne diseases awareness campaigns in the project area.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xlii) Seek permission from NEMA and other relevant Lead Agencies whenever repellents are to be used to repulse bird pests of rice fields.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xliii) Ensure to maintain proper and up-to-date records of the agrochemicals used, mindful that such records should be readily available to the relevant Lead Agencies when required, to ensure proper monitoring of project operations.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xliv) These conditions of approval are in addition to any other applicable Condition in this Certificate or relevant law.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
5.0 NOTIFICATION PHASE CONDITIONS OF APPROVAL	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xlv) Seek written approval from this Authority for any operational changes under this Certificate.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xlv) Ensure that this Authority is notified of any malfunction of any component of the Project within 12 hours, and mitigation measures put in place.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xlvii) Submit to this Authority a written notice of intent to decommission project activities 3 (three) months in advance.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
6.0 DECOMMISSIONING AND RESTORATION PHASES CONDITIONS OF APPROVAL	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xlviii) Ensure that decommissioning plan is submitted to this Authority for approval at least 3 (three) months prior to decommissioning the project components.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(xlix) Decommission the project components when their life-span come to an end as per the decommissioning plan, and/ or as will be prescribed by the relevant Lead Agencies.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(l) Restore all parts of the project site laid bare during the conduct of construction activities and decommissioning phase by proper landscaping and re-vegetation using suitable indigenous species of trees/ grass.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.
(li) Ensure to avoid introduction to and spread of alien/ invasive plant species across the project area.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA.

R.M.K.

Condition	Proposed Action
(iii) Ensure that all pollutants and polluted material is contained and adequate mitigation measures provided for safe disposal of the same during this phase of the project. 7.0 SUSPENSION/WITHDRAWAL/ CANCELLATION CONDITIONS (iii) This Certificate of Approval may be withdrawn or cancelled due to the following: (a) If there is no compliance with any of the Specific Conditions set out in this Certificate in Section 1.0 above, and any other substantive general provisions of this Certificate; (b) Where there is a substantial modification of the project implementation or operations which may lead to the emergence of un-accessed adverse environmental impacts that were not evaluated at the time of issuing this Certificate of Approval; and (c) Where there arise substantive undesirable effects that were not contemplated by the time of issuance of this Certificate of Approval.	MAAIF will act in line with the guidance given by NEMA. MAAIF will implement the project in line with this comment.

Annex 4 Tentative Project Implementation Schedule



(15) Minutes of Meeting on the Preparatory Survey (14/06/2018)

Minutes of Discussions
on the Preparatory Survey for the Project for
Atari Irrigation System
(Explanation on Draft Preparatory Survey Report)

With reference to the minutes of discussions signed between the Ministry of Agriculture, Animal Industry, and Fisheries (hereinafter referred to as "MAAIF") and the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") on 13th December 2016 and in response to the request from the Government of Uganda (hereinafter referred to as "GoU") dated 14th March 2017, JICA dispatched the Preparatory Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") for the explanation of Draft Preparatory Survey Report (hereinafter referred to as "the Draft Report") for the Project for Atari Irrigation System (hereinafter referred to as "the Project").

As a result of the discussions, both sides agreed on the main items described in the attached sheets.

Kampala, 14th June 2018


Mr. Pius Wasabi Kasajja
Permanent Secretary
Ministry of Agriculture, Animal Industry
and Fisheries (MAAIF)


Arefu Araki
Leader of the Preparatory Survey Team,
Japan International Cooperation Agency

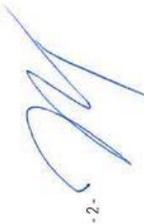
Witness

Keith Muhakanzizi
Permanent Secretary / Secretary to the
Treasury,
Ministry of Finance, Planning and
Economic Development

ATTACHMENT

1. Objective of the Project
The objective of the Project is to increase production and productivity of rice in targeted communities through development of irrigation facilities.
2. Title of the Preparatory Survey
JICA and MAAIF confirmed the title of the Survey as "the Preparatory Survey on the Project for Atari Irrigation System in the Republic of Uganda".
3. Project site
Both sides confirmed that the site of the Project is in the Atari basin area located in between Buwebere and Sikwa parishes, Bunambuye and Ngenge sub-counties in Bulambuli and Kween Districts respectively, Eastern Region of Uganda as shown in Annex 1.
4. Responsible authority for the Project
4-1. Both sides confirmed that MAAIF will be the executing agency for the Project. The MAAIF shall coordinate with all the relevant authorities to ensure smooth implementation of the Project and ensure that the undertakings for the Project shall be managed by relevant authorities properly and on time. The organization chart of MAAIF is shown in Annex 2.
4-2. Both sides confirmed that Project Area Coordination Committee (hereinafter referred to as "PACC") organized by the representative of farmers in the Project area will be responsible for Operation and Maintenance (hereinafter referred to as "O&M") of irrigation facilities.
Project District Coordination Committee (hereinafter referred to as "PDCC") consists of local government officials and in conjunction with MAAIF will provide technical support in establishing Water Users Association (hereinafter referred to as "WUA") based on PACC and will supervise the management of irrigation scheme with technical guidance. The structure of O&M is shown in Annex 2.
5. Contents of the Draft Report
After the explanation of the contents of the Draft Report by the Team, the GoU side agreed to its contents.

6. Cost estimate

Both sides confirmed that the cost estimate explained by the Team is provisional and will be examined further by the Government of Japan (hereinafter referred to as "GoJ") for its approval. Both sides confirmed that the cost estimate including the contingency explained by the Team is provisional and will be examined further by the GoJ for its approval. The contingency would cover the additional cost against natural disaster, unexpected natural conditions, etc.

7. Confidentiality of the cost estimate and technical specifications

Both sides confirmed that the cost estimate and technical specifications of the Project should never be disclosed to any third parties until all the contracts under the Project are concluded.

8. Procedures and Basic Principles of Japanese Grant

The GoU side agreed that the procedures and basic principles of Japanese Grant as described in Annex 4 shall be applied to the Project. In addition, the GoU side agreed to take necessary measures according to the procedures.

9. Timeline for the project implementation

The Team explained to the GoU side that the expected timeline for the project implementation is as attached in Annex 5.

10. Expected outcomes and indicators

Both sides agreed that key indicators for expected outcomes are as follows. The GoU side will be responsible for the achievement of agreed key indicators targeted in year 2025 and shall monitor the progress based on those indicators.

Indicator	Base (actual achievement in 2014)	Target year (2025) (years after the project completion)
Irrigable area (ha)	330ha	680ha
Cultivated area of rice (ha)	264ha	570ha
Rice yield per hectare(t)	3.0t	5.0t

11. Technical assistance ("Soft Component" of the Project)

Considering the sustainable O&M of the facilities granted through the Project, a Soft Component is planned under the Project. The GoU side confirmed to deploy necessary number of counterparts who are appropriate and competent in terms of its purpose of the Soft Component as described in the Draft Report. Both sides

recognized that the capacity building of the beneficiaries of the Project on proper O&M of the facilities would be crucial and GoU reiterated the importance of the technical assistance on this matter requested by the GoU in 2017 and it should commence.

12. Undertakings of the Project

12-1. Both sides confirmed the undertakings of the Project as described in Annex 6. With regard to tax treatment specifically for the Japanese Grant aid to be borne by the GoU is described in attachments 1 and 2 of Annex 6.

12-2. Both sides reaffirmed the Draft Report recommendation for installing agricultural and construction machinery as well as value-chain facilities which exhibit synergetic effect with the Project and contribute to enhancing the Project impact. Both sides confirmed that these items are specified in 6-1-2.16 and 6-1-2.17 of Annex 6 and to be borne by the GoU.

12-3. The GoU side assured to take the necessary measures and coordination including allocation of the necessary budget which are preconditions of implementation of the Project. It is further agreed that the costs presented in the Draft Reports are indicative at Outline Design level. More accurate costs will be calculated at the Detailed Design stage.

12-4. Both sides also confirmed that Annex 6 will be used as an attachment of Grant Agreement.

13. Monitoring during the implementation

The Project will be monitored by MAJIF and reported to JICA by using the form of Project Monitoring Report (hereinafter referred to as "PMR") attached as Annex 7. The timing of submission of the PMR is described in Annex 6.

14. Project completion

Both sides confirmed that the Project completes when all the facilities constructed by the grant are in operation. The completion of the Project will be reported to JICA promptly, but in any event not later than one month after the completion of the Project.

15. Ex-Post Evaluation

JICA will conduct ex-post evaluation after three (3) years from the project completion, in principle, with respect to five evaluation criteria (Relevance,

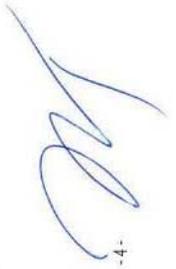


-3-











Effectiveness, Efficiency, Impact, and Sustainability). The result of the evaluation will be publicized. The GoU side is required to provide necessary support for the data collection.

16. Items and measures to be considered for the smooth implementation of the Project
Both sides confirmed the items and measures to be considered for the smooth implementation of the Project as described in Annex 8.

17. Smooth construction of the irrigation facilities

Both sides understood that it is important to ensure smooth traffic for the construction vehicles on the national road of Mubale-Moroto line, including broken bridge which should be rehabilitated before the construction. MAAIF will coordinate with Uganda National Road Authority on this.

18. Schedule of the Study

JICA will finalize the Preparatory Survey Report based on the confirmed items. The report will be sent to the GoU side by the end of August 2018.

19. Model Sites for land re-organization

Both sides understood that land re-organization contributes to improving operational efficiency in rice farming and two Model Sites will be established as a part of this project. MAAIF confirmed that it will take necessary measures in mobilizing communities for land re-organization activities in the Model Sites. The details of the land re-organization is described in Annex 8.

20. Environmental and Social Considerations

20-1. Both sides confirmed that all requirements for environmental and social considerations specified in the "JICA guidelines for environmental and social considerations (July 1st, 2010)" are properly addressed in the Environment Impact Assessment report approved by National Environment Management Authority on 2nd August 2017 and the Resettlement Action Plan to be approved by the Chief Government Valuer. Both sides confirmed items and measures regarding Environmental and Social Considerations which will be undertaken by the GoU. The details are described in Annex 9.

20-2. Both sides acknowledged that a river development project in Uganda shall be abide by the National Environment Regulations (2000) which stipulates that 30

meters from the highest water mark of the river shall be kept as a protected zone and no activity shall be permitted within the protected zone without written authorization of the executive director of the National Environment Management Authority. MAAIF confirmed with the National Environment Management Authority that it sufficiently fulfills the requirement of the National Environment Regulations (2000) that the Project would set the area within 30 meters from the hypothetical center line of Atari River as the protected zone.

21. Disclosure of Information

Both sides confirmed that the Preparatory Survey Report from which project cost is excluded will be disclosed to the public after completion of the Preparatory Survey. The comprehensive report including the project cost will be disclosed to the public after all the contracts under the Project are concluded.

END

【Annex 1 Project Site】

【Annex 2 Organization Chart】

【Annex 3 Request Letter issued by the Government of Uganda】

【Annex 4 Japanese Grant】

【Annex 5 Project Implementation Schedule】

【Annex 6 Major Undertakings to be taken by the Government of Uganda】

【Annex 7 Project Monitoring Report (template)】

【Annex 8 Issues to be Considered for Smooth Implementation of the Project】

【Annex 9 Major issues on Environmental and Social Considerations】

sp

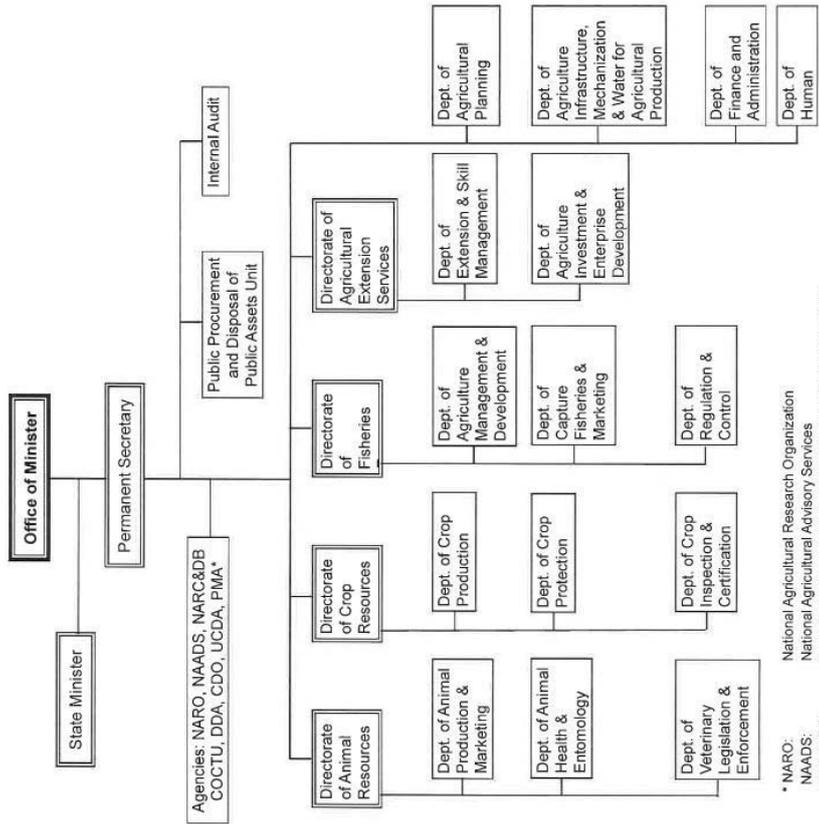
-5-

sp

-6-

ANNEX-2 ORGANIZATION CHART

(1) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries (MAAIF)



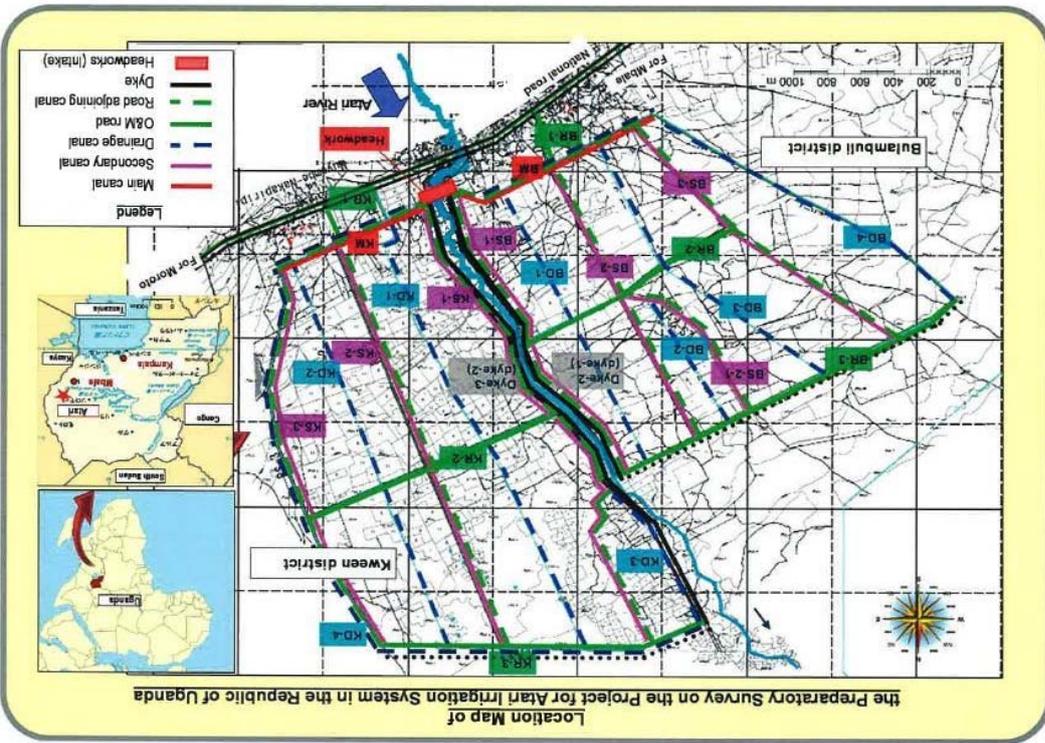
Agencies: NARO, NAADS, NARC&DB, COCTU, DDA, CDO, UCDA, PMA*

- * NARO: National Agricultural Research Organization
- NAADS: National Agricultural Advisory Services
- NARC&DB: National Animal Genetic Resource Centre and Data Bank
- COCTU: Coordinating Office for Control of Trypanosomiasis in Uganda
- DDA: Dairy Development Authority
- CDO: Cotton Development Organization
- UCDA: Uganda Coffee Development Authority
- PMA: Plan for Modernization of Agriculture

sp

BP

ANNEX-1 PROJECT SITE



sp

BP

In any correspondence on this subject please quote No FAD (08/23/01)



MINISTRY OF AGRICULTURE,
ANIMAL INDUSTRY AND FISHERIES
P.O BOX 102, ENTEBBE
E-MAIL: maaif@uinfo.com.ug
WWW.AGRICULTURE.UG.UK
TELEPHONE: 256-414-531411/133/255137
FAX: 256-414-25183/253184
KAMPALA, UGANDA

THE REPUBLIC OF UGANDA

14th March 2017

The Permanent Secretary/ Secretary to the Treasury,
Ministry of Finance, Planning and Economic Development,
Kampala

Request for Grant Aid towards Atari Irrigation Scheme Development

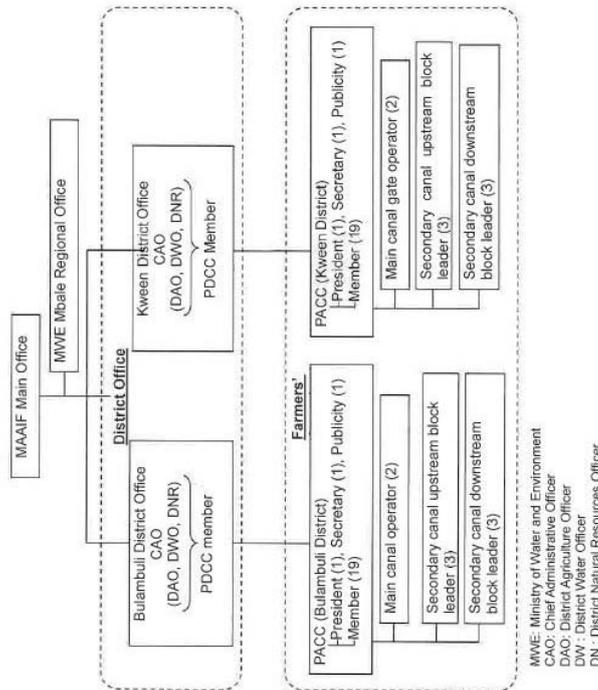
As you are aware, the Ministry of Agriculture, Animal Industry, and Fisheries (MAAIF) and Japan International Cooperation Agency (JICA) agreed to execute a study for Irrigation Scheme Development referred to as **"The Project on Irrigation Scheme Development in Central and Eastern Uganda (PISD)"** through technical cooperation. The focus is on establishment of medium and large scale irrigation scheme in Uganda targeting farmers cultivating mainly rice in lowland areas with season flooding and unreliable agricultural water source(s). The Study was entrusted by JICA to the JICA Study Team that comprised a consulting firm from Japan in collaboration with counterpart staffs from MAAIF and Ministry of Water and Environment.

A total of 10 candidate sites districts were proposed by MAAIF for potential investigation for irrigation development in the districts of *Bulambala, Buikwe, Kween, Sironko, Bukedea, Bulumbuli, Mbale, Butaleja, Budaka and Soroti*. The Project has two phases and in the first phase, the Study Team conducted potential site identification study on all the candidate sites. **An Irrigation Scheme Development Plan** was formulated for each site which included an Estimated Brief Project cost, IRR and Project evaluation. The first phase also prioritized three

(2) Implementation Structure Operation and Maintenance

Water Users Association (hereinafter referred to as "WUA") has yet been established in the Project Site, therefore, Operation and Maintenance (hereinafter referred to as "O&M") of irrigation facilities will be shouldered by the farmers' organization, namely, Project Area Coordination Committee (hereinafter referred to as "PACC") until the establishment of WUA.

Project District Coordination Committee (hereinafter referred to as "PDCC") consists of local government officials and in conjunction with the Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries (hereinafter referred to as "MAAIF") will provide technical support in establishing WUA. The Project will promote capacity development of the technical officials of MAAIF / the Ministry of Water and Environment (hereinafter referred to as "MWE") and the District offices involved in establishing WUA. The following organization chart is O&M structure of the irrigation facilities.



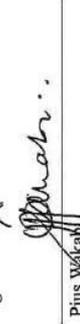
Minutes of Discussions on
 JICA – GOU Cooperation for Irrigation Sub-sector in Uganda
 between
 Japan International Cooperation Agency
 and
 The Government of the Republic of Uganda

Date: December 13th, 2016
 Place: Kampala

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") mission headed by Mr. Makoto Asai (Director, Agricultural and Rural Development Group 2, Rural Development Department) had detailed discussions with the Government of the Republic of Uganda (hereafter referred to as "GoU") represented by the officials of Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries (hereinafter referred to as "MAAIF") from December 8th to 13th, 2016 for the purpose of discussing way forwards of JICA-GoU cooperation on the irrigation sub-sector.

The JICA mission and the GoU officials hereby confirm the result of their discussions summarized in the Main Points Discussed attached hereto, subject to approval by the competent higher authorities of both sides and with understanding that the discussions are to be continued and the contents are subject to change. .

For Japan International Cooperation Agency **For Government of Republic of Uganda**

	
Makoto Asai Director, Agricultural and Rural Development Group 2, Rural Development Department	Pius Wakwaya Permanent Secretary, Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries

potential sites for further study namely; **Namatala Swamp (Mbale, Budaka and Butaleje districts), Sironko-Acomai Wetland and Atari River wetlands (Bukedea, Bulambuli and Kween districts)**. Among the three sites, detailed feasibility study has been conducted only for the **Sironko-Acomai** and **Atari** wetland systems.

On successful completion of the comprehensive feasibility studies, a Joint Coordination Committee (JCC) (inter-ministerial) meeting was held on 12th October 2016, at City Royal Hotel Kampala to consider and approve the feasibility study report. "**Atari Irrigation Scheme Site**" in Bulambuli and Kween Districts was considered the priority site for implementation under Grant AID after being ranked the best in a combined technical, environmental, socio-economic and financial score.

It is against that background that MAAIF hereby submits the filled GRANT AID Application Form for your clearance and onward submission to the Government of Japan for consideration.

Attached are:

- Annex 1 – Minutes of discussion on JICA-UGANDA Cooperation on Irrigation
- Annex 2 – Filled Grant AID Application Form
- Annex 3 – Executive Summary of the Feasibility Study Report


 Pius Wakwaya
 PERMANENT SECRETARY

THE ATTACHED DOCUMENT

I. BACKGROUND AND ISSUES FOR IRRIGATION SUB-SECTOR

Uganda has great potential to develop irrigation which contributes to structural change from subsistence farming under rain-fed conditions to commercial farming. Irrigation is also regarded as a measure to minimize and mitigate the negative impact of climate change which seems to bring unexpected drought, long dry spells and floods. Therefore the Government of Uganda (GoU) has shown high interest in irrigation development in the country, which is clearly positioned as one of priority interventions in its Agriculture Sector Strategic Plan 2015/16-2019/20.

Given this background, the GoU in collaboration with Development Partners (DPs) has undertaken initiatives for the development and rehabilitation of irrigation infrastructure in different parts of the country. For instance, Agoro (Lamwo), Mubuku (Kasese), Ojweny (Lira) and Doho (Butaleja) were rehabilitated by the GoU through Farm Income Enhancement and Forest Conservation Project (FIEFOC) Phase 1 funded by African Development Bank (AfDB).

Some issues have been identified as key lessons from past interventions in the irrigation sub-sector as follows;

- i) Lack of a National Irrigation Policy and Implementation Strategy. A draft National Irrigation Policy (NIP) was prepared through a consultative process and submitted to the Cabinet Secretariat by MAAIF in February 2015 for consideration and approval. However, Ministry of Water and Environment (MoWE) submitted a request to the same office recalling it for further consultations. MoWE submitted its desired changes to MAAIF which have been reviewed and comments ready for sharing. The revised submission will soon be submitted to Cabinet Secretariat for consideration and approval.
- ii) GoU is lacking the legal and policy framework (an Irrigation Act and Irrigation Master Plan) to operationalize the Water Users Associations (WUAs) as well as national planning and development in the irrigation sub-sector.
- iii) In addition there are some challenges in terms of planning, engineering design, and construction supervision. Those challenges are partly attributed to limited capacity and number of government staff as well as inadequate local private sector capacity. Beneficially farmers are also facing difficulties in Operation and Maintenance (O&M) due to new technologies and limited training provided for them. It is therefore important to note that whereas MAAIF has embarked on staff recruitment and training with technical support from JICA, capacity development for irrigation engineers, WUAs and the private sector in planning, infrastructure development and O&M is

2

- 13 -

still urgent and critical. Environmental and social considerations are also an integral part of the needed capacity development since rice is one of the largest crops grown in wetlands.

In these circumstances, Japan International Cooperation Agency (JICA), Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries (MAAIF) in collaboration with Ministry of Water and Environment (MoWE) commenced the Project on Irrigation Scheme Development in Central and Eastern Uganda (PISD) in 2014. The scope of PISD was categorized into two phases. In the Phase 1, JICA Study Team (JST) conducted potential site identification study on ten candidate sites and formulated Irrigation Scheme Development Plan (ISDP) for each site, which included estimated project cost and project evaluation. In the Phase 2 of PISD, JST conducted Feasibility Study on selected two sites (Sironko/Acomai site in Bulambuli and Bukedea districts and Atari site in Kween and Bulambuli districts) and an additional study on one site (Namatala site covering Budaka, Butaleja and Mbale districts). The final Feasibility Study report is under finalization and will be due shortly.

In consideration of the results and recommendations from the PISD Feasibility Study report, the GoU has an intension to request the Government of Japan (GoJ) to provide a Grant Aid for a development of infrastructure on Atari site as will be guided by JICA.

II. FRAMEWORK OF JICA-GOU COOPERATION FOR IRRIGATION SUB-SECTOR

Based on the achievement of preceding cooperation in irrigation sub-sector, both sides recognise the necessity to develop a long term sustainable comprehensive model for irrigation planning, development and management bringing with best practices and appropriate technologies. This will enhance the technical capacity, knowledge and skills needed of all stakeholders involved in the irrigation sub-sector e.g. planning officers, engineers, extension officers, farmers and farmer organizations/cooperatives/WUAs members.

Both sides confirmed that the model and process of its development need to have the following, but not limited to, features. The conceptual framework for JICA's support to irrigation sub-sector in Uganda is shown in Annex I.

1. Objective: Creating and operating a successful model* of irrigation scheme, thereby improving environment for the irrigation development including policy, regulation/guideline and operation and maintenance

*Concept of the successful model: good practice to be promoted

3

- 14 -

- [Technical Cooperation]
- c. In-service training and/or On-the-Job-Training (OJT) for irrigation engineer, extension officers [Technical Cooperation]
- d. Research activity [Technical Cooperation, Grant Aid]

- (5) Environmental and Social Consideration
 - a. Application of the sustainable wetland wise-use model established through the JICA funded Wetlands Management project [Technical Cooperation]
 - b. Environmental Socio Impact Assessment and monitoring [Technical Cooperation]

Both sides further confirmed that a technical cooperation and an irrigation advisor should draw greater attentions to the both governments in programming future operation of JICA. The concept of the cooperation and the Terms of Reference (ToR) for the advisor proposed by GoU can be referred to Annex II and III respectively.

III. NECESSARY ACTION TO BE TAKEN BY UGANDAN SIDE

1. Irrigation Policy:

Both sides confirmed that the Irrigation Policy would be fundamental document which details the mandate, role and responsibilities of the public sector and other stakeholders in Water for Agricultural Production (WFAP) and it should be finalized at the earliest possible time. The GoU agreed to take necessary actions for finalization of the Policy.

2. Human Resource Development:

There is a severe shortage of human resources in the irrigation sub-sector. This situation is partly attributed to limited past investment in the sub-sector and also to over-reliance on rain-fed farming. Considering the current and future impact of climate change, the high population growth and the aimed economic growth through transformation of farmers from subsistent to commercial farming, both sides agreed that human resource development throughout the entire sub-sector is urgently needed. The both sides also confirmed that academic institutes such as Makerere University and Busitema University and Agricultural Colleges are expected to play important role for human resource development based on the long-term perspective. The GoU agreed to continue tackling necessary actions to develop human resources.

3. Allocation of budget:

- (1) To implement Grant Aid, a timely budget allocation for Resettlement Action Plan and VAT is required. The GoU agreed to ensure that appropriate funds will be put in the budgets.

5

-16-

- a. Cohesive program/project planning and implementation;
- b. Holistic approach addressing infrastructure development, crop production, marketing and human resource & capacity development;
- c. Harmonization of development and natural environment conservation

2. Location of Practices: Atari site in Kween and Bulambuli Districts (Atari Irrigation Scheme with a projected irrigation area: 680ha)

3. Approaches:

- (1) Creating a successful model of irrigation scheme through best use of hard and soft components and in consideration of the following points;

- a) Consistent and successive collaboration from planning to operation and maintenance (O&M)
- b) Comprehensive scheme management including rice production support and harmonization with environmental and social issues including wetland conservation
- (2) Reflecting lessons learnt from Atari irrigation scheme in policy, regulations/guidelines and human resource/institutional development in irrigation sub-sector.
- (3) Close collaboration among stakeholders including MAAIF, MoWE, Local Governments (LGs), JICA and others.

4. Expected area of work and measures:

- (1) Policy Development/Dialogue and Formulation of Irrigation sub-sector Cooperation Program
 - a. Expert advice [Technical Cooperation]
 - b. Strategic dialogue among MAAIF, MoWE, other key actors and JICA
- (2) Infrastructure Development
 - a. Construction of irrigation scheme/facility(s) [Grant Aid]
 - b. Improvement of O&M activity(s) [Technical Cooperation]
- (3) Production and Marketing
 - a. Expert advice [Technical Cooperation]
 - b. Promotion of rice and other crop production [Technical Cooperation]
- (4) Human Resource Development and Capacity Development
 - a. Short-term training and/or Scholarship [Technical Cooperation, Grant Aid]
 - b. Field training/demonstration for farmer, WUAs and cooperative members

4

-15-

(2) To implement Technical Cooperation, counterpart fund needs to be prepared by the GoU to ensure necessary activities by Ugandan officers and enhance sustainability of the projects. The GoU agreed to allocate the counterpart fund before the commencement of the projects.

4. Assignment of personnel:

For successful JICA-GoU cooperation for the irrigation sub-sector, assignment of personnel for Grant Aid and Technical Cooperation is essential. It is therefore requested of the GoU to assign personnel to fill vacant posts in the Agricultural Infrastructure, Mechanisation and Water for Agricultural Production Department of MAAIF. In addition, tentative organizational structures for implementation, operation and maintenance proposed by PISD as shown in Annex IV will be further elaborated by the both sides.

5. Utilization of outcomes of JICA -GoU cooperation to other schemes:

The GoU will make the best use of experiences and outcomes of JICA-GoU cooperation to benefit the entire irrigation sub-sector in Uganda, including enactment of policies and regulations needed to solidify the successful and sustainable development of the sub-sector.

IV. NECESSARY ACTION TO BE TAKEN BY JAPANESE SIDE

1. Making a process for the Grant Aid Project for Atari Irrigation Scheme:

The JICA mission agreed that JICA will share the results of this mission and start to discuss with the GoU on the Grant Aid Project for Atari Irrigation Scheme.

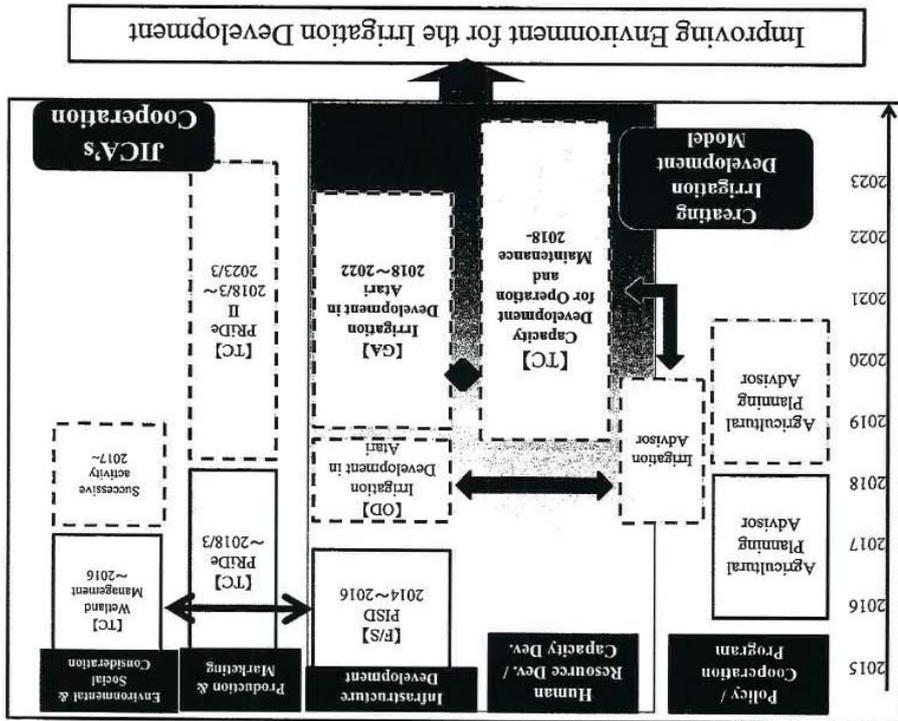
2. Irrigation Advisor:

The dispatches of Irrigation Advisor have been officially approved by the GoU. The GoU made its comments on draft Terms of Reference (ToR) for the advisor as shown in Annex III. The JICA mission explained that JICA would consider MAAIF's comments and finalize the ToR to dispatch the advisor at the earliest possible time.

ANNEXES

- Annex I Conceptual Framework for JICA's support to Irrigation Sub-Sector in Uganda
- Annex II Concept of Technical Cooperation Project
- Annex III Draft Terms of Reference of Irrigation Advisor
- Annex IV Implementation and Operation & Maintenance Structure

Annex I Conceptual Framework for JICA's support to Irrigation Sub-Sector in Uganda



ANNEX II

Concept of Technical Cooperation Project

01. The JICA mission and GoU officials exchanged views on the possible technical cooperation project (hereinafter referred to as 'TC project') that would contribute to the development of irrigation sector in Uganda. The two sides took note on the following salient features of the TC project.
02. **Holistically addressing various challenges:** Knowing good irrigation management involves; 1) adequate operation of irrigation facilities, 2) proper maintenance of the facilities, and 3) well-functioning organizations to administer day-to-day tasks and programs. The TC project should look at a range of challenges associated with the aforementioned three aspects of irrigation management in coordinated manner.
03. **Complementary to an investment project:** As it is a time-consuming process to introduce behavioral change of the individuals concerned (beneficiary farmers, government officials etc.) and a new institutional arrangement, it is advisable that the TC project should be strategically planned to bring complimentary and synergistic effect with an investment project that physically improves and controls water distribution in command area.
04. **Knowledge-creation and learning process:** Considering that agriculture is a life-time business for the beneficiary farmers, an irrigation development project should continue to be productive and sustainable. The public sector is expected to play an important role to keep the irrigation scheme effective by providing support services and interventions. However, government officials in general tend to be transferred and knowledge and experience accumulated with him/her tend to be lost too. Subsequently government intervention to the irrigation scheme may lose continuity and consistency. In order to avoid this situation, a mechanism should be embedded in the TC project to transform tacit knowledge and individual experience from lessons learned from good and/or bad practices into explicit one and the institutional memory of the government respectively. By doing so, GoU will also be able to build an additional capacity to address other challenges/problems in other irrigation schemes/project.
05. **Broader stakeholder engagement:** As described in the paragraph 02 above, the challenges associated with irrigation management are not limited to irrigation engineering aspect but also relate to others including agronomy, economy, social and legal aspects. Therefore a dedicated interdisciplinary team needs to be formed to serve the purpose of the TC project. And with regard to the paragraph 04, it is also desirable that this team would be composed by representatives of various offices/organizations, e.g. frontline/field officers, officials from central and regional office, as well as researchers and scholars.
06. The two sides confirmed to continue dialogue to elaborate the concept of the TC project.



 -19-


Annex III

Draft Terms of Reference of Irrigation Advisors

No.	Output	Activity
1	To give Technical Support/Assistance in Irrigation and drainage to the DAIMWAP	a) To give Technical Advice to the Commissioner DAIMWAP on irrigation and drainage matters in particular on the implementation of all irrigation and drainage activities/projects in MAALF and DLGs. b) To provide Technical Support/Assistance in planning, designing, construction supervision and operation and maintenance in irrigation and drainage activities and projects implemented by MAALF. c) To fast track the implementation of the Project on Irrigation Scheme Development in Central and Eastern Uganda (JICA project). d) To further develop the Namalere irrigation demonstration site into a centre of excellence so that it can be used for training MAALF and DLG engineers and officers, as well as private sector. e) To provide Technical Support/Assistance in formulation of the required policy, legal framework and National Guidelines for Water User development of a Capacity Development Plan for Irrigation and Drainage in MAALF and DLGs. f) To support Data collection, Documentation, Dissemination and Advocacy for Irrigation and drainage (including Education materials and tools) g) To support the revamping of the Agriculture Water Management Database and MIS/GIS drawing room in the DAIMWAP h) (Universities/Institutions/agricultural Colleges/Vocations) on course To conduct on-site and on-the-job training for central and local government staff in order to enhance capacity for designing and management of irrigation and drainage infrastructure. This includes giving advice on the operation and maintenance of existing irrigation schemes and planned new irrigation and drainage infrastructure. This includes giving advice on the participatory irrigation management, etc.) to the universities/teaching institutions/agricultural Colleges as requested within the capacity of the
2	To support Irrigation Scheme Development	a) To provide Technical Support/Assistance in formulation of the required policy, legal framework and National Guidelines for Water User development of a Capacity Development Plan for Irrigation and Drainage in MAALF and DLGs. b) To support Data collection, Documentation, Dissemination and Advocacy for Irrigation and drainage (including Education materials and tools) c) To support the revamping of the Agriculture Water Management Database and MIS/GIS drawing room in the DAIMWAP d) (Universities/Institutions/agricultural Colleges/Vocations) on course To conduct on-site and on-the-job training for central and local government staff in order to enhance capacity for designing and management of irrigation and drainage infrastructure. This includes giving advice on the operation and maintenance of existing irrigation schemes and planned new irrigation and drainage infrastructure. This includes giving advice on the participatory irrigation management, etc.) to the universities/teaching institutions/agricultural Colleges as requested within the capacity of the
3	To support capacity development of MAALF and District Local Governments(DLGs)	a) To provide Technical Support/Assistance in formulation of the required policy, legal framework and National Guidelines for Water User development of a Capacity Development Plan for Irrigation and Drainage in MAALF and DLGs. b) To support Data collection, Documentation, Dissemination and Advocacy for Irrigation and drainage (including Education materials and tools) c) To support the revamping of the Agriculture Water Management Database and MIS/GIS drawing room in the DAIMWAP d) (Universities/Institutions/agricultural Colleges/Vocations) on course To conduct on-site and on-the-job training for central and local government staff in order to enhance capacity for designing and management of irrigation and drainage infrastructure. This includes giving advice on the operation and maintenance of existing irrigation schemes and planned new irrigation and drainage infrastructure. This includes giving advice on the participatory irrigation management, etc.) to the universities/teaching institutions/agricultural Colleges as requested within the capacity of the





ANNEX-4 JAPANESE GRANT

The Japanese Grant is non-reimbursable fund provided to a recipient country (hereinafter referred to as "the Recipient") to purchase the products and/or services (engineering services and transportation of the products, etc.) for its economic and social development in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Followings are the basic features of the Project Grants operated by JICA (hereinafter referred to as "Project Grants").

4-1 Procedures of Project Grants

Project Grants are conducted through following procedures (See "PROCEDURES OF JAPANESE GRANT" for details):

4-1-1 Preparation

- The Preparatory Survey in Outline Design (hereinafter referred to as "the Survey") conducted by JICA

4-1-2 Appraisal

- Appraisal by the government of Japan (hereinafter referred to as "the GOJ") and JICA, and Approval by the Japanese Cabinet

4-1-3 Implementation

Exchange of Notes

- The Notes exchanged between the GOJ and the government of the Recipient

Grant Agreement (hereinafter referred to as "the G/A")

- Agreement concluded between JICA and the Recipient

Banking Arrangement (hereinafter referred to as "the B/A")

- Opening of bank account by the Recipient in a bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank") to receive the grant
- Construction works/procurement (hereinafter referred to as "the Works")
- Implementation of the Project (hereinafter referred to as "the Project") on the basis of the G/A

4-1-4 Ex-post Monitoring and Evaluation

- Monitoring and evaluation at post-implementation stage

4-2 Preparatory Survey

4-2-1 Contents of the Survey

The aim of the Survey is to provide basic documents necessary for the appraisal of the Project made by the GOJ and JICA. The contents of the Survey are as follows:

- Confirmation of the background, objectives, and benefits of the Project and also institutional capacity of relevant agencies of the Recipient necessary for the implementation of the Project.
- Evaluation of the feasibility of the Project to be implemented under the Japanese Grant from a technical, financial, social and economic point of view.
- Confirmation of items agreed between both parties concerning the basic concept of the Project.

-23-



- Preparation of an outline design of the Project.
- Estimation of costs of the Project.
- Confirmation of Environmental and Social Considerations

The contents of the original request by the Recipient are not necessarily approved in their initial form. The Outline Design of the Project is confirmed based on the guidelines of the Japanese Grant.

JICA requests the Recipient to take measures necessary to achieve its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the executing agency of the Project. Therefore, the contents of the Project are confirmed by all relevant organizations of the Recipient based on the Minutes of Discussions.

4-2-2 Selection of Consultants

For smooth implementation of the Survey, JICA contracts with (a) consulting firm(s), JICA selects (a) firm(s) based on proposals submitted by interested firms.

4-2-3 Result of the Survey

JICA reviews the report on the results of the Survey and recommends the GOJ to appraise the implementation of the Project after confirming the feasibility of the Project.

4-3 Basic Principles of Project Grants

4-3-1 Implementation Stage

- (1) The E/N and the G/A

After the Project is approved by the Cabinet of Japan, the Exchange of Notes (hereinafter referred to as "the E/N") will be signed between the GOJ and the Recipient to make a pledge for assistance, which is followed by the conclusion of the G/A between JICA and the Recipient to define the necessary articles, in accordance with the E/N, to implement the Project, such as conditions of disbursement, responsibilities of the Recipient, and procurement conditions. The terms and conditions generally applicable to the Japanese Grant are stipulated in the "General Terms and Conditions for Japanese Grant (January 2016)."

- (2) The B/A (See "Financial Flow of Japanese Grant (A/P Type)" for details)

- a) The Recipient shall open an account or shall cause its designated authority to open an account under the name of the Recipient in the Bank, in principle, JICA will disburse the Japanese Grant in Japanese yen for the Recipient to cover the obligations incurred by the Recipient under the verified contracts.
- b) The Japanese Grant will be disbursed when payment requests are submitted by the Bank to JICA under an Authorization to Pay (hereinafter referred to as "A/P") issued by the Recipient.

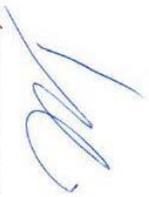
(3) Procurement Procedure

The products and/or services necessary for the implementation of the Project shall be procured in accordance with JICA's procurement guidelines as stipulated in the G/A.

(4) Selection of Consultants

In order to maintain technical consistency, the consulting firm(s) which conducted the Survey will be recommended

-24-



by JICA to the Recipient to continue to work on the Project's implementation after the E/N and the G/A.

(5) Eligible source country

In using the Japanese Grant disbursed by JICA for the purchase of products and/or services, the eligible source countries of such products and/or services shall be Japan and/or the Recipient. The Japanese Grant may be used for the purchase of the products and/or services of a third country as eligible, if necessary, taking into account the quality, competitiveness and economic rationality of products and/or services necessary for achieving the objective of the Project. However, the prime contractors, namely, constructing and procurement firms, and the prime consulting firm, which enter into contracts with the Recipient, are limited to "Japanese nationals", in principle.

(6) Contracts and Concurrence by JICA

The Recipient will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be concurred by JICA in order to be verified as eligible for using the Japanese Grant.

(7) Monitoring

The Recipient is required to take their initiative to carefully monitor the progress of the Project in order to ensure its smooth implementation as part of their responsibility in the G/A, and to regularly report to JICA about its status by using the Project Monitoring Report (PMR).

(8) Safety Measures

The Recipient must ensure that the safety is highly observed during the implementation of the Project.

(9) Construction Quality Control Meeting

Construction Quality Control Meeting (hereinafter referred to as the "Meeting") will be held for quality assurance and smooth implementation of the Works at each stage of the Works. The member of the Meeting will be composed by the Recipient (or executing agency), the Consultant, the Contractor and JICA. The functions of the Meeting are as follows:

- a) Sharing information on the objective, concept and conditions of design from the Contractor, before start of construction.
- b) Discussing the issues affecting the Works such as modification of the design, test, inspection, safety control and the Client's obligation, during of construction.

4-3-2 Others

(1) Environmental and Social Considerations

The Recipient shall carefully consider environmental and social impacts by the Project and must comply with the environmental regulations of the Recipient and JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April, 2010).

(2) Major undertakings to be taken by the Recipient

For the smooth and proper implementation of the Project, the Recipient is required to undertake necessary measures including land acquisition, and bear an advising commission of the A/P and payment commissions paid to the Bank as agreed with the GOJ and/or JICA. The Recipient shall ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the Recipient with respect to the purchase of the products and/or the services be exempted or be borne by its designated authority without using the Japanese Grant and its accrued interest, since the grant fund comes from the Japanese taxpayers.

(3) Proper Use

The Recipient is required to maintain and use properly and effectively the products and/or services under the Project (including the facilities constructed and the equipment purchased), to assign staff necessary for this operation and maintenance and to bear all the expenses other than those covered by the Japanese Grant.

(4) Export and Re-export

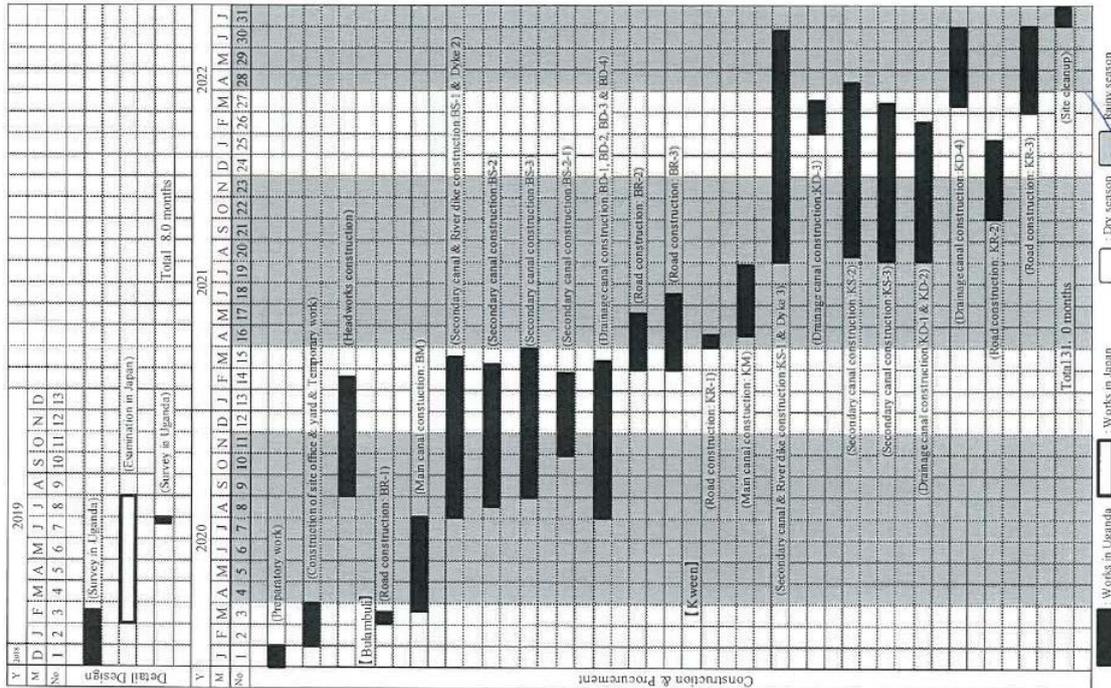
The products purchased under the Japanese Grant should not be exported or re-exported from the Recipient.

4-3-3 Ex-post Monitoring and Evaluation Stage

(1) After the Project completion, JICA will continue to keep in close contact with the Recipient in order to monitor that the outputs of the Project is used and maintained properly to attain its expected outcomes.

(2) In principle, JICA will conduct ex-post evaluation of the Project after three years from the completion. It is required for the Recipient to furnish any necessary information as JICA may reasonably request.

ANNEX-5 PROJECT IMPLEMENTATION SCHEDULE (tentative)



Handwritten signature

ANNEX-6 MAJOR UNDERTAKINGS TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF UGANDA

6-1 Specific Obligations of the Government of Uganda which will not be funded with the Grant

6-1-1 Before the tender

NO	Items	Deadline	In charge	Estimated Cost (1,000 US\$)	Ref.
1	To obtain approval of the Environmental Impact Assessment (EIA) and Report and Resettlement Action Plan (RAP), and secure the necessary budget for implementation	before the signing of the Grant Agreement (G/A)	MAAIF	-	
2	To sign on Banking Arrangement (B/A) with a bank in Japan (the Agent Bank)	within 1 month after the signing of the G/A	MAAIF	-	
3	To issue Authorization to Pay (A/P) to a bank in Japan (the Agent Bank) for the payment to the consultant	within 1 month after the signing of the contract	MAAIF	2,800	
4	To secure the necessary budget and implement land acquisition and compensation with full replacement cost in accordance with the RAP	before the construction	MAAIF	1,384,072	
5	To implement Environmental & Social monitoring, and to submit the monitoring on a quarterly basis as a part of Project Monitoring Report	fill land acquisition and resettlement complete	MAAIF	45,000	
6	To implement the Environmental Management Plan (EMP) / Environmental Monitoring Plan (EMoP) and the RAP	during the Detail Design	MAAIF	-	
7	To secure and clear the following lands 1) land for facilities to be constructed 2) temporary construction yard and stock yard 3) borrow pit and disposal site near the project site 4) area of site road	before notice of the tender	MAAIF	-	
8	To submit Project Monitoring Report (with the result of Detail Design)	before preparation of bidding documents	MAAIF	-	
9	To provide the distributing line and appropriate power supply to the site office	before the public notice of the tender	MAAIF	36,000	
	To obtain necessary permissions for the construction	before the public notice of the tender	MAAIF	500	
	Subtotal			1,468,372	

6-1-2 During the Project implementation

NO	Items	Deadline	In charge	Estimated Cost (1,000 US\$)	Ref.
1	To issue A/P to a bank in Japan (the Agent Bank) for the payment to the Contractor(s)	within 1 month after the signing of the contract(s)	MAAIF	-	
2	To bear the following commissions to a bank in Japan for the banking services based upon the B/A 1) Advising commission of A/P 2) Payment commission for A/P	within 1 month after the signing of the contract(s) every payment	MAAIF	87,200	
3	To ensure prompt customs clearance and to assist the Contractor(s) with internal transportation in recipient country	during the Project	MAAIF	-	

Handwritten signature

6-1-3 After the Project

NO	Items	Deadline	In charge	Estimated Cost (1,000 UGX)	Ref.
1	To implement EMP/EMoP	for a period based on the EMP/EMoP	MAAIF		
2	To implement environmental & social monitoring including the RAP closure report to submit results of environmental monitoring to JICA, by using the monitoring form, semiannually 1) The period of environmental monitoring may be extended if any significant negative impacts on the environment are found. 2) The extension of environmental monitoring will be decided based on the agreement between MAAIF and JICA.	After completion of the construction for three years after the completion the construction	MAAIF	90,000	
3	To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant Aid 1) Allocation of maintenance cost 2) Operation and maintenance structure 3) Routine check/Periodic inspection	After completion of the construction	MAAIF		
4	To take necessary measures for appropriate production activities by using quality seeds in the Model Sites 1) Support of selection of Model Sites and farmers of the Model Sites 2) Support of provision of basic seed 3) Support of dissemination of quality seed 4) Support of provision of training	After completion of the construction	MAAIF		
5	To support the model farmers technically for the land re-demarcation after the establishment of the model plot	After completion of the construction	MAAIF		
6	To support establishment and operation of Water Users Association	After completion of the construction	MAAIF		
7	To commence procurement of the land re-organization for the remaining project area (except the Model Sites)	during the Project	MAAIF	3,758,842	
8	Subtotal			3,937,470	
(From Before the Tender to After the Project)				30,116,162	

6-2 Other obligations of Government of Uganda funded with the Grant

No	Item	Deadline	In charge	Estimated Cost (1,000 UGX)	Ref.
1	N/A				

NO	Items	Deadline	In charge	Estimated Cost (1,000 UGX)	Ref.
4	To accord Japanese physical persons and/or physical persons of third countries whose services may be required in connection with the supply of the products and the services such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work	during the Project	MAAIF	-	
5	To ensure tax treatment to be borne by the Authority without using the Grant. Details are described in 6-3. Tax Treatment	during the Project	MAAIF	6,367,000	
6	To bear all the expenses, other than those covered by the Grant, necessary for the implementation of the Project.	during the Project	MAAIF	-	
7	1) To submit Project Monitoring Report 2) To submit Project Monitoring Report (final)	every month within one month after signing of Certificate of Completion for the works under the contract(s)	MAAIF	-	
8	To submit a report concerning completion of the Project	within one month after completion of the Project	MAAIF	-	
9	To implement the EMP/EMoP and the RAP	during the construction	MAAIF	-	
10	To implement environmental and social monitoring, and to submit the monitoring results to JICA, by using the monitoring form, on a quarterly basis as a part of Project Monitoring Report	until the end of livelihood restoration program (In case that livelihood restoration program is provided) for two years after land acquisition and resettlement complete (In case that livelihood restoration program is not provided)	MAAIF	197,000	
11	To submit results of environmental monitoring to JICA, by using the monitoring form, on a quarterly basis as a part of Project Monitoring Report	during the construction	MAAIF	-	
12	To assign counterparts for the project and the number and TOR will be determined in the Detailed Design stage	during the Project	MAAIF	85,000	
13	To complete the construction of drainages in the downstream of the Project Site in Bulambuli District	before the completion of construction works	MAAIF	143,000	
14	To take necessary measures for appropriate production activities by using quality seeds in the Model Sites 1) Support of selection of Model Sites and farmers of the Model Sites 2) Support of provision of basic seed 3) Support of dissemination of quality seed 4) Support of provision of training	during the Project	MAAIF	-	
15	To commence procurement of the land re-organization for the remaining project area (except the Model Sites)	during the Project	MAAIF	7,517,685	
16	To commence procurement of the machinery for construction and agriculture	during the Project	MAAIF	6,845,493	
17	To commence procurement of the value chain facilities	during the Project	MAAIF	3,467,492	
18	To obtain water right	before preparation of bidding documents	MAAIF	450	
Subtotal				24,710,320	

6-3. Tax Treatment

- Letter: Ref. No. TPD 130/167/01 dated 19th July 2017 (Attachment-1)
- Letter: Ref. No. TPD 130/167/01 dated 6th April 2018 (Attachment-2)

Attachment-1 Letter: Ref. No. TPD 130/167/01 dated 19th July 2017



Ministry of Finance, Planning &
Economic Development
Plot 2-12, Apollo Kagwa Road
P.O. Box 8147
Kampala
Uganda

Telephone : 256 41 4750 000
Fax : 256 41 4320 183
E-mail : 256 41 4343 023
256 41 4341 288
Website : www.finance.gov.ug

THE REPUBLIC OF UGANDA

In any correspondence on this
subject please quote No. TPD 130/167/01

July 19, 2017

The Chief Representative,
Japan International Cooperation Agency
Uganda Office
KAMPALA

RE: TAX TREATMENT OF JAPANESE GRANT AID PROJECTS

I refer to your letter dated 22nd June, 2017 seeking to confirm the tax treatment of Japanese grant aid projects. This is a follow up on the outcome of the meetings with officials of the Tax Policy Department held at the Ministry on 4th April, 2017 and 16th May, 2017 respectively.

This is therefore to reiterate Government's commitment to the implementation of the framework agreed to between the Government of Japan and the Government of the Republic of Uganda by means of Note Verbales NV/JE/009 dated 13th January 2017, NV/JE/031/17 dated 20th February, 2017 and ASI 179/326/01 dated 23rd March, 2017.

We accordingly wish to reaffirm that the Japanese grant shall not be used to pay taxes. Taxes arising from the execution of the project shall be borne by Government of Uganda. It is also understood that the intervention on income tax (PAYE, Corporate Tax and Withholding Tax) shall only apply to Japanese main contractors and Japanese sub-contractors. The Details of the implementation arrangements are as follows:

1. Taxes on import and re-export of necessary materials and equipment
 - 1.1. Taxes on import and re-export of necessary materials and equipment for exclusive use on the Japanese Grant Aid project are exempted from import duty under the East African Community Customs Management Act 2004.
2. Taxes on purchase of any products and/or any service in the Republic of Uganda which are necessary for the Project
 - 2.1. Value Added Tax (VAT)
 - 2.1.1. The VAT Act deems the payment of VAT on supplies to projects financed by a foreign government through a grant, donation or loan.

"To formulate sound economic policies, maximize revenue mobilization, ensure efficient allocation and accountability for public resources to attain the most rapid and sustainable economic growth and development"

-31-

Mission

"To formulate sound economic policies, maximize revenue mobilization, ensure efficient allocation and accountability for public resources to attain the most rapid and sustainable economic growth and development"

2.12. Based on the VAT Act, VAT shall be deemed to have been paid if the supply is for use solely and exclusively for the Japanese Grant Aid Project.

2.13. In case a supplier charges VAT to any products and/or any services which are for use solely and exclusively for the Japanese Grant Aid Project, URA shall refund the VAT to the contractors and sub-contractors assigned under the Japanese Grant Aid Project.

3. All taxes imposed on total income or on elements of income
3.1. Pay as You Earn (PAYE)

3.1.1. Based on Exchange Notes, PAYE for Japanese employees of Japanese main contractors and Japanese sub-contractors for Japanese Grant Aid Project shall be paid by the Government of Uganda executing agency.

3.1.2. The procedure for payment of PAYE of eligible resident office shall be as follows: Japanese main contractors and Japanese sub-contractors shall file PAYE returns with URA and submit a copy of the returns to the executing agency notifying them to pay the taxes.

3.2. Corporate Tax/ Withholding Tax

3.2.1. Based on Exchange Notes, Corporate Tax of Japanese main contractors and Japanese sub-contractors for Japanese Grant Aid Project shall be paid by the executing agency.

3.2.2. The procedure and tax treatment of Japanese main contractors and Japanese sub-contractors for Japanese Grant Aid project who are tax resident in Uganda shall be as follows:

3.2.2.1. Japanese main contractors and Japanese sub-contractors shall file returns with URA and submit a copy of the returns to the Executing Agency notifying them to pay the taxes.

3.2.3. The procedure and tax treatment of Japanese main contractors and Japanese sub-contractors for Japanese Grant Aid Project who are not tax resident of Uganda shall be as follows:

3.2.3.1. Where withholding tax is due, the Executing Agency shall pay tax due to URA.

4. To ensure smooth implementation of above mentioned items, JICA and MoFPED take measures as follows:

4.1 JICA and Executing Agency shall write to MoFPED informing

-32-

Mission

them of the Japanese main contractors and Japanese sub-contractors contracted to implement the Japanese Grant Aid Project.

- 4.2. The Ministry shall accordingly write to URA with a copy to JICA to confirm the Grant Aid project under implementation and Japanese main contractor and Japanese sub-contractor executing the project.
- 4.3. URA shall facilitate Japanese main contractors and Japanese sub-contractors in line with provisions 1, 2 and 3 above.
- 5. Any challenges that may be encountered in implementing the tax arrangements provided above shall be settled amicably between the JICA and the Ministry through mutual consultations.
- 6. In case of changes in relevant tax laws and regulations, the Ministry and JICA shall discuss necessary measures to take.

I hope this will facilitate the smooth implementation of the agreed programs. I also wish to take this opportunity to commend you for your continued cooperation.


 Matia Kasajja (MP)
MINISTER OF FINANCE, PLANNING AND ECONOMIC DEVELOPMENT

C.C. Embassy of Japan in the Republic of Uganda
KAMPALA

C.C. The Commissioner General
Uganda Revenue Authority
KAMPALA

Ministry of Finance, Planning &
 Economic Development
 Plot 2-12, Apollo Kaggwya Road
 P.O. Box 8147
 Kampala
 Uganda



Telephone: 256 41 4707 000
 : 256 41 4232 085
 Fax : 256 41 4340 023
 : 256 41 4340 023
 Email : info@finance.gov.ug
 Website : www.finance.gov.ug

In any correspondence on this subject please quote No. TPD130/167/01

THE REPUBLIC OF UGANDA

6th April 2018

Hon. Kazuaki Kamada,
 Ambassador of Japan to the Republic of Uganda,
 Embassy of Japan,
 KAMPALA.



JICA - UGANDA

Your Excellency,

INCOME TAX TREATMENT OF JAPANESE GRANT AID PROJECT

Reference is made to the above captioned matter and to your letter dated 11th October, 2017.

This is to reiterate Government's position on income tax treatment of Japanese grant aid projects as provided for in the Note Verbal dated 13th January 2017 and 3rd July 2017. This is therefore to affirm that PAYE, Corporate Tax and Withholding Tax will be borne by the designated project executing agency without using Japanese grants. The benefits of the above treatment shall only apply to (i) main contractors and sub-contractors that are Japanese physical persons or Japanese juridical persons controlled by Japanese physical persons and to (ii) their employees who are not citizens of Uganda.

Please accept, Your Excellency, the assurances of my highest consideration.


 Matia Kasajja (MP)
MINISTER OF FINANCE, PLANNING AND ECONOMIC DEVELOPMENT

C.c:  Chief Representative,
 Japan International Cooperation Agency,
 Uganda Office,
 KAMPALA

C.c: The Commissioner General,
 Uganda Revenue Authority,
 KAMPALA

27

27

7-2

Project Monitoring Report
ON
the Project for Atari Irrigation System
Grant Agreement No. XXXXXXXX
20XX, Month

Organizational Information

Signer of the G/A (Recipient)	Person in Charge (Designation) _____ Contacts _____ Address: _____ Phone/FAX: _____ Email: _____
Executing Agency	Person in Charge (Designation) _____ Contacts _____ Address: _____ Phone/FAX: _____ Email: _____
Line Ministry	Person in Charge (Designation) _____ Contacts _____ Address: _____ Phone/FAX: _____ Email: _____

General Information:

Project Title	_____
E/N	Signed date: _____ Duration: _____
G/A	Signed date: _____ Duration: _____
Source of Finance	Government of Japan: Not exceeding JPY _____ mil. Government of (_____): _____

ANNEX-7 PROJECT MONITORING REPORT (template)
7-1 Submission form

Date: _____
Ref. No. _____

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
JICA UGANDA OFFICE
[Address specified in the Article 5 of the Grant Agreement]

Attention: Chief Representative

Ladies and Gentlemen:

NOTICE CONCERNING PROGRESS OF PROJECT

Reference : Grant Agreement, dated (signed date of the G/A), for the Project for Atari Irrigation System

In accordance to the Article 6 (3) of the Grant Agreement, we would like to report on the progress of the Project up to the following stages:

- [Common] Preparation of bidding documents - result of detailed design
 Completion of final works under construction/procurement contract
- [Construction]
 Monthly progress [Month/Year]
 Procurement of Equipment
 Shipping/delivery, hand-over (take over) of equipment
 Installation works
 Operational training
 Other _____

Please see the details as per attached Project Monitoring Report (PMR).

Very truly yours,

[Signature]
[Name of the signer]
[Title of the signer]
[Name of the executing agency]

cc: Director General
Financial Cooperation Implementation Department
Japan International Cooperation Agency
[Address specified in the Article 5 of the Grant Agreement]

-35-




-36-




	Action required during the implementation stage:
	Contingency Plan (if applicable):
2. (Description of Risk)	Probability: High/Moderate/Low Impact: High/Moderate/Low Analysis of Probability and Impact:
	Mitigation Measures:
	Action required during the implementation stage:
	Contingency Plan (if applicable):
3. (Description of Risk)	Probability: High/Moderate/Low Impact: High/Moderate/Low Analysis of Probability and Impact:
	Mitigation Measures:
	Action required during the implementation stage:
	Contingency Plan (if applicable):
Actual Situation and Countermeasures (PMR)	

5: Evaluation and Monitoring Plan (after the work completion)

5-1 Overall evaluation

Please describe your overall evaluation on the project.

ap

-41-




5-2 Lessons Learnt and Recommendations

Please raise any lessons learned from the project experience, which might be valuable for the future assistance or similar type of projects, as well as any recommendations, which might be beneficial for better realization of the project effect, impact and assurance of sustainability.

5-3 Monitoring Plan of the Indicators for Post-Evaluation

Please describe monitoring methods, section(s)/department(s) in charge of monitoring, frequency, the term to monitor the indicators stipulated in 1-3.

ap

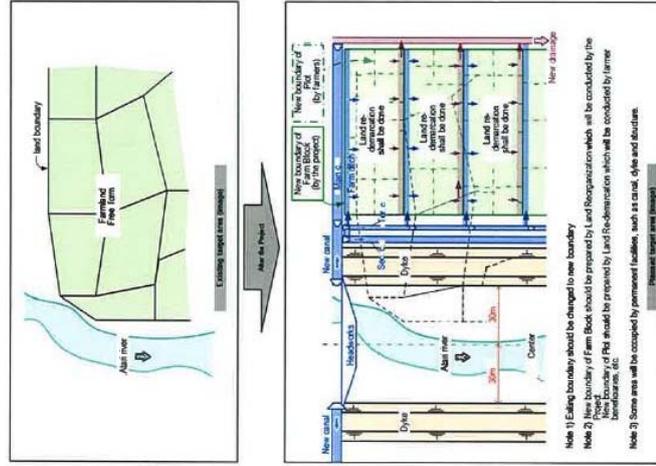
-42-




8-1 Establishment of Model Sites
8-1-1 Purposes of the Model Sites

This Project will establish two model sites in Bulambuli and Kween districts respectively (6ha each) which are used for capacity building of farmers on irrigation scheme management as well as demonstration of advanced agricultural techniques. This would include;

- Training on Operation and Maintenance(O&M) of irrigation facilities,
- Quality Seeds (QS) multiplication activity,
- And Demonstration of land re-organization¹ and training on land re-demarcation²(the concept of land re-organization and land re-demarcation is shown as Figure 1).



Attachment

1. Project Location Map
2. Specific obligations of the Recipient which will not be funded with the Grant
3. Monthly Report submitted by the Consultant
Appendix - Photocopy of Contractor's Progress Report (if any)
- Consultant Member List
- Contractor's Main Staff List
4. Check list for the Contract (including Record of Amendment of the Contract/Agreement and Schedule of Payment)
5. Environmental Monitoring Form / Social Monitoring Form
6. Monitoring sheet on price of specified materials (Quarterly)
7. Report on Proportion of Procurement (Recipient Country, Japan and Third Countries) (PMR (final) only)
8. Pictures (by JPEG style by CD-R) (PMR (final) only)
9. Equipment List (PMR (final) only)
10. Drawing (PMR (final) only)
11. Report on RD (After project)

- 1 Land re-organization generally consist of two components; i) gathering small farming plots and forming into larger rectangular farming block(s) and ii) land levelling; in order to deliver irrigation water in a fair and efficient manner.
- 2 Land re-demarcation is to divide farm block(s) after land re-organization into smaller farming plots to reallocate to farmer beneficiaries respectively.

(Signature)

(Signature)

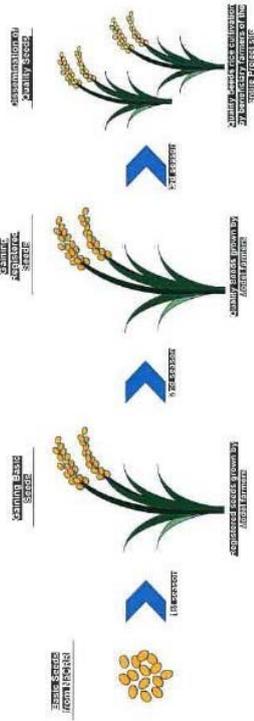
8-1-2 Activities in Model Sites

(1) Training on Operation and Maintenance of Irrigation Facilities

The Project will provide O&M trainings through its Soft Component Activities to primarily national and local government officials so that they provides technical guidance and support to farmers (the details including training programs are described in the Draft Report).

(2) Quality Seeds (QS) multiplication activity

Limited availability of good quality seed, which significantly contribute to increasing the yield, is a key constraint to farmers in rural areas especially in Atari. The Project will conduct seed multiplication activities using QS as well as technical support provided by on-going JICA's rice promotion project (Promotion of Rice Development Project (PRiDe)), and QS produced by this activity will be used to the rest of the Project area. The outline of QS multiplication activity is shown as in Figure 2 (the details are described in the Draft Report).



(3) Demonstration of land re-organization and training on land re-demarcation

Land re-organization will contribute to improve efficiency of agricultural resources including water, labor, agricultural machinery and etc. as well as crop yield. The Project will carry out land re-organization with in the model sites, and provide technical support for land re-demarcation, which is primarily taken care by farmers, along with trained government officials through Soft Component (the details are described in the Draft Report).

8-1-3 Selection of the Model Sites and Farmers

The location of two model sites will be determined during the detail design period with careful selection criteria from a technical point of view so that the model sites demonstrate new technics effectively. MAAIF in conjunction with local authorities including PDCC and PACC will set a selection criteria of farmers participating in the model sites at the detail design stage. Suggested selection criteria are shown below;

- 1) Farmers who have legal rights in the selected model sites, or those who do not have legal rights but have a claim to the selected model sites in accordance with legal framework,
- 2) Farmers who understand and agree to the compensation policy described in the Resettlement Action Plan (RAP) of the Project,

- 3) Farmers who are trained through Soft Component activities including construction of farm ditch, small drainage, and farm levee,

The selection schedule is shown in the figure below.

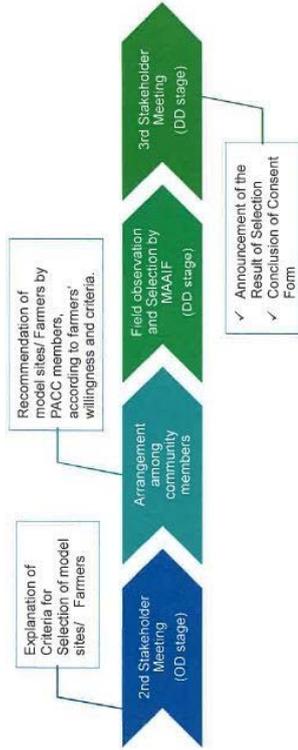


Figure 2. Selection Procedure for Model Sites/ Farmers

8-2 Construction of tail drainages at the downstream of Bulambuli District

Outline Design revealed that the river bed elevation of downstream of Atari river is higher than the ground level. It is recommended to review the location of drainage canal in Bulambuli planned in Feasibility Study. After a series of technical discussion with MAAIF, Plan D (see, Table-1) is determined as the most feasible option in comparison of 4 alignment plans. Both sides confirmed that tail ends of drainage canals to be constructed by the Project are possibly affect to the outside the Project area and necessary measures will be taken with mutual consultations with stakeholders at detail design stage.